B5FK-5551-01

取扱説明書

詳細版

ESPRIMO

FHシリーズ

サポート情報のご案内

『箱の中身を確認してください』

添付品の一覧です。ご購入後、すぐに添付品が揃っているか確認してください。

『取扱説明書』（本書）

使い始めるために必要な情報を中心に説明しています。

お使いの機種により、これ以外にもマニュアルや重要なお知らせなどの紙・冊子類があります。

インターネットに接続してください

『取扱説明書＜詳細版＞』

このパソコンの取り扱い方法や、細かい設定を変更する方法などを説明しています。

『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

Windows 8.1の基本的な操作や、詳しい操作・便利な使い方などを紹介します。

※お使いの機種により、上記以外の電子マニュアルがWebに用意されている場合があります。
Webに掲載されている電子マニュアルの参照方法については「マニュアルの表記」をご覧ください。

「富士通アドバイザー」からご覧ください。
スタート画面のタイルをクリックします。

『Windows 8.1基本操作クイックガイド』

クリックし、「トラブル解決」の一覧が表示されたら、「Windows 8.1 基本操作クイックガイド」をクリックしてください。

※デスクトップ版「富士通アドバイザー」からもご覧になれます。

インターネットに接続してください

サポートページ　http://azby.fmworld.net/support/

FMVに関するQ&A事例や活用情報など、「知りたい・困った」ときに役立つ情報を提供しています。

「富士通アドバイザー」の「サポートページで調べる」からサポートページを開くこともできます。

※デスクトップ版「富士通アドバイザー」では「サポート＆サービス情報」タブにリンクがあります。

（この画面は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。）

目次

4. 便利な機能のご紹介

7. ご購入時の状態に戻す

8. 使いこなすために

9. 付録

10. 仕様一覧

このパソコンをお使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください(詳しくは、保証書をご覧ください)。
- 修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをおとりください。
- 本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造終了後 6 年間です。

使用許諾契約書 (ライセンス条項)

本製品にインストール、または添付されているソフトウェアをご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、ご同意いただくことを使用の条件とさせていただいている「ソフトウェアの使用条件」は、本製品内のハードディスクに格納しています。
セットアップ時にご同意いただいた後に再度ご覧になりたい場合は、ファイルの検索で「OEMEULA.rtf」を検索してください。
ただし、本ソフトウェアのうち、Windows ストア アプリについては、本契約は適用されず、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項が適用されます。なお、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項に加えて、個別の追加条件が適用される場合があります。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ(基本ソフト、アプリケーションソフトも含む)の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください(大切なデータは日ごろからバックアップをとられることをお勧めします)。

添付品は大切に保管してください

ディスクやマニュアル等の添付品は、本製品をご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

- 液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります(有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています)。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- 表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1 日約 8 時間、1ヶ月に 25 日のご使用で約 5 年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液のもれや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- 摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- 本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞
液晶ディスプレイ、ハードディスクドライブ、CD/DVD ドライブ、キーボード、マウス、AC アダプタ、電源ユニット、ファン

消耗品について

- バッテリパックや電池等の消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

24 時間以上の連続使用について

- 本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本製品に接続する LAN ケーブルはシールドされたものでなければなりません。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

無線 LAN について

- 上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DSSS 変調方式および OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
  （1）本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  （2）万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
  （3）その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
  連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
- 本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11a 準拠では見通し半径 15m 以内、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠では見通し半径 25m 以内、IEEE 802.11n 準拠、IEEE 802.11ac 準拠では見通し半径 50m 以内となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
- 本製品に内蔵の無線 LAN を 5.2/5.3GHz 帯でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

無線 LAN について
5GHz 帯のチャンネルについて

IEEE802.11b/g/n
IEEE802.11a/n/ac
J52 W52 W53 W56

IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠の無線 LAN を搭載した機種では、5GHz の周波数帯において、次のチャンネルを使用できます。

- W52：36(5,180MHz)/40(5,200MHz)/44(5,220MHz)/48(5,240MHz)
- W53：52(5,260MHz)/56(5,280MHz)/60(5,300MHz)/64(5,320MHz)
- W56：100(5,500MHz)/104(5,520MHz)/108(5,540MHz)/112(5,560MHz)/116(5,580MHz)/120(5,600MHz)/124(5,620MHz)/128(5,640MHz)/132(5,660MHz)/136(5,680MHz)/140(5,700MHz)

5GHz 帯を使用する場合は、上記チャンネルを利用できる無線 LAN 製品とのみ通信が可能です。
アドホック通信では 5GHz 帯を使用できません。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジーについて

2．4 FH8

・上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。変調方式として FHSS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 80m です。
・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 （1）本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 （2）万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
 （3）その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
 連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
・本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
・パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、見通し半径 10m 以内（出力 Class2 の最大値）です。
ただし、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

本製品は、高調波電流規格　JIS C 61000-3-2　適合品です。

本製品の構成部品（プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含有されています。

本パソコンは電気・電子機器の特定の化学物質<鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質>の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本パソコンにおける特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
http://www.fmworld.net/fmv/jmoss/

ワイヤレスキーボード・ワイヤレスマウスについて

2.4DS1

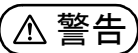
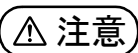
上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DS-SS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 10m です。
この機器の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
・この機器を使用する前に、近くに医療機関や工場がないことを確認してください。
・万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
・不明な点、その他お困りのことが起きたときは、お買い求めの販売店または「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」までお申しつけください。

クラス 1 レーザ製品　IEC 60825-1:2007

クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。

マニュアルの表記

このマニュアルの内容は 2014 年 12 月現在のものです。
お問い合わせ先や URL などが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

■本文中での書き分けについて

このマニュアルには、複数の機種の内容が含まれています。お使いの機種によっては、記載されている機能が搭載されていない場合があります。また、機種により説明が異なる場合は、書き分けています。
お使いの機種に機能が搭載されているかを「各部の名称と働き」、「仕様一覧」、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/fmv/）で確認して、機種にあった記載をお読みください。

■安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するためのシンボルマークと警告絵文字を使っています。

□警告レベルを表すシンボルマーク

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

□危険や障害の内容を表す警告絵文字

△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。

破裂注意	特定の条件において、破裂する可能性について注意を喚起します。	高温注意	特定の条件において、高温による傷害の可能性について注意を喚起します。
レーザー光注意	特定の条件において、レーザー光を直視する危険性について注意を喚起します。	指のケガに注意	特定の条件において、けがする可能性について注意を喚起します。

⃠ で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。

一般禁止	一般的な禁止行為や禁止事項を示します。	火気禁止	特定の条件において、外部の火気によって製品の発火する可能性を示します。
接触禁止	特定の条件において、機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性を示します。	水場使用禁止	防水処理のない機器を水場で使用して漏電によって傷害が起こる可能性を示します。
分解禁止	機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示します。	ぬれ手禁止	機器を濡れた手で扱うと、感電する可能性を示します。
水ぬれ禁止	防水処理のない機器を水がかかる場所で使用または、水に濡らすなどして使用すると、漏電して感電や発火する可能性を示します。		

●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。			
	安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続するように指示します。		故障時や落雷の可能性がある場合、使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示します。
	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。		

■危険ラベル／警告ラベル／注意ラベル

本製品には危険・警告・注意ラベルが貼ってあります。
これらのラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
Point	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	以降の手順が分かれることを表しています。
	冊子のマニュアルを表しています。
	「富士通アドバイザー」で見るマニュアルを表しています。参照方法は表紙の裏面をご覧ください。
	CD や DVD などのディスクを表しています。
→	参照ページを表しています。

■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■操作手順について

このマニュアルでは、連続する操作手順を「▶」でつなげて記述しています。
なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

■電源プラグとコンセント形状の表記について

本製品に添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。マニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。
接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。マニュアルでは「コンセント」と表記しています。

■製品の呼び方

このマニュアルでの製品名称を、次のように略して表記することがあります。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows 8.1	Windows または Windows 8.1
Windows 8.1 Pro	Windows または Windows 8.1
Windows Internet Explorer 11	Internet Explorer 11 または Internet Explorer
Office Personal Premium プラス Office 365 サービス	Office または Office Personal Premium
Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス	Office または Office Home & Business Premium
Microsoft Word 2013	Word
Microsoft Excel 2013	Excel
Microsoft Outlook 2013	Outlook
Windows Media® Player 12	Windows Media Player
Windows Live®	Windows Live
Bluetooth®	Bluetooth
Corel® WinDVD®	WinDVD
BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ	Blu-ray Disc ドライブ
BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ	CD/DVD ドライブ
スーパーマルチドライブ	
Roxio Creator LJ	Roxio Creator
「ソフ得」ソフト使い放題 by OPTiM	ソフト使い放題

■Web に掲載されている電子マニュアルの参照方法

スタート画面で「@メニュー」をクリックします。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。「安全上のご注意」はインターネット上でも公開しています。
http://azby.fmworld.net/support/manual/safety/
AC アダプタと電源ケーブルが添付されている場合、ここでは、AC アダプタのケーブルと電源ケーブルを合わせて「電源ケーブル」と表記している箇所があります。
お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

設置／準備

⚠ 警告

プラグを抜け

コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。
万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながるおそれがあります。

一般禁止

梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。

一般指示

台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

一般指示

転倒防止の処置をしてください。
地震が発生した場合などに、本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。
設置台や床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。

一般禁止

振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。

一般禁止

本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因になります。

一般禁止

矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。
火災の原因になることがあります。

一般指示

本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。
ケーブルに足を引っかけ、転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。

一般禁止

添付もしくは指定された以外の AC アダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の AC アダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電、火災の原因になります。

一般指示

電池を機器に入れる場合は、＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれ、発火の原因になります。

一般指示

電源ケーブルやACアダプタは、指定された電圧（100V）の壁のコンセントやコネクタに直接かつ確実に接続してください。
不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因になります。

一般禁止

タコ足配線をしないでください。
感電、火災の原因になります。

アース線を接続せよ

プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。
安全のため、電源プラグにはアース線が付いています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因になります。アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

一般禁止

アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
火災の原因になります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源ケーブルやACアダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

一般禁止

ケーブル類を束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因になります。

⚠ 注意

一般禁止

本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気の多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になることがあります。

一般禁止

本製品や AC アダプタを直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。

プラグを抜け

本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。
電源ケーブルやACアダプタが傷つき、感電、火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。
・電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いてください。
・接続されたケーブルなどを外してください。
・作業は足元に充分注意して行ってください。

使用時

⚠警告

火中に投入、加熱しないでください。
発煙、発火、破裂の原因になります。

端子をショートさせないでください。
感電、火災の原因になります。

発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。
バッテリパックを取り外せる場合は、バッテリパックも取り外してください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

開口部(通風孔など)から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電、火災の原因になります。

本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に載ったり、寄りかかったりしないでください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

排気孔付近や AC アダプタなど、本製品の温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。
排気孔からの送風に長時間あたらないでください。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。
低温やけどの原因になります。

風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になります。

本製品の上や周りに、花びんやコップなど液体の入ったものを置かないでください。
水などの液体が本製品の内部に入って、感電、火災の原因になります。

一般禁止

使用中の本製品や AC アダプタに、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがないでください。
通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。
内部に熱がこもり、火災の原因になります。

ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。
お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。
本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

本製品や周辺機器のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。
誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。

AC アダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。
感電、火災の原因になります。

AC アダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障、感電、火災の原因になります。修理は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

タッチパネルはガラスを使用しているため、急激な衝撃を与えたり、本製品を転倒・落下させないでください。
破損するおそれがあります。また、破損した場合は、ガラスの破片に直接触れないよう注意して清掃してください。けがをするおそれがあります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

電池を取り扱うときは、次の点にご注意ください。
液もれ、けが、やけど、破裂、火災、周囲を汚す原因になります。
・ショートさせない
・加熱したり、火の中に入れたりしない
・端子部分をぬらしたり、水の中に入れない
・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない
・乾電池を充電しない
・ハンダ付けをしない

電源ケーブルや AC アダプタが傷ついている場合は使用しないでください。
感電、火災の原因になります。

電源ケーブルや AC アダプタの接続部分に、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
感電、火災の原因になります。

ケーブル類は、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
感電、火災の原因になります。

AC アダプタ本体にケーブル類をきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。
ケーブル類の芯線が露出したり断線したりして、感電、火災の原因になります。

電源ケーブルや AC アダプタを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
ケーブル類が傷つき、感電、火災の原因になります。

無線 LAN、無線 WAN、Bluetooth® ワイヤレステクノロジー、NFC ポート、CLEARSURE、ワイヤレスキーボード／マウスの注意

次の場所では、無線通信機能を停止してください。「ワイヤレススイッチ自動オン機能」対応の CLEARSURE 搭載機種の場合は、自動的に無線通信機能がオンにならないようにしてください。
無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

・病院内や医療用電子機器のある場所
　特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
・身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所
・満員電車の中など付近（15cm（NFC ポートは 12cm））に植込み型医療機器を装着している方がいる可能性がある場所

本製品は、レーザ光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

・光源部を見ないでください。
　光学ドライブのレーザ光の光源部を直接見ないでください。
　また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザ光線が装置外にもれた場合は、レーザ光線をのぞきこまないでください。
　レーザ光線が直接目に照射されると、視力障害の原因になります。
・お客様自身で分解したり、修理・改造したりしないでください。
　レーザ光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因になります。

レーザーマウスは底面から、目に見えないレーザ光が出ています。
クラス 1 レーザ製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、マウス底面の光は直視しないでください。

⚠ 注意

本製品の上に重いものを置かないでください。
けがの原因となることがあります。

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10 ～ 15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。
本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因になることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。

・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
・いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する。
・手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
・キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるように使用する。

光学ドライブのトレーやスロット、コネクタ、通風孔など、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。ディスクなどをセットまたは取り出す場合も、手や指を入れないでください。
けが、感電の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

指定外の機器を本製品のアウトレットに接続して電源を取らないでください。
火災、故障の原因になります。

ヘッドホン・イヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因になります。

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。
ヘッドホン・イヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。
突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因になります。

「ExpressCard™」、「PC カード」、「SD メモリーカード」、「メモリースティック」、「UIM カード」の使用終了直後は、高温になっていることがあります。
これらを取り外すときは、使用後充分に温度が下がるのを待ってから取り出してください。
やけどの原因になります。

マウス底面の光を直視しないでください。レーザー式マウスの場合も、目に見えないレーザ光が出ています。
目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

メンテナンス／増設

⚠警告

分解禁止

お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。
けが、感電、火災の原因になります。
修理や点検などが必要な場合は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

一般禁止

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、お子様の手の届く所に置かないでください。
誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

一般指示

カバーおよび可動部を開ける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。
作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。お子様が手を触れると、けが、故障の原因になります。

一般指示

メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カバーをあける場合は、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いた後、しばらくたってから行ってください。
カバーをあけた状態で電源ケーブルをコンセントに挿し込んだり、電源を入れたりしないでください。
やけど、感電、火災の原因になります。

一般禁止

清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障や火災の原因になります。

一般禁止

本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。
取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。リチウム電池はご自身で交換せずに、弊社問い合わせ窓口にご相談ください。

一般禁止

指定以外の電池は使用しないでください。
また、2 本以上セットする場合は、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因になります。

一般指示

電源ケーブルや AC アダプタはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電、火災の原因になります。1 年に一度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご注意ください。

プラグを抜け

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
バッテリパックを取り外せる場合は、バッテリパックも外してください。
故障、感電、火災の原因になります。

一般指示

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因になります。また、本製品および周辺機器が故障する原因になります。

⚠注意

一般禁止

周辺機器などの取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。
けが、故障の原因になります。

一般禁止

本製品内部の突起物、および指定された部品以外には、手を触れないでください。
けが、故障の原因になります。

高温注意

電源を切った直後は、本製品の内部が高温になっています。
メモリや拡張カードなどの内蔵オプションを取り付け／取り外す場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、充分に温度が下がるのを待ってから作業を始めてください。
やけどの原因になります。

一般指示

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意してください。
けがの原因になります。

異常時

プラグを抜け

本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。
バッテリパックを取り外せる場合は、バッテリパックも取り外してください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

一般禁止

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による故障、感電、火災の原因になります。

一般指示

タッチパネルのガラスにヒビ、傷などがあった場合は、すみやかにご使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用するとけがをするおそれがあります。

一般指示

バッテリパックや電池が液もれし、もれ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
失明など障害の原因になります。
液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。

⚠注意

カバーや部品などが破損・脱落したり、キーボードのキートップが外れた場合は、使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。
破損した製品や破片によるけがや故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

保管／廃棄

本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜いてください。
バッテリパックや乾電池を取り外せる場合は、取り外してください。
火災の原因になります。

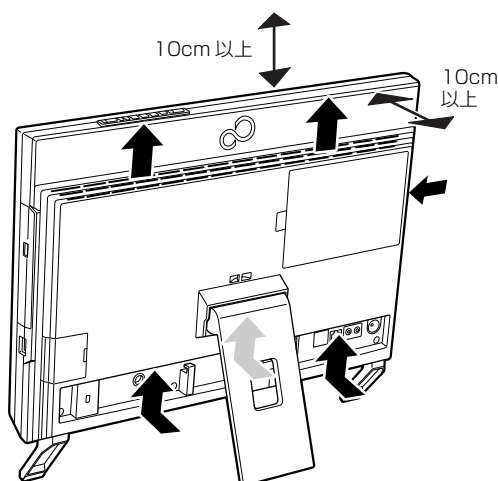
本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。
本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。
本製品はリチウム電池を使用しております。
ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには、乾電池、充電池を使用しております。
一般のゴミといっしょに火中に投じられると電池が破裂するおそれがあります。
使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

取り扱い上のご注意

パソコンの使用環境についての注意

パソコンは精密機器です。使用環境に注意してご利用ください。取り扱い方法を誤ると故障や機能低下、破損の原因となります。
内容をよくご理解のうえ、注意してお取り扱いください。

- **パソコンをお使いになる環境の温度と湿度**
  次の範囲内としてください。
  - 動作時：温度 10 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH
  - 非動作時：温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH
- **パソコンの結露**
  動作時、非動作時にかかわらず、パソコン本体が結露しないようにご注意ください。
  結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。パソコンを温度の低い場所から温度の高い場所、または、温度の高い場所から温度の低い場所へ移動すると、パソコン内部に結露が発生する場合があります。結露が発生したままパソコンを使用すると故障の原因となります。
  パソコンを移動したときは、直射日光が当たらない風通りの良い場所に設置し、室温と同じくらいになるのを待ってから電源を入れてください。
- **パソコンをお使いになれない場所**
  次の場所ではお使いにならないでください。
  - **直射日光のあたる場所**
  - **水など液体のかかる場所**
  - **台所などの油を使用する場所**
    油分がパソコン内部に入って CPU ファンなどに付着し、放熱性能を低下させる可能性があります。
  - **ほこりの多い環境**
    ファンにほこりが詰まり、放熱が妨げられ、故障の原因となる場合があります。
  - **熱がこもりやすい場所（ふとんの上など）**
    パソコンや AC アダプタの表面が高温になることがあります。パソコンおよび AC アダプタは平らで堅い机の上などに置いてください。
  - **静電気の発生しやすい場所**
    パソコンは、静電気に対して弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。使用する前には、アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。
  - **電磁波の影響を受けやすいもの（テレビやラジオなど）や、磁気を発生するもの（モーターやスピーカーなど）に近い場所**
    故障や機能低下の原因となります。
  - **腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が存在する場所**
    パソコン本体が腐食する可能性があります。
- **通風孔**
  - 通風孔がほこりなどにより目詰まりすると、空気の流れが悪くなり、CPU ファンなどの機能を低下させる可能性があります。掃除機などで定期的にほこりなどを取り除いてください。詳しくは、「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」（→ P.81）をご覧ください。

・通風孔をふさがないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。
・通風孔の近くに物を置いたり、通風孔の近くには 手を触れないでください。通風孔からの熱で、通風孔の近くに置かれた物や手が熱くなることがあります。
・パソコン本体上部、背面や側面と壁などとの間は、10cm以上のすき間をあけてください。通風孔の空気の流れは、次の図の ➡ をご覧ください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

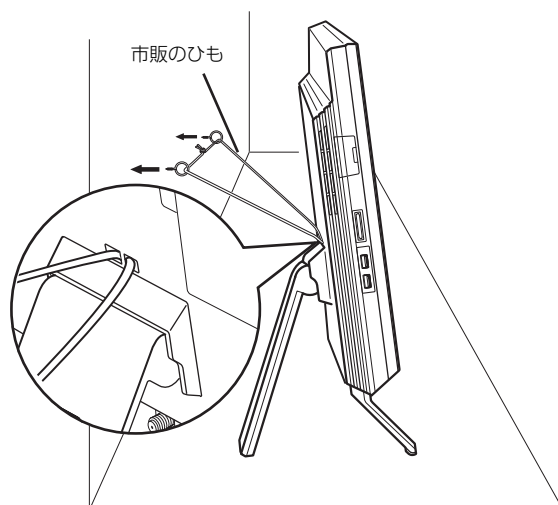
・パソコン使用中の環境

・操作するのに充分なスペースを取れる場所でお使いください。
コンセントから直接電源をとれる場所でお使いください。
・パソコン本体のそばで喫煙しないでください。タバコのヤニや煙がパソコン内部に入り、ファンなどの機能を低下させる可能性があります。
・パソコン本体の近くで携帯電話、PHS、トランシーバーなどを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてください。
・パソコンや AC アダプタは、使用中に熱をもつことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質変質したり劣化したりすることがありますので、ご注意ください。
・AC アダプタは、パソコン使用中表面が熱くなることがあります。使用中は触れないでください。
・有線 LAN をお使いになるときは、接続ケーブルが届く場所でお使いください。

・無線通信機能をお使いになる場所

・パソコン本体に搭載されている無線通信機能をお使いになるときは、できるだけ見通しの良い場所でお使いください。電子レンジの近く、アマチュア無線機の近くや足元など見通しの悪い場所でお使いになると、周囲の電波の影響を受けて、接続が正常に行えないことがあります。

パソコン本体の転倒防止について

地震の場合やパソコンに寄りかかったりした場合に、パソコンが転倒することがあります。パソコンの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、パソコン本体を固定してください。

丈夫なひもで、しっかりした壁や柱にパソコンを固定してください。壁や柱への固定に金具をご使用になる場合は、ひもが外れない形状のものをお使いください。

重要

- 地震などでのパソコンの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
- 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や柱の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。
また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

使用上のお願い

■パソコン本体の取り扱い上の注意

・衝撃や振動を与えないでください。
・操作に必要のない部分を押したり、必要以上の力を加えたりしないでください。
・パソコン本体に寄りかかったり、装置を支えにして立ち上がったりしないでください。
・スピーカー前面を強い力で押したりしないでください。
・パソコン本体に接続したケーブル類を引っ張った状態で使用しないでください。
・磁石や磁気ブレスレットなど、磁気の発生するものをパソコン本体や画面に近づけないでください。画面が表示されなくなるなどの故障の原因となったり、保存しているデータが消えてしまうおそれがあります。

・水などの液体や金属片、虫などの異物を混入させないようにしてください。
故障の原因になる可能性があります。
・パソコン本体は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。

■パソコンの温度上昇に関して

パソコンの使用中に、パソコン本体が熱をもつために温かく感じられることがありますが、故障ではありません。

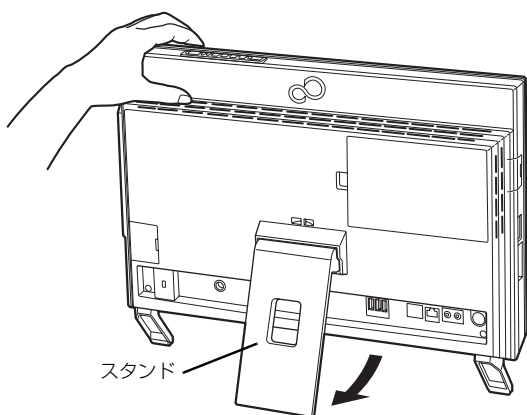
■パソコン内部からの音に関して

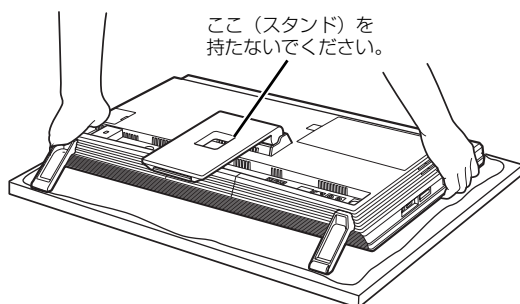
パソコン本体内部からは、次の音が聞こえることがありますが、これらは故障ではありません。

・内部の熱を外に逃がすためのファンの音
・ハードディスクにアクセスする音
・CD/DVD ドライブのディスク読み取りヘッドが移動する音

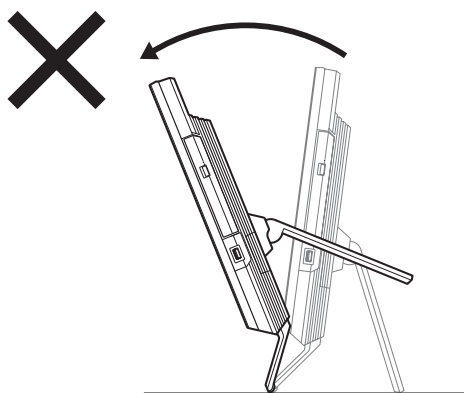
■パソコン本体背面へのケーブル類の接続／取り外しに関する注意

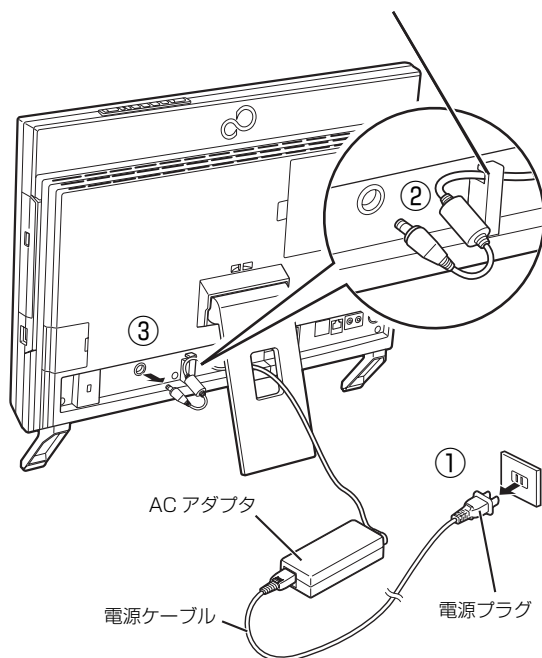
パソコン本体背面に AC アダプタなどのケーブル類を接続したり、取り外したりする際は、次のいずれかのようにして行ってください。

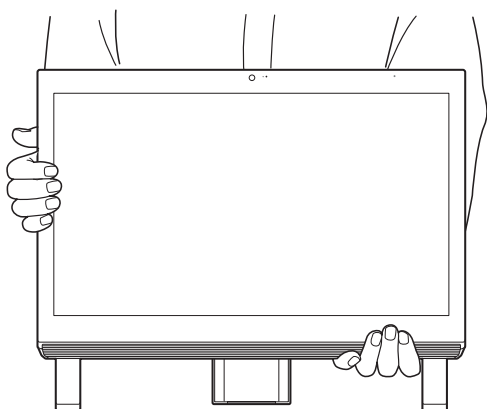
・スタンドを開き、スタンドが浮き上がらないようにパソコン本体を手で支えます。

（イラストは設置状況により異なります）

・パソコン本体を横にします。

作業は厚手の柔らかい布を敷いた平坦な台の上でしてください。
特に、液晶ディスプレイに突起物があたらないようにしてください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

上記以外のようにして行うと（パソコン本体を持ち上げる、パソコン本体前面側に傾けるなど）、パソコン本体を誤って転倒させる恐れがありますので、ご注意ください。

■パソコンを移動する場合の注意

・必ずパソコンの電源を切ってください。電源が入ったままや、省電力状態のまま持ち運ばないでください。また、電源を切ってから動かす場合も、約 5 秒ほど待ってから動かしてください。衝撃によりハードディスクが故障する原因となります。
・AC アダプタや、接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。
AC アダプタの取り外し方は、次のとおりです。
①電源プラグをコンセントから抜きます。
②固定していたケーブルを外します。
③ AC アダプタを DC-IN コネクタから取り外します。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

・液晶ディスプレイ部分を前にして、パソコン本体下部と側面部を持ってください。
スタンド部分を持たないようにしてください。

・スピーカー部分は、強く押さないでください。故障や破損の原因となります。
・液晶ディスプレイ部分は、絶対に触れないでください。故障や破損の原因となります。
・パソコン本体に SD メモリーカードなどをセットしている場合は、必ず SD メモリーカードなどを取り外してください。
なお、使用できるメディアは、お使いの機種により異なります。

■液晶ディスプレイの取り扱い上の注意

・液晶ディスプレイをたたいたり強く押したりしないでください。また、ひっかいたり先のとがったもので押したりしないでください。
・液晶ディスプレイにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
スピーカー前面を強い力で押したりしないでください。

■雷についての注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。
また、雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。
安全のため、避雷器の設置をお勧めします。
ただし、どのような避雷器をお使いになってもパソコン本体を保護できない場合があります。あらかじめご了承ください。

□落雷について

落雷には、直撃雷と誘導雷の 2 種類あります。直撃雷と誘導雷のどちらでも避雷器で保護できない可能性があります。
・直撃雷
避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できます。
ただし、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いてもパソコン本体を保護できないことがあります。
・誘導雷
パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。
雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LAN ケーブルなどから誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

□落雷時の故障について

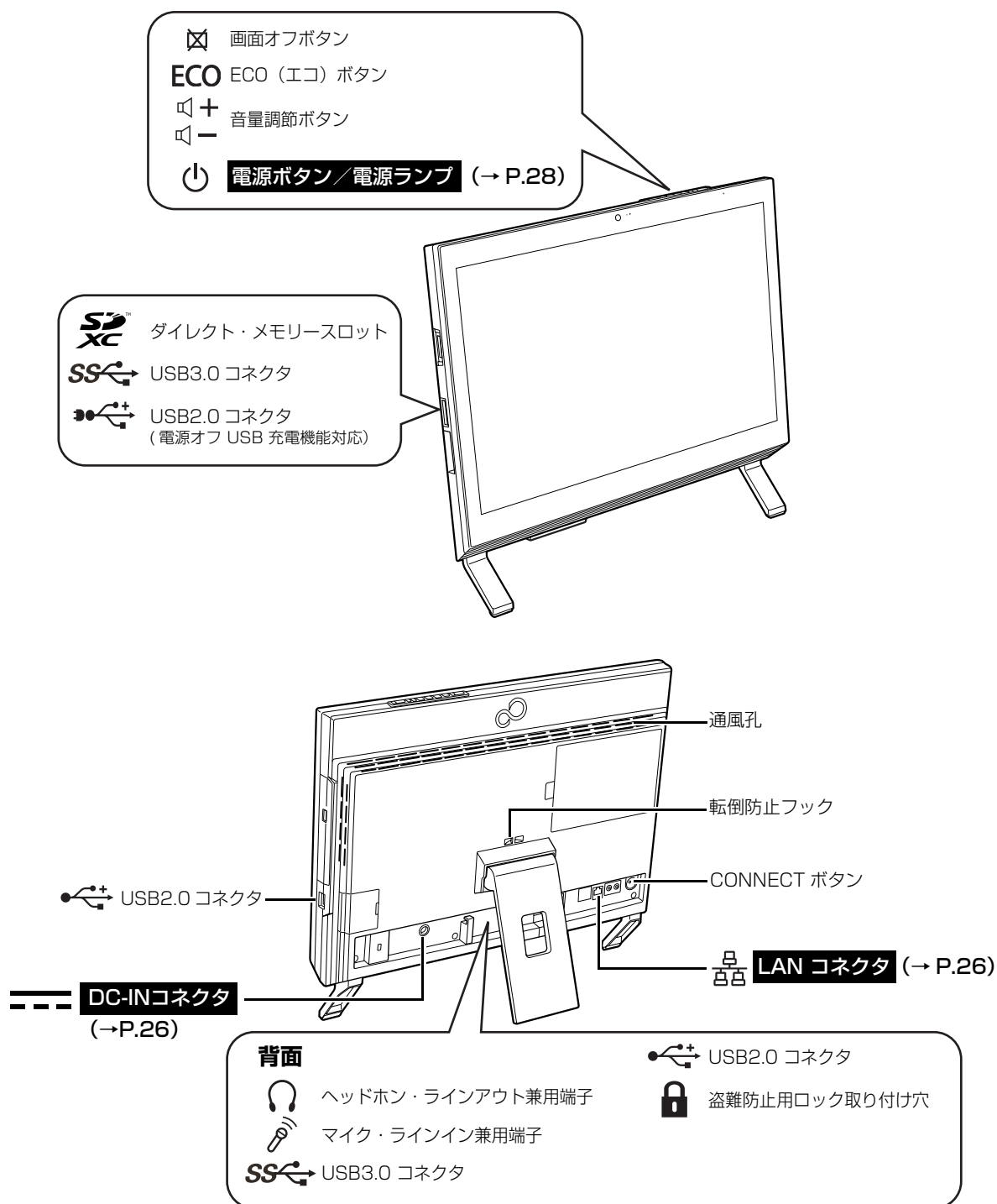
落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。
故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。
また、場合によっては、落雷によってパソコン本体だけでなく周辺機器などが故障することもあります。

疲れにくい使い方

パソコンを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いになるときは姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。
・直射日光があたらない場所や、外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしない場所に設置し、画面の向きや角度を調節しましょう。
・画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調節しましょう。
・目と画面との距離をとり、疲れない位置を保って利用しましょう。
・1 時間以上続けて作業しないようにしましょう。
　・続けて作業をする場合には、1 時間に 10 ～ 15 分程度の休憩時間をとりましょう。
　・休憩時間までの間に 1 ～ 2 分程度の小休止を 1 ～ 2 回取り入れましょう。
　・一定の時間ごとに、休憩をお勧めするウィンドウを表示する機能などを利用しましょう。

各部の名称について

このパソコンの各部の名称は次のとおりです（イラストは機種や状況により異なります）。

Point

- 各部の働きなど詳しくは、「各部の名称と働き」（→ P.44）をご覧ください。

1 セットアップする

セットアップを始める前のチェック

セットアップの準備が整っているか確認してください。

□添付品の確認は済んでいますか？
→まだの場合は、『箱の中身を確認してください』をご覧ください。

□パソコンを使用する場所は決まっていますか？
→使用場所については、「パソコンの使用環境についての注意」（→ P.16）をご覧ください。

□インターネットに接続する準備ができていますか？
→できていない場合は、プロバイダーと契約してください。

□ワイヤレス（無線 LAN）を使う場合、ネットワーク名（SSID）とパスワードが必要です！
→セットアップの途中で必要になりますので、あらかじめ記載しておいてください。
※わからない場合は、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
パスワードはセキュリティキーなどの名称で説明されていることもあります。

セットアップの流れを確認する

パソコンの準備をする（→ P.22）

●**セットアップ前に周辺機器を接続しないでください**
プリンター、USB メモリ、メモリーカードなどは、「Windows のセットアップをする」が終わるまで接続しないでください。

Windows のセットアップをする（→ P.28）

Windows のセットアップをする

Windows を終了する

所要時間は約 30 分～ 1 時間です。
●**このあいだは絶対に電源を切らないでください**
途中で電源を切ると、故障の原因になる場合があります。
●**時間に余裕をもって作業してください**

パソコンを快適にお使いいただくための準備をする（→ P.41）

パソコンの準備をする

重要

- キーボード、マウス、電源などのケーブルを束ねているバンド（針金）は、必ず取り外してからお使いください。

キーボード／マウスを準備する

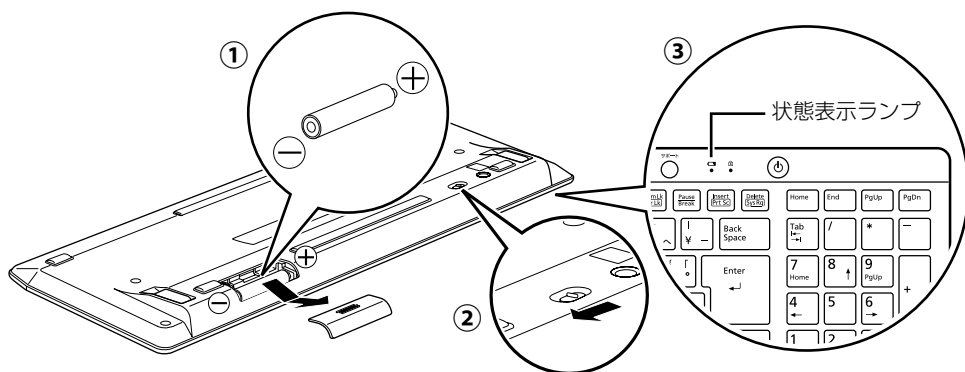
重要

- 乾電池の寿命について
  ご購入時に添付されている乾電池は、すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池または充電池に交換してください。
- 電池を入れるときの注意
  ・アルカリ乾電池または充電式ニッケル水素電池を使用してください。マンガン乾電池などをお使いになると、電池寿命が極端に短くなります。
  ・＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意して、表示どおりに入れてください。

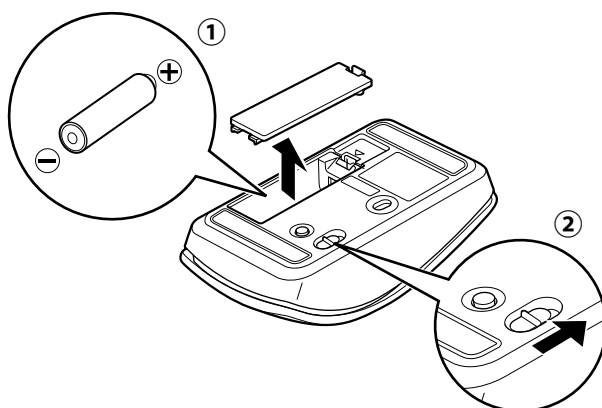
1 ワイヤレスキーボードの電源を入れます。

① 裏返して電池ボックスのふたを開け、添付の単３形乾電池を入れます。
その後、電池ボックスのふたを閉めます。

② 電源スイッチを ON 側にして、電源を入れます。

③ 状態表示ランプがしばらく点灯したあと消灯します。
状態表示ランプが点灯しない場合は、何度か乾電池を入れ直してください。

2 ワイヤレスマウスの電源を入れます。

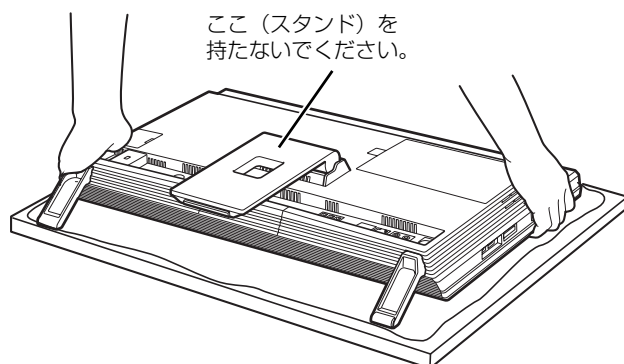
① 裏返して電池ボックスのふたを開け、添付の単 3 形乾電池を入れます。
その後、電池ボックスのふたを閉めます。

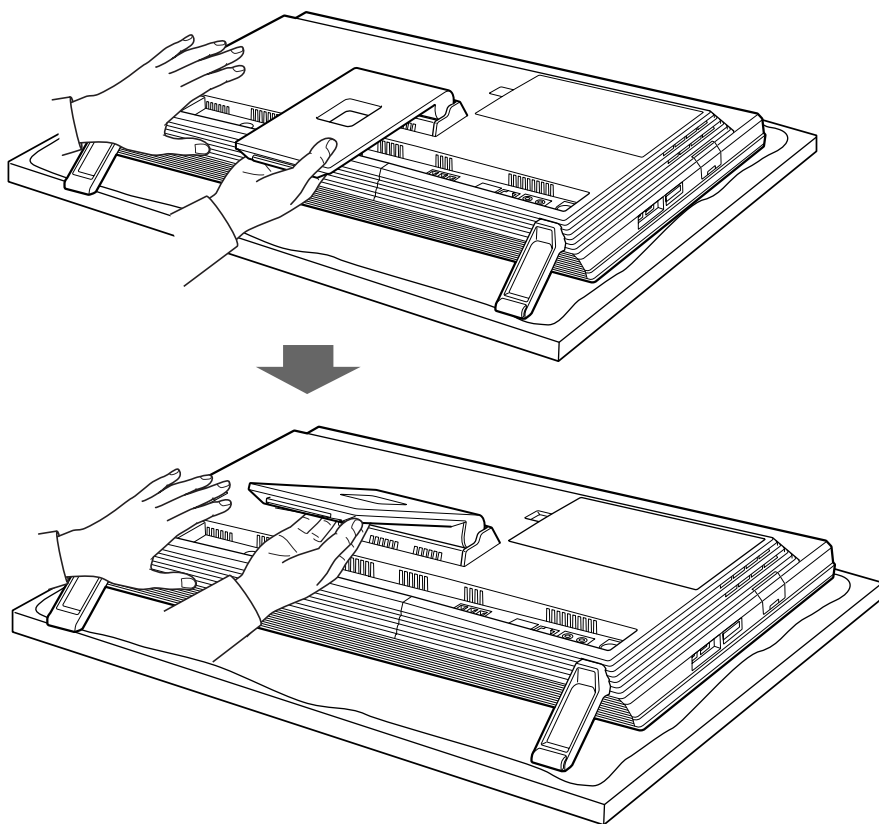
② 電源スイッチを ON 側にして、電源を入れます。

Point

- 電池スイッチをON側にしても、ステータスランプが緑色に点滅しない場合は、何度か乾電池を入れ直してください。
- マウスを使用しないときは、電池の消耗を抑えるために、マウスの電源スイッチをOFF側にして電源を切っておくことをお勧めします。

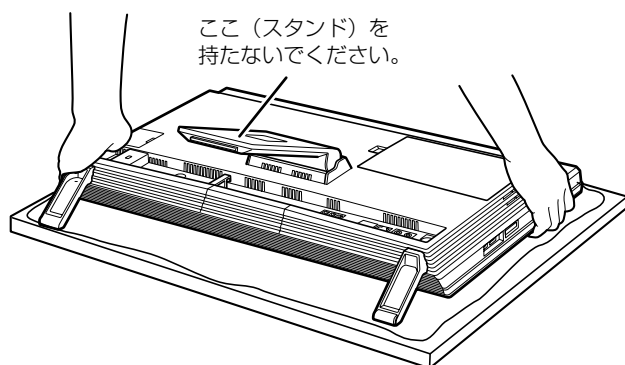
パソコン本体のスタンドの角度を調節する

1 パソコン本体の背面が上になるように、パソコン本体を横にします。

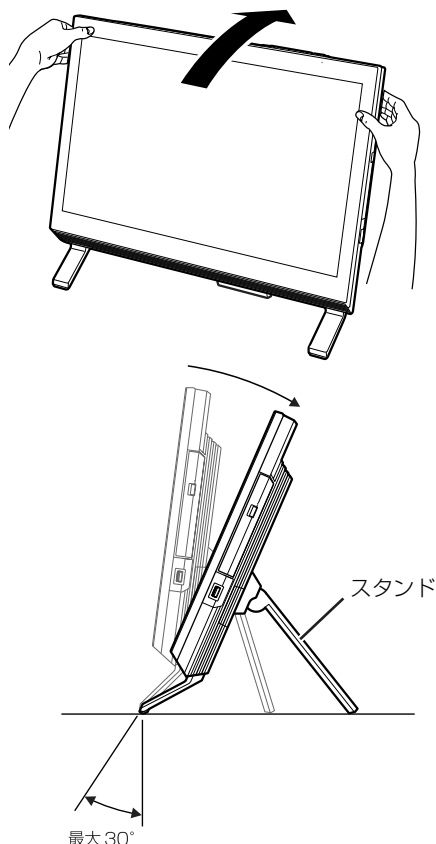
作業は厚手の柔らかい布を敷いた平坦な台の上でしてください。特に、液晶ディスプレイに突起物があたらないようにしてください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 パソコン本体の背面を片手で軽く押さえながら、スタンドの下側をもう片方の手で負荷がなくなるまで持ち上げます。

3 何度か角度を広げ、自然にスタンドがパソコン本体側に動くことを確認します。

静かに離すと、パソコン本体を立てたときに、使用を推奨する角度（約 8°）になります。

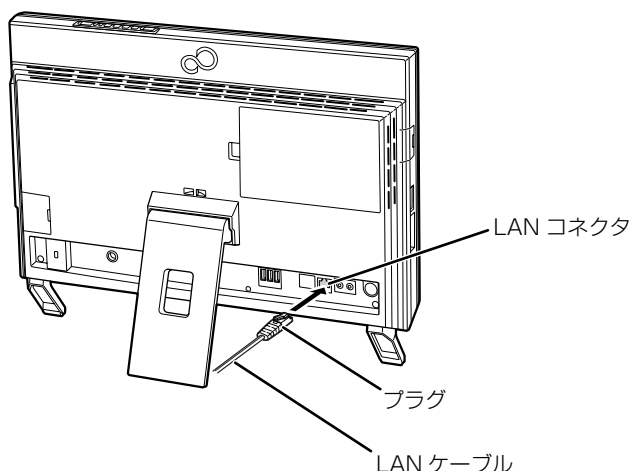
4 パソコン本体を立てます。

5 パソコン本体の角度を調節します。

衝撃を与えないよう、パソコン本体の上部を左右両方とも持って矢印の向きに静かに動かして調節してください。調節するときは、パソコン本体を倒さないよう注意してください。

衝撃により、ハードディスクドライブや CD/DVD ドライブが故障する原因となります。

Point

- パソコンを設置する場所が、摩擦力の高いゴム状のクッションや布マットなどの場合、スタンドがすべらずに前側が浮かび上がり、クッションやマットごとすべってしまうことがあります。
  その場合は、スタンドを手で開きながら角度を調節してください。

LAN ケーブルを接続する（有線 LAN をお使いになる場合）

有線 LAN をお使いになる場合は、LAN ケーブルを LAN コネクタに接続します。

電源に接続する

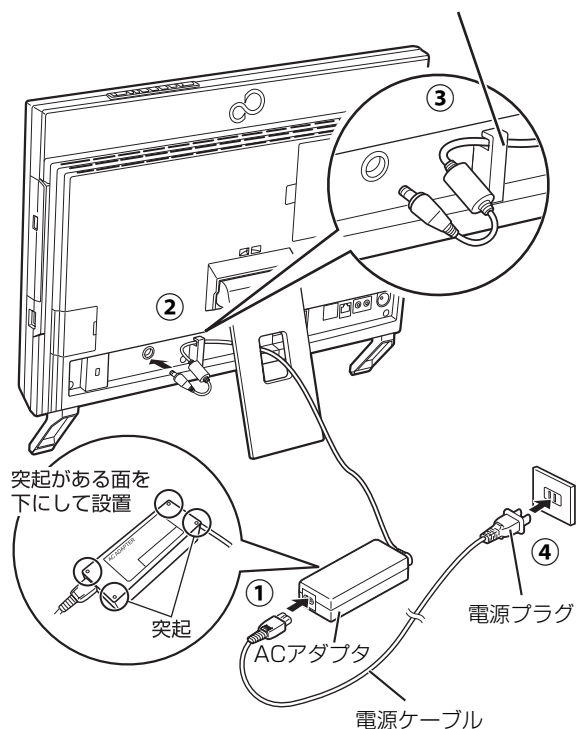
- パソコン本体背面にケーブル類を接続する際は、パソコン本体の転倒に充分ご注意ください。詳しくは、「パソコン本体背面へのケーブル類の接続／取り外しに関する注意」（→ P.17）をご覧ください。

1 AC アダプタに電源ケーブルを接続します。

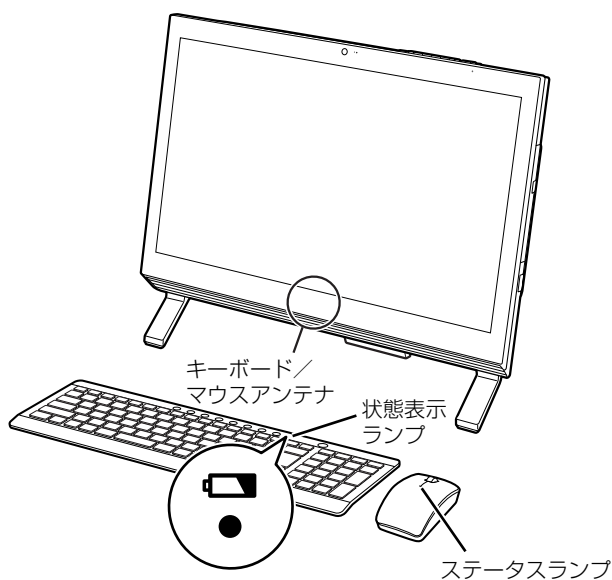
AC アダプタは、ゆるんだり抜けたりしないようにしっかりと接続してください。
また、AC アダプタの四隅に突起がある方を下にして設置してください。

2 AC アダプタをパソコン本体背面の DC-IN コネクタに接続します。

3 ケーブルを固定します。

4 電源プラグをコンセントに接続します。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

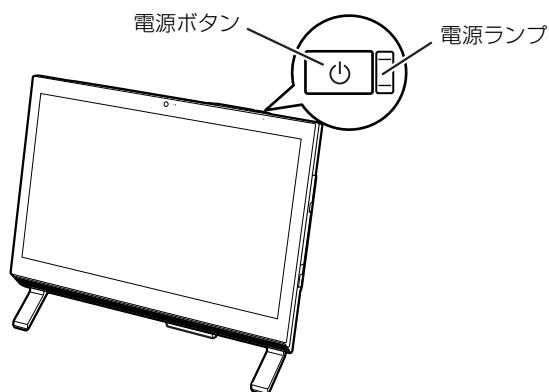
Point

- ACアダプタを接続した後、パソコン本体のキーボード／マウスアンテナから1mの範囲内にキーボードとマウスを置いてください。

・キーボードの場合は、いずれかのキーを押します。
状態表示ランプが点滅から点灯に変わり、約 2 秒後に消灯します。
・マウスの場合は、ボタンをクリックするか、マウスを動かします。
ステータスランプが点滅から点灯に変わり、約 2 秒後に消灯します。
・周囲の環境によっては、まれにランプが点灯に変わらない場合があります。この場合は、キーボードまたはマウスの電源スイッチを OFF 側にして電源を切り、電源を入れ直してください。
▸ 手順 1 から接続したケーブルはグラグラしていませんか？
ケーブルが奥までしっかりと差し込まれているか、もう一度お確かめください。

Windows のセットアップをする

1 **有線 LAN をお使いになる場合、LAN ケーブルが LAN コネクタに接続されているか確認します。**

2 **無線 LAN をお使いになる場合、接続するネットワーク名（SSID）とパスワードを確認します（→P.21）。**

3 **パソコン本体の電源ボタンを押します。**

4 **電源ランプが点灯していることを確認します。**

画面にセットアップの注意事項が表示されます。

5 画面に表示される注意事項をよくご覧になり、【Y】を押します。

```
◆　セットアップの注意事項　◆

これからセットアップを開始します。
下記注意事項をよくお読みになり、セットアップを開始してください。

■時間に余裕をもって作業してください。セットアップには半日以上の時間
　をとり、じっくりと作業をすることをお勧めします。
■操作の途中で電源を切らないでください。
　途中で電源を切ると、Windowsが使えなくなる場合があります。
　セットアップが終わるまでは、電源を切らないでください。
■セットアップ前に周辺機器を接続しないでください。
　別売りの周辺機器（プリンター、USBメモリ、メモリーカードなど）は、
　Windowsのセットアップが終わるまで接続しないでください。
　接続している場合は、下記【N】を押し、外してからセットアップを開始
　してください。

次のいずれかのキーを押してください。
【Y】：セットアップを続行します。
【N】：セットアップを中止します(後でセットアップ）。
　　※【N】を押したあと、自動的に電源が切れます。

本画面はセットアップ完了後表示されなくなります。
```

【N】を押した場合、再度セットアップを開始するときは、電源を入れ直してください。

重要

- 「地域と言語」画面が表示されるまで絶対に電源を切らないでください。

Point

- 【Y】または【N】を押しても画面がそのままの場合は、「よくあるトラブルと解決法」の「起動・終了時のトラブル」（→ P.109）をご覧ください。

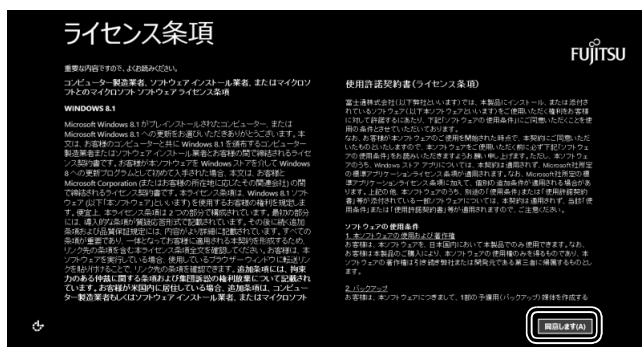
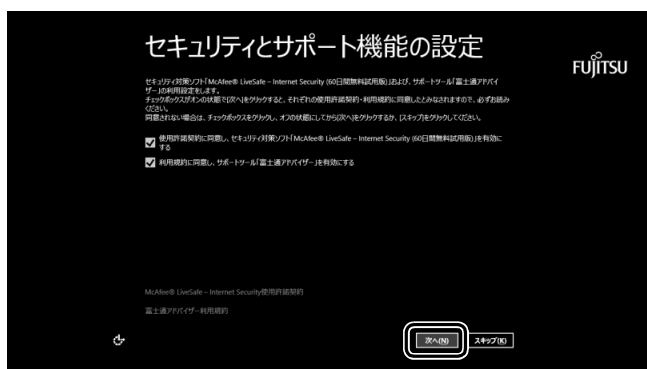
6 「地域と言語」画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。

画面が何度か変化します。

- しばらく操作をしないと省電力機能が働き、画面が真っ暗になることがありますが、電源が切れたわけではありません。マウス、キーボードを操作すると元の画面に戻ります。画面が戻らなかった場合は、電源ボタン（⏻）をポチッと押してください。

7 「地域と言語」画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

8 「ライセンス条項」をよく読みます。読み終わったら「同意します」をクリックします。

9 セキュリティとサポート機能についての説明をよく読んで、「次へ」をクリックします。

10 パソコンにお好きな名前（PC 名）を付けます。

① PC 名を入力します。

例：「fmv1」という名前にする場合は、キーボードから F 、M 、V 、1 と入力します。

②「次へ」をクリックします。

Point

- PC 名は、12 文字以内の半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）でお好きな名前を入力してください。数字を使う場合は英字と組み合わせてください。

11 「セットアップを始める前のチェック」（→ P.21）で記入したネットワーク名（SSID）をクリックします。

わからない場合は、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

Point

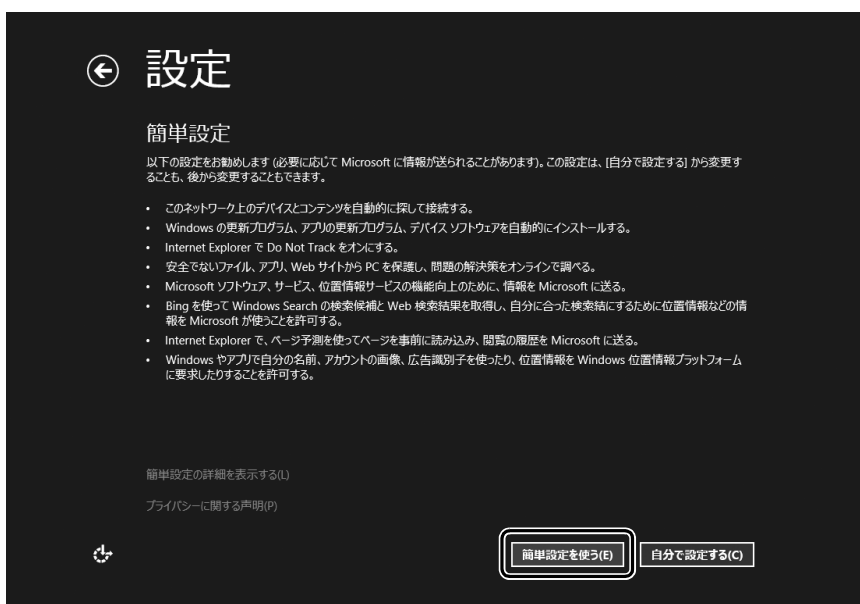
- 有線 LAN を使う場合はネットワークが「接続済み」となっていることを確認し、「次へ」をクリックします。手順 13 に進んでください。

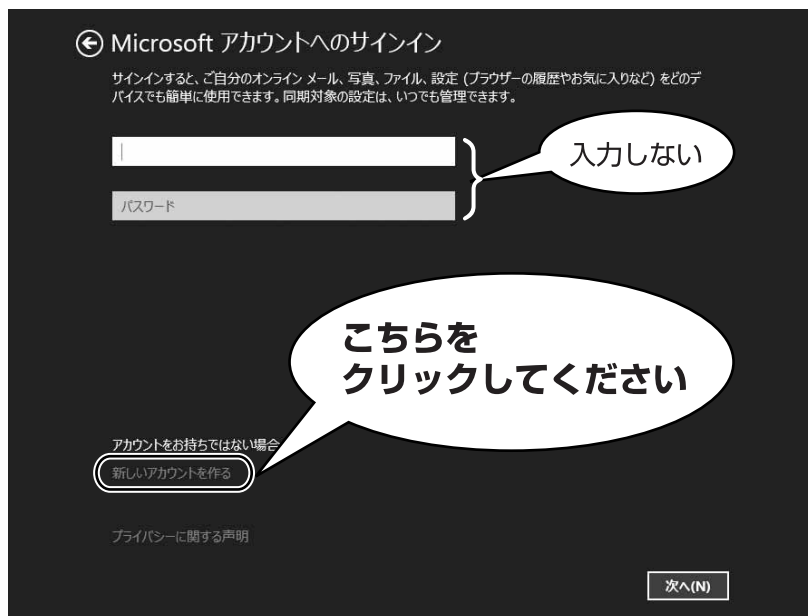
- セキュリティのためネットワーク名（SSID）が表示されないように設定している場合は、「非公開のネットワーク」をクリックし、画面の表示に従って操作してください。

12 このネットワークのパスワードを入力します。

①「セットアップを始める前のチェック」(→P.21)で記入したパスワードを入力します。
「ルーターのボタンを押しても接続できます。」と表示されていたら、無線LANアクセスポイント（ルーター）のボタンを押して接続できる場合があります。
詳しくは、無線LANアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

②「次へ」をクリックします。

13 「簡単設定を使う」をクリックします。

14 「新しいアカウントを作る」をクリックします。

パソコンへサインインするための Microsoft アカウント（メールアドレス）を新規作成します。

Point

- 右のような画面が表示された場合は、「インターネットに接続せずにセットアップしたときは」（→ P.161）の手順に従って、セットアップを続けてください。

アカウント取得についてのお問い合わせ

手順 14 ～ 20 の Microsoft アカウントを取得する操作については、日本マイクロソフト株式会社のサーバーにインターネットで接続して行っています。本書と異なる画面が表示された場合など、ご不明な点は日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

日本マイクロソフト株式会社　パーソナルサポート窓口

※お電話で問い合わせると、「マイクロソフト コミュニティ」のご利用を案内される場合があります。

電話番号：0120-54-2244
受付時間：月～金／ 9:30-12:00、13:00-19:00（土・日・祝祭日および指定休業日を除く）
マイクロソフト コミュニティ
URL：http://answers.microsoft.com/ja-jp/

15 新しくメールアドレスを作ります。

① 姓・名を入力します。

② メールアドレスとして使いたい文字列を入力します。
半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）およびピリオド (.)、ハイフン (-)、下線 (_) のみ使用できます。

③ パスワードを設定します。下段には設定したパスワードを再度入力してください。

【パスワードの作成例】

※ 例とまったく同じ文字をパスワードとして使わないでください。

④「次へ」をクリックします。

16 次の欄に手順15で作ったメールアドレスとパスワードを記入します。

パスワードは絶対に忘れないようにしてください。
サインインのときに毎回入力が必要です。

※参照しやすいよう本書の巻末にも記入欄を用意しています。
※第三者に漏れないように充分に注意して管理してください。

17 パスワードを忘れた場合のセキュリティ情報を入力します。

ここで入力した情報で、パスワードを再設定することができます。
「電話番号」と「連絡用メールアドレス」のどちらか1つは必ず入力してください。

① ⌄をクリックし、生年月日を選択します。

② 性別を選択します。

③ 電話番号を入力します。固定電話と携帯電話（スマートフォンを含む）、どちらの番号も使用できます。
本人確認をするときに必要になります。すぐに応対できる電話番号を入力してください。

④ 以前から使用しているメールアドレスを入力します（携帯電話およびスマートフォンのメールアドレスを除く）。
本人確認をするときに必要になります。すぐに応対できるメールアドレスを入力してください。

⑤「次へ」をクリックします。

18 最終設定を行います。

① 画面に表示されている文字を入力します。
文字が読めない場合は「新規」をクリックします。新しい文字が表示されます。

②「次へ」をクリックします。

Point

- 文字の入力を失敗した場合、「入力した文字が画面の文字と一致しません」というメッセージが表示され、新しい文字が表示されます。表示されている文字を再度入力してください。
- セキュリティ情報の入力に間違いがあった場合は、手順 17 に戻ります。入力内容を修正した後、手順 18 をやり直しになります。

19「後で行う」をクリックします。

Point

- 「コードの受け取り方法」を選択し、電話番号の最後の４桁かメールアドレスを入力して、「次へ」をクリックした場合は、右の画面が表示され、選択した方法でコードが送られてきます。

  送られてきたコードを入力し、「次へ」をクリックします。

  電話が聞き取れなかったり、メールが受信できなかったりした場合は、 をクリックして手順 17 へ戻り、その場で応対できる電話番号またはメールアドレスに変更し、やり直してください。

20 OneDrive の説明が表示された場合は、「次へ」をクリックします。

画面が何度か変化します。
デスクトップ画面が表示されるまでお待ちください。

（デスクトップ画面）

21 Windows を終了します。

セットアップを完了させるため、いったん Windows を終了させてください。
デスクトップ画面が表示された場合は、 を押してスタート画面を表示します。
スタート画面の右上にある をクリックし、表示されたメニューから「シャットダウン」をクリックします。

これで、Windows のセットアップが完了しました。

プロバイダーから提供されたメールアドレスなどでメールを使うには

Windows ストア アプリの「メール」ではお使いになれません。
「Outlook」、または「Windows Live メール」をお使いください。
使い方については、「富士通アドバイザー」の「メールの使い方」をご覧ください（→ P.41）。

「Outlook」について、ご不明な点がある場合は、次のお問い合わせ窓口をご利用ください。

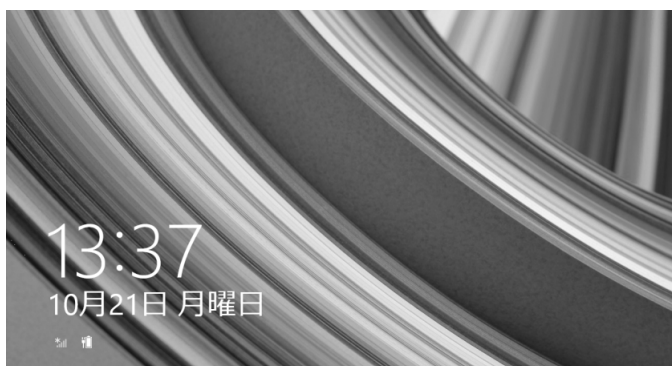
日本マイクロソフト株式会社　技術サポート窓口
電話：0120-54-2244
受付時間：月～金／ 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 19:00、
土／ 10:00 ～ 17:00（日・祝祭日および指定休業日を除く）
URL：http://support.microsoft.com/contactus/

パソコンを快適にお使いいただくための準備をする

「富士通アドバイザー」の準備をする

「富士通アドバイザー」とは、『取扱説明書<詳細版>』を表示したり、パソコンを使うために知っておいていただきたい情報をお届けしたりするアプリです。

1 電源ボタン（⏻）をポチッと押します。

2 ロック画面が表示されたら、【Enter】を押します。

3 パスワードを入力し、➡をクリックします。

「Windows をセットアップする」の手順 16 で記入したパスワードです。

4 デスクトップ画面が表示された場合は、【Windows】を押して、スタート画面を表示します。

5 スタート画面が表示されたら、「富士通アドバイザー」をクリックします。

6 「富士通アドバイザー」の画面が表示されたら、内容をよくお読みになり、「同意する」をクリックします。

7 「富士通アドバイザーをバックグラウンドで実行しますか ?」と表示されたら、「許可」をクリックします。

この後は、画面の指示に従って操作を進めます。

■ 次のお知らせは、できるだけ早くお読みください

● **パソコンを最新の状態にする**

Windows を最新の状態にします。

● **Windows 8.1 の使い方**

Windows 8.1 の基本操作や、スタート画面の使い方、パソコンの音量や画面の明るさの調整方法などをご紹介します。

- 「富士通アドバイザー」は、このほかにも、パソコンを快適にお使いいただくためのお知らせを配信します。定期的にご確認ください。
  また、マニュアル（『取扱説明書＜詳細版＞』）とトラブル解決の事例などご覧になれます。必要に応じてご確認ください。
- 「富士通アドバイザー」は、パソコンだけでなく、スマートフォンでもご利用いただけます。
  「富士通アドバイザー」（スマートフォン版）をご利用いただくと、万が一、パソコンが起動しなかったり、インターネットに接続できなかったりする場合でも、サポート情報やマニュアルをご覧いただけます。
  ※ Android 4.0 以降を搭載したスマートフォンが必要です。
  [ダウンロード手順]
  1. 富士通アドバイザーアプリのダウンロードページを開きます。
     http://azby.fmworld.net/support/mycloudapps/download/#fjadviser
  2. Google play バナーをクリックして、アプリをダウンロードします。
     ※「富士通アドバイザー」（スマートフォン版）の利用設定が必要です。

スマートフォンから

パソコンの使い方を初歩から学んでみたいけれど、勉強のしかたがわからない、近くにパソコン教室がないなどでお悩みではありませんか。

富士通では、Windows 8.1 を新しく使い始めたお客様を対象に、プロの担当者が基本操作をレッスンする有償のサービスメニューをご用意しています。

お客様の予算や目的にあったサポートプランをご提案しますので、「PC つなげてレッスンに関するお問い合せ窓口」までお電話ください。

PC つなげてレッスンに関するお問い合せ窓口（0120-994-499）
受付時間：平日 9 時から 17 時
※土・日・祝日、当社指定の休日を除く
※本サービスをご利用いただくには、ユーザー登録が必要となります。
http://azby.fmworld.net/support/pclesson/

「はじめに行う設定」で初期設定する

「はじめに行う設定」ウィンドウから、パソコンを快適にお使いになるために必要な初期設定を行ってください。

1 **スタート画面で「デスクトップ」をクリックして、デスクトップ画面を表示します。**

デスクトップ画面に、「はじめに行う設定」ウィンドウが自動で表示されます。

2 **「はじめに行う設定」ウィンドウに表示される項目をすべて実行します。**

（機種により表示されない項目もあります）

※「ウィルス対策アプリを設定する」では、Windowsのセットアップ中に「セキュリティとサポート機能の設定」画面でセキュリティ対策ソフトを有効にしていると、「対応済」になります。
「対応済」になっていない場合は、さまざまな脅威からパソコンを守るため、早めに「実行」をクリックし、「マカフィー リブセーフ」を有効にしてください。

①「表示」をクリックすると、「重要なお知らせ」という画面が表示されますので、よくお読みください。画面を閉じるときは、画面の上から下までドラッグしてください。

②「登録画面を表示」をクリックすると、「はじめに行う設定 - ユーザー登録をする」ウィンドウが表示されます。「パソコンの情報を送信する（推奨）」をクリックしてください。インターネットのユーザ登録専用ホームページが表示されます。ユーザー登録については、「ユーザー登録のご案内」（→ P.114）をご覧ください。

③「実行」をクリックすると、各アプリが起動するので初期設定してください。実行した項目は、左側のアイコンが「対応済」に変わります。

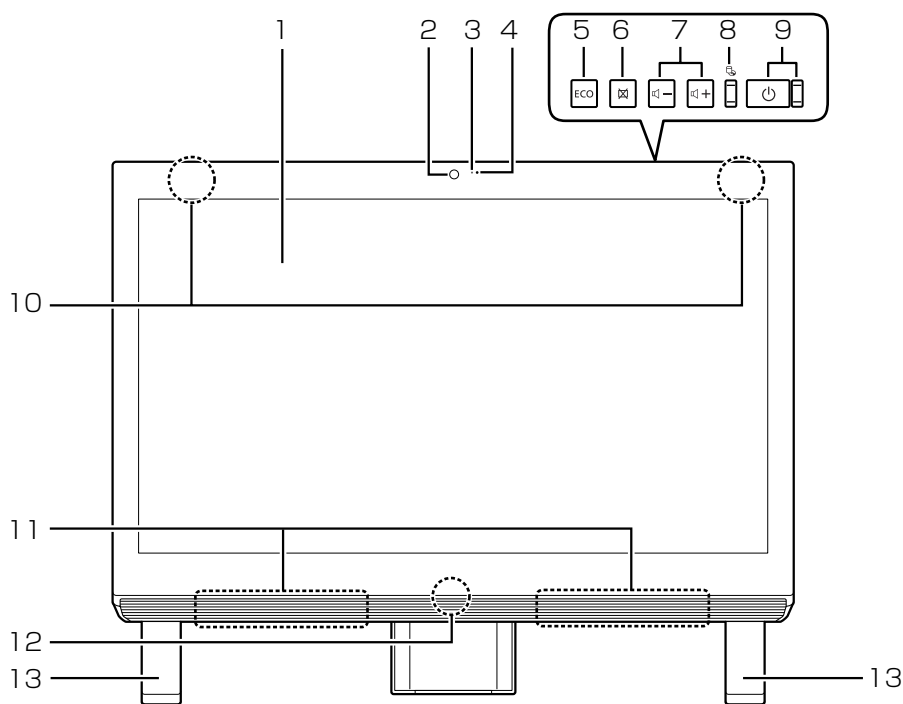
すべての項目を実行した場合は、パソコンを再起動したときに、「はじめに行う設定」ウィンドウが表示されなくなります。

Point

- 富士通からの「重要なお知らせ」を再度確認したい場合は、スタート画面左下の を クリックし、「はじめに行う設定」をクリックしてください。
  が表示されていない場合は、マウスポインターを動かすと表示されます。
  『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

すべての項目を実行するとセットアップは完了です。

2 各部の名称と働き

パソコン本体前面

1 **液晶ディスプレイ**
入力した内容や、パソコン内のデータなどを表示します。

2 **Web カメラ**
この Web カメラは、次の機能で使用します。
・ハンドジェスチャー（→ P.84）
・Sense YOU Technology 機能（人感センサー機能）（→ P.87）
・Skype（→ P.96）

3 **Web カメラ状態表示 LED**
Web カメラが動作しているときに点灯します。

Point

▶ 次の場合は点灯しません。
ハンドジェスャーまたはSense YOU Technology機能のみを有効にしている場合（Webカメラを使用するアプリが他に起動していない場合）

4 **デジタルマイク**
テレビ電話用アプリを利用して音声通話をするときに使います。

5 **ECO（エコ）ボタン**
ボタンを押すたびに、省電力モードがオンまたはオフに切り替わります。
省電力モードについて、詳しくは「ステータスパネルスイッチ」（→ P.97）をご覧ください。

6 **画面オフボタン**
画面を暗くしておきたいときに押します。

7 **音量調節ボタン**
音量を調節します。

8 **ディスクアクセスランプ（ ）**
内蔵ハードディスクや CD/DVD ドライブにアクセスしているときに点灯します。

9 **電源ボタン（ ）、電源ランプ**
電源ボタンでWindowsをスタート／終了できます（→ P.53）。
電源ランプに電源の状態が表示されます（→ P.54）。

10 **内蔵無線 LAN・内蔵 Bluetooth ワイヤレステクノロジー兼用アンテナ**

無線 LAN・Bluetooth ワイヤレステクノロジー兼用のアンテナが内蔵されています。

Point

- 無線LAN、Bluetoothワイヤレステクノロジーについて、詳しくは「通信」（→ P.132）をご覧ください。

11 **スピーカー**

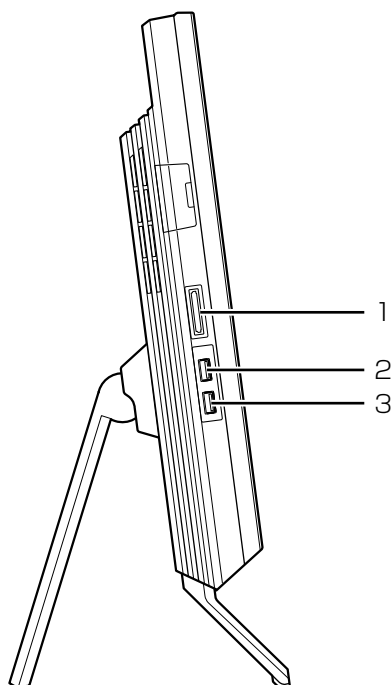
パソコンの音声を出力します。

12 **キーボード／マウスアンテナ**

キーボード／マウスアンテナが搭載されています。

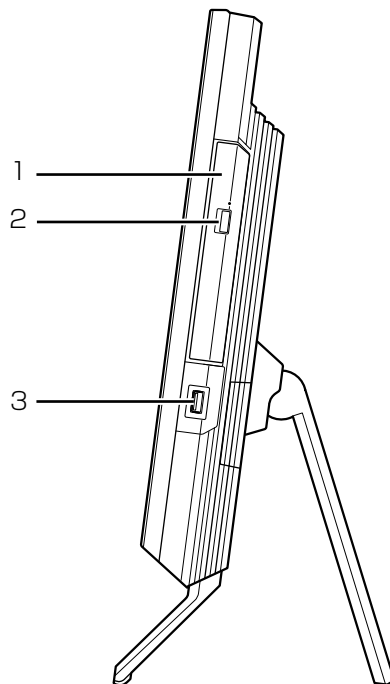
13 **フット**

パソコン本体側面

左側面

1 **ダイレクト・メモリースロット**
SD メモリーカードを差し込みます（→ P.70）。

2 **USB3.0 コネクタ（SS⇔）**
USB 規格の周辺機器を接続します。
・接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。
・USB 機器の形状によっては、同時に複数の USB 機器を接続できないことがあります。

3 **USB2.0 コネクタ（電源オフ USB 充電機能対応）（）**
USB 規格の周辺機器を接続します。
・接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。
・USB 機器の形状によっては、同時に複数の USB 機器を接続できないことがあります。
・USB3.0 対応の周辺機器も接続できます。この場合、USB2.0 で動作します。
・このコネクタは、設定を変更することにより、電源オフ USB 充電機能を使用できます。
詳しくは「電源オフ USB 充電機能」（→ P.74）をご覧ください。

右側面

1　**スーパーマルチドライブ**

ディスクの読み込み／書き込みをします（→P.63）。

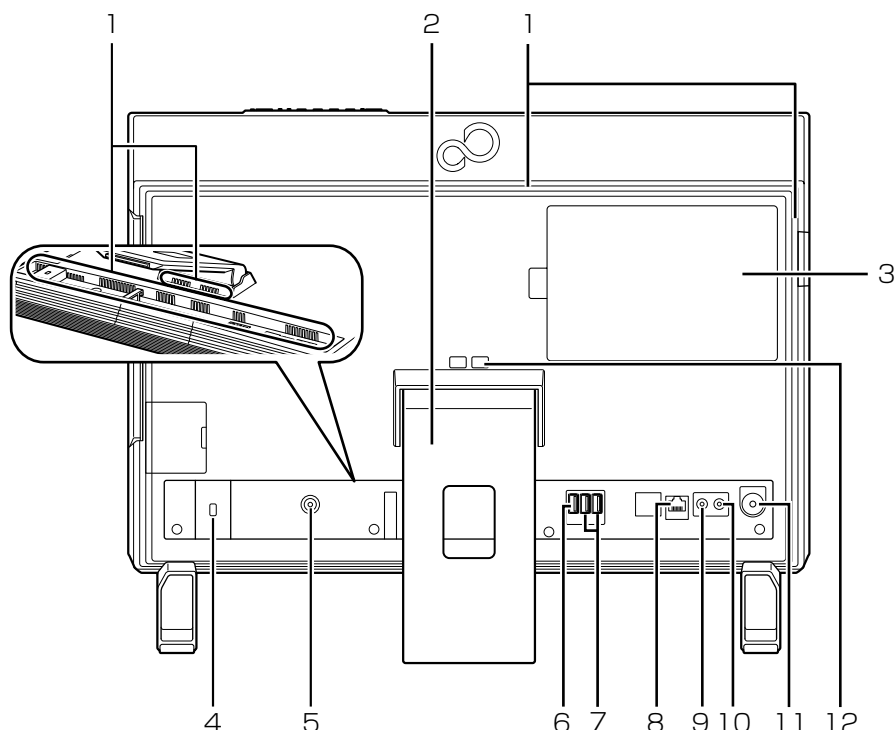
2　**CD/DVD 取り出しボタン**

ディスクをセットしたり取り出したりするときに使用します（→ P.67）。

3　**USB2.0 コネクタ（ ）**

USB 規格の周辺機器を接続します。

・接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

・USB3.0 対応の周辺機器も接続できます。この場合、USB2.0 で動作します。

パソコン本体背面

1 **通風孔**

パソコン本体内部と外部の空気を交換して熱を逃がすための開孔部です。

2 **スタンド**

パソコン本体の角度を調節できます（→ P.23）。

3 **メモリスロット**

メモリが取り付けられています。

メモリの取り付け／取り外しを行うときはカバーを取り外します（→ P.74）。

4 **盗難防止用ロック取り付け穴（ ）**

盗難防止用ケーブルを接続します。

5 **DC-IN コネクタ（ ）**

添付の AC アダプタを接続します。

6 **USB2.0 コネクタ（ ）**

USB 規格の周辺機器を接続します。

- 接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。
- USB機器の形状によっては、同時に複数のUSB機器を接続できないことがあります。
- USB3.0 対応の周辺機器も接続できます。この場合、USB2.0 で動作します。

7 **USB3.0 コネクタ（ ）**

USB 規格の周辺機器を接続します。

- 接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。
- USB 機器の形状によっては、同時に複数の USB 機器を接続できないことがあります。

8 **LAN コネクタ（ ）**

LAN ケーブルを接続します。

9 **ヘッドホン・ラインアウト兼用端子（ ）**

外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のヘッドホンを接続します。また、設定を変更することでオーディオ機器などの音声入力端子と接続するラインアウト端子として使用することもできます（→ P.130）。

10 **マイク・ラインイン兼用端子（ ）**

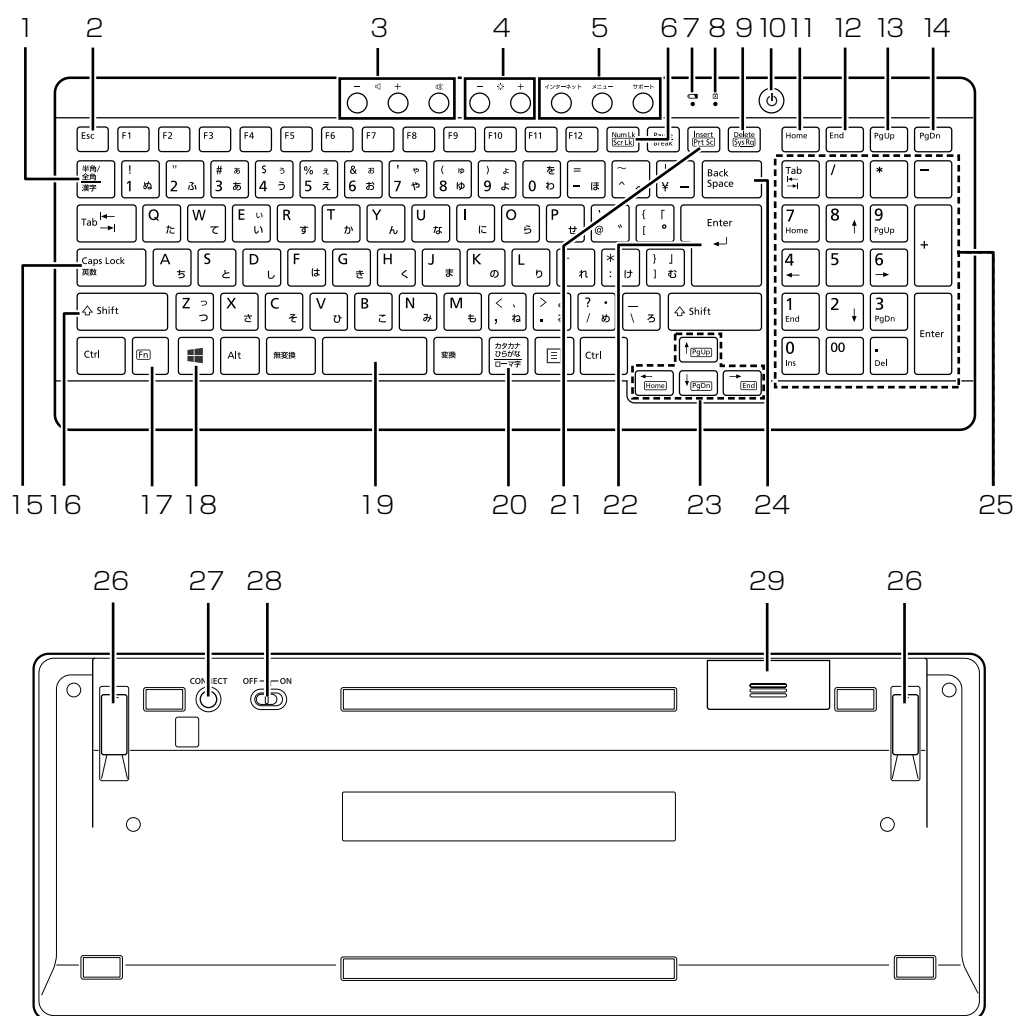
外径3.5mmのミニプラグに対応した市販のパソコン用マイクを接続します。また、設定を変更することでオーディオ機器などの音声出力端子と接続するラインイン端子として使用することもできます（→ P.130）。

11 **CONNECT ボタン**

キーボードやマウスをパソコンに再認識させるときに押します（→ P.60）。

12 **転倒防止フック**

壁や柱にパソコンを固定するひもを通します（→ P.17）。

キーボード

1 **半角／全角キー**

キーを押すたびに、半角入力／全角入力を切り替えます。全角入力にすると、日本語を入力できます。

2 **Esc キー**

現在の作業を取り消します。

3 **音量調節ボタン**

パソコン本体の音量を調節します（→ P.62）。

4 **明るさ調節ボタン**

画面の明るさを調節します（→ P.62）。

5 **ワンタッチボタン**

決められたアプリをワンタッチで起動します。

・インターネット

「Internet Explorer」を起動します。

・メニュー

「@メニュー」を起動します。

・サポート

パソコンの電源を切ったとき（→ P.167）

Windows が起動しないときにも、「ハードウェア診断」や「トラブル解決ナビ」などトラブル解決に役立つサポート機能を使うことができます（→ P.106）。

パソコンの電源を切ったとき（→ P.167）以外

「@メニュー」を起動し、パソコンのサポートやサービスなどの情報を確認することができます。

6 Num LK キー

テンキーの機能を切り替えます。

7 状態表示ランプ

キーボードの電池の消耗状態やパソコンとの認識状態を表示します。

8 Caps Lock ランプ

英大文字固定モード（英字を大文字で入力する状態）のときに点灯します。点灯時に、キーを押さない状態が約5秒続くと消灯します。その後スリープモードに移ります（→P.58）。

【CapsLock 英数】を押すたびにモードが切り替わります。

9 Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

10 パソコン電源ボタン（⏻）

パソコン本体の電源を入れたり切ったりします（→ P.53）。

11 Home キー

カーソルを行の最初に移動します。

【Ctrl】を押しながらこのキーを押すと、文章の最初に移動します。

12 End キー

カーソルを行の最後に移動します。

【Ctrl】を押しながらこのキーを押すと、文章の最後に移動します。

13 PgUp キー

前の画面に切り替えます。

14 PgDn キー

次の画面に切り替えます。

15 Caps Lock ／英数キー

【Shift】を押しながらこのキーを押して、英大文字入力／小文字入力を切り替えます。

16 Shift キー

【Shift】を押しながら記号の刻印されているキーを押すと、そのキーの上段に刻印されている記号を入力できます。

17 Fn キー

このキーを押しながら□で囲まれたキー（【↓PgDn】など）を押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

【Fn】＋【←/Home】	カーソルを行の最初に移動します。
【Fn】＋【Ctrl】＋【←/Home】	文章の最初に移動します。
【Fn】＋【↑/PgUp】	前の画面に切り替えます。
【Fn】＋【↓/PgDn】	次の画面に切り替えます。
【Fn】＋【→/End】	カーソルを行の最後に移動します。
【Fn】＋【Ctrl】＋【→/End】	文章の最後に移動します。

18 Windows キー

スタート画面を表示したいときに押します。

19 空白（Space）キー

空白を入力します。

20 カタカナ／ひらがなキー

【Alt】を押しながらこのキーを押して、ローマ字入力／ひらがな入力を切り替えます。

21 Prt Sc キー

【Fn】を押しながらこのキーを押すと、画面に表示されている内容を画像としてコピーで きます。

22 Enter キー

入力した文字を確定したり、改行したりします。

23 カーソルキー

カーソルを上下左右に移動します。

24 Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

25 テンキー

数字や記号を入力します。

26 高さ調整用フット

フットを起こすとキーボードに角度をつけることができます。

27 CONNECT ボタン

キーボードをパソコンに再認識させるときに押します（→ P.60）。

28 電源スイッチ

キーボードの電源を入れたり切ったりします。

29 **電池ボックス**

単 3 形電池を 1 本入れます。

重要

- キーボードは、このパソコン専用です。
  誤動作や故障の原因となる場合がありますので、他の機種のパソコンでご使用にならないでください。

Point

- 「キーボード状態表示ツール」で、【NumLK】キー、【Caps Lock】キー、【ScrLk】キーを押したときに、キーの状態を画面右上に表示することもできます。「キーボード状態表示ツール」の起動方法は次のとおりです。
  1. スタート画面で「@メニュー」をクリックします。
  2. 「@メニュー」の画面で、「パソコン設定」▶「かんたん」▶「キーボードの状態の表示／非表示を切り替える」▶「実行する」の順にクリックします。

  なお、キーの状態を表示する場合は、次の設定も確認してください。
  1. 画面左下隅の を右クリックし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ハードウェアとサウンド」をクリックします。
     ※スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせると が表示されます。
  2. 「キーボード状態表示ツール」をクリックします。
  3. 「表示する」を選択し、「OK」をクリックします。

3 取り扱い

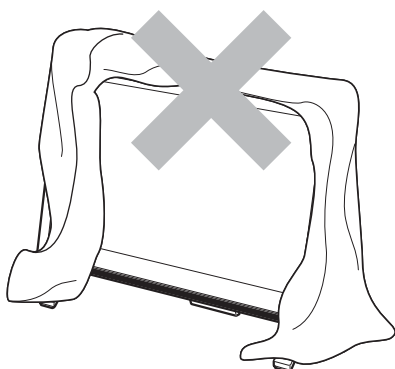
Windows をスタートする／終了する

Windows をスタートする

⚠ 注意

- 電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

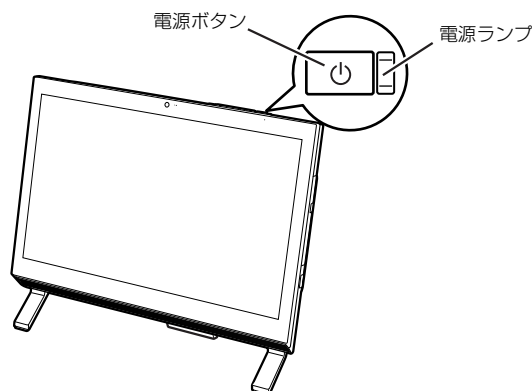
重要

- 電源を入れるときの注意
  - ・ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。
  - ・電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで10 秒ほどお待ちください。
  - ・パソコンに布などのカバーをかけている場合は、必ずそれらを完全に取り外してから電源を入れてください。パソコンの通風孔などが布などでふさがれたまま使用すると、パソコン内部に熱がこもり、動作不良、故障、または破損の原因になることがあります。

  - ・電源を入れた後は、Windows がスタートするまで電源を切らないでください。途中で電源を切ると、パソコンの動作が不安定になります。
  - ・電源を入れてから Windows がスタートするまでは、キーボードやマウスなどで操作しないでください。正常にスタートできない場合があります。

1 パソコンに接続されている機器の電源を入れます。

2 AC アダプタがコンセントに接続されていない場合は、電源プラグをコンセントに差し込みます。

3 パソコン本体の電源ボタンを押します。

電源ボタンを、4 秒以上押すとパソコンの電源が強制的に切れてしまいます。データが失われる場合もありますので、ご注意ください。

電源ランプが白く点灯し、ロック画面が表示されます。

4 【Enter】を押します。

パスワードを入力する画面が表示されます。

5 パスワードを入力し、➡をクリックします。

Windows が使える状態になります。

Point

- キーボードのパソコン電源ボタンを押すことで、パソコン本体の電源を入れることができます。
- 手順 5 で入力するパスワードは、Windows のセットアップのときに入力したパスワードです。パスワードについて詳しくは、「アプリ画面」の「ヘルプとサポート」をクリックして Windows のヘルプを表示し、「パスワード」で検索して表示される内容をご覧ください。
「アプリ画面」の表示方法は、『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』をご覧ください。
- Windows がスタートしない場合は、「起動・終了時のトラブル」（→ P.109）をご覧ください。

Windows を終了する

重要

- Windowsを終了する前に、作業中のデータがある場合は保存してください。また、CD/DVD ドライブにディスクが入っている場合は取り出してください。
- 次のような場合は、「パソコンの電源を完全に切る」（→ P.167）をご覧になり、電源を切ってください。
  - ・メモリを取り付ける／取り外す
  - ・AC アダプタを取り外す
  - ・パソコン本体内部や通風孔のお手入れをする
  - ・トラブル解決ナビを起動する
  - ・BIOS セットアップを起動する
- Windows がスタートして 1 分以上たってから終了するようにしてください。

1 **スタート画面を表示させた後、スタート画面の右上にある⏻をクリックします。**

2 **表示されたメニューから「シャットダウン」をクリックします。**

しばらくすると Windows が終了します。

Point

- Windowsを終了する方法はいろいろあります。
  - ・キーボードのパソコン電源ボタンを押す
  - ・パソコン本体の電源ボタンを押す
- Windows を終了できないときは、「起動・終了時のトラブル」（→ P.109）をご覧ください。

3 **パソコンに接続されている機器の電源を切ります。**

電源ランプの状態

電源ランプは、パソコンの状態によって次のように動作します。

電源ランプの状態	パソコンの状態
白色点灯	パソコンの電源が入っている
白色点滅	スリープ [注]
消灯	・休止状態 ・パソコンの電源が切れている

注：「ランプオフ設定」で消灯することもできます。「ランプオフ設定」の起動方法は次のとおりです。

1. スタート画面で「@メニュー」をクリックします。
2. 「@メニュー」の画面で、「設定を探す」▶「エコ・節電」▶「アクセスランプの点滅を止める」▶「実行する」の順にクリックします。

スリープにする／復帰させる

このパソコンを使わないときは、パソコンの電源を切らずに待機状態にしておくと、次にパソコンを使うときにすぐに使い始めることができます。
待機状態にはスリープと休止状態があります。ここでは、パソコンをスリープにする方法と、スリープから復帰する方法について説明します。

Point

- スリープとは
  Windows を終了せずに、作業中のデータなどをメモリに保存して、パソコンを待機状態にすることです。スリープ中は、メモリに保存したデータなどを保持するために少しずつ電力を消費しています。

スリープにするときの注意

次の場合は、いったんパソコンの電源を切り、電源を入れ直してください。

- ●パソコンを長期間使わないとき
- ●パソコンの動作が遅くなったり、正常に動作しなくなったりするとき
- ●Web カメラを使用するアプリを起動中は、一定時間パソコンを操作しない場合に自動的にスリープや休止状態になる機能はご使用になれません

スリープにする

1 スタート画面を表示させた後、スタート画面の右上にある⏻をクリックします。

2 表示されたメニューから「スリープ」をクリックします。
ディスプレイの表示が消えスリープになります。
パソコンがスリープになります。スリープ中は、電源ランプが点滅します。

スリープから復帰する

1 パソコン本体の電源ボタンを押します。
ロック画面が表示されます。

2 【Enter】を押します。
パスワードを入力する画面が表示されます。

3 パスワードを入力し、➔をクリックします。

Point

- スリープにした後、すぐに復帰（レジューム）しないでください。
  必ず、10 秒以上たってから復帰（レジューム）するようにしてください。
- 電源ボタンを押す以外の方法でスリープからレジュームさせると、Windows の仕様により、画 面が表示されない場合があります。画面が表示されない場合は、キーボードやマウスなどから入力を行うと画面が表示されます。
- レジューム後、画面が表示されないままの状態で 一定時間経過すると、再度スリープになります。

マウス

レーザーマウスは、底面からのレーザーにより照らし出されている陰影を検知し、マウスの動きを判断しています。このため、机の上だけでなく、衣類の上や紙の上でも使うことができます。

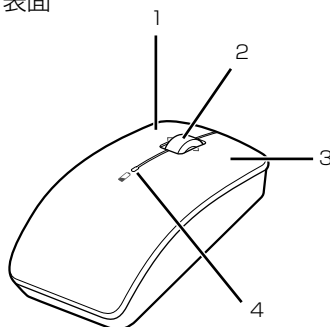
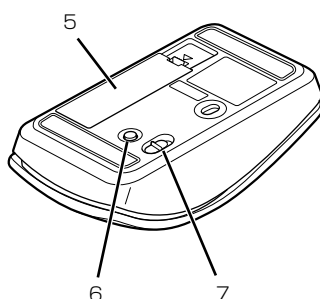
マウスをお使いになるうえでの注意

●レーザー式センサーについて
- ・マウス底面から目に見えないレーザー光を発しています。直接眼に向けると、目に悪い影響を与えることがありますので避けてください。
- ・センサー部分を汚したり、傷を付けたりしないでください。
- ・発光部分を他の用途に使わないでください。

●レーザー式マウスは、次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。
- ・鏡やガラスなど反射しやすいもの
- ・光沢のあるもの
- ・濃淡のはっきりしたしま模様や柄のもの（木目調など）
- ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

●レーザー式マウスは非接触でマウスの動きを検知しているため特にマウスパッドを必要としませんが、マウス本体は接触しているため、傷が付きやすい机やテーブルの上では、傷防止のためにマウスパッドなどを使用することをお勧めします。

各部の名称と働き

・表面

・裏面

（イラストは機種や状況により異なります）

1 **左ボタン**
クリックするとき押します。

2 **スクロールホイール**
- ・ホイールを回すと、画面を上下にスクロールできます。スタート画面の場合は、左右にスクロールします。
- ・ホイールを左右に倒すと、「チャームを表示する」や「アプリを切り替える」と同じ動作をします。

3 **右ボタン**
右クリックするとき押します。

4 **ステータスランプ**
マウスの電源を入れたときに、電池が消耗していない場合は、約 10 秒間緑色に点灯します。電池が消耗している場合は、赤色に点滅します。点滅したら、電池を交換してください（→ P.60）。

5 **電池ボックス**
単 3 形電池を 1 本入れます。

6 **CONNECT ボタン**
マウスをパソコンに再認識させるときに押します（→ P.60）。

7 **電源スイッチ**
マウスの電源を入れたり切ったりします。

マウスの使い方

ここでは、このパソコンに添付されているマウスの使い方について説明します。

Point

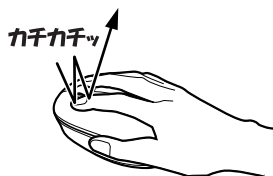
- マウスの設定について
  1. 画面左下隅の を右クリックし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックし、「ハードウェアとサウンド」をクリックします。
     ※スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせると が表示されます。
  2. 「デバイスとプリンター」の「マウス」をクリックします。
- スクロールホイールを左右に倒したときの動作を変更することもできます。
- スクロール機能やホイールを左右に倒したときの機能は、使用するアプリによって動作が異なることや、お使いになれないことがあります。
- スクロールホイールを押したときの動作はお使いの状況により異なります。

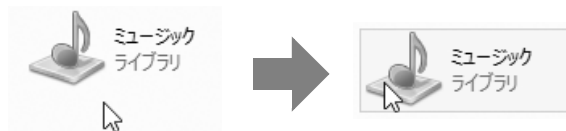
■クリック

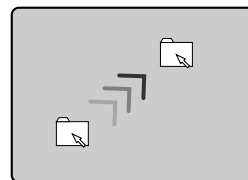
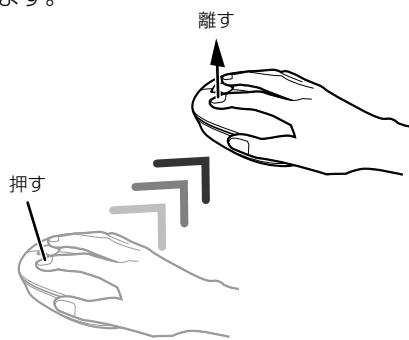
左ボタンをカチッと 1 回押して、すぐ離すことです。
また、右ボタンを 1 回カチッと押すことを「右クリック」といいます。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

■ダブルクリック

左ボタンをカチカチッとすばやく2回クリックすることです。

■ポイント

マウスポインター（ ）をアイコンやメニューなどに合わせることです。ポイントすると、項目が反転表示されたり、項目の説明が表示されたりします。

■ドラッグ

アイコンやウィンドウを、マウスポインター（ ）で掴むようにして移動させることです。
マウスポインター（ ）を任意の位置に移動し、左ボタンを押しながら希望の位置までマウスを移動し、指を離します。

■スクロール

スクロールホイールを回して、画面の表示を動かすことです。

■スクロールホイールを左右に倒す

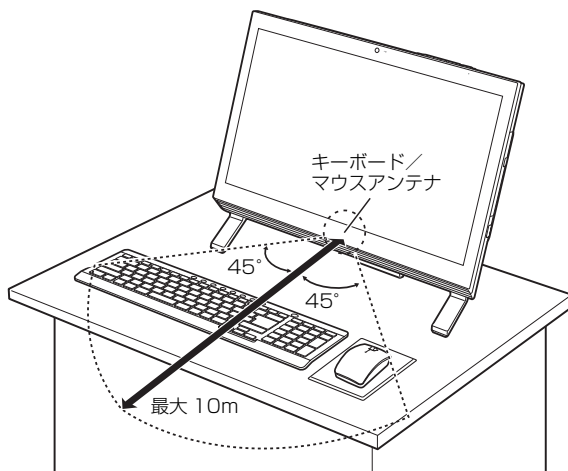
「チャームを表示する」や「アプリを切り替える」と同じ動作をします。

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス

このパソコンに添付のワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスをお使いになるときの注意事項や、電池の交換方法について説明します。

使用に適した配置

このパソコンに添付されているキーボードやマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。
信号を受けるキーボード／マウスアンテナは、パソコン本体に搭載されています。
キーボードおよびマウスは、次のような場所でお使いください。

●机の上など平らで安定した場所
●パソコン本体と同じくらいの高さで、操作に充分なスペースがとれる場所
●キーボード／マウスアンテナから最大10m(3m以内を推奨)、左右約45度の範囲
（ただし、設置環境により短くなる場合があります。）

（イラストは機種や状況により異なります）

●キーボードとマウスの外形寸法と質量は次のとおりです。
・キーボード
外形寸法（W × D × H）：
約 392mm ×約 149mm ×約 23mm（チルト未使用時）
質量：約 542g（電池含まず）
・マウス
外形寸法（W × D × H）：
約 55mm ×約 100mm ×約 35mm
質量：約 58g（電池含まず）

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスをお使いになるうえでの注意

このパソコンに添付されているキーボードとマウスを使うときの注意事項について説明します。

●次のような環境では、周囲からの電波を受けて、キーボードやマウスがうまく動作しないことがあります。設置場所を変えるなど、通信の妨げとなる原因を取り除いてください。
・キーボードやマウスとキーボード／マウスアンテナとの距離が離れすぎている場合
・パソコン本体とキーボードやマウスとの間に、電気・電子機器や金属製のものを置いている場合
・パソコン本体をスチール机やスチール棚のような金属製の台の上に載せている場合
・周囲でノイズ源となる電気・電子機器（無線機器を含む）を使用している場合
・パソコン本体周辺に金属製の物(スチール製の机、金属部分がある机）がある場合
・周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している機器がある場合
（パソコンを複数台でお使いの場合や、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合、または無線局の近隣でお使いの場合など）
・パソコン本体を電子レンジの近くに置いている場合
・ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスを使用したパソコンを近くで使用している場合
●キーボードは、電池の消耗を抑えるため、キーを押さない状態が約 10 分続くと、スリープモードに入ります。スリープモードから復帰するとき、最初に押したキーが無効になることがありますが、これは故障ではありません。もう一度、最初に押したキーを押してください。
●マウスは、電池の消耗を抑えるため、動かさない状態が約10分続くと、スリープモードに入ります。スリープモードから復帰すると、ステータスランプが約10秒間緑色に点灯します。

●**1.5V のアルカリ乾電池、または充電式ニッケル水素電池をお使いください。**

・マンガン乾電池などは、お使いにならないでください。充分な機能・性能で動作しない場合があったり、電池寿命が極端に短くなったりします。また故障の原因となる場合があります。

・充電式ニッケル水素電池をお使いになる場合は、電池に添付されているマニュアルをご覧になり正しくご使用ください。

●**ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。**

すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい電池に交換してください。

●**電池の寿命の目安は、毎日 3.5 時間の使用で、キーボードは約 6ヶ月、マウスは約 3ヶ月です。**

ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります。特にマウスの電池の寿命は、お使いの状況によって大幅に変わります。

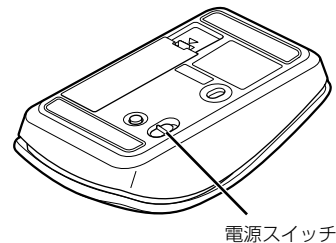
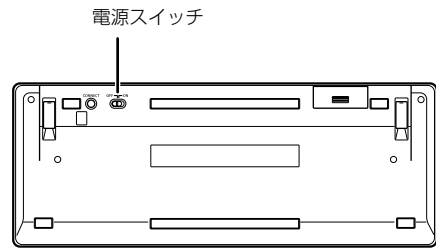
●**パソコンを操作していないときは、なるべく動かさないようにしてください。**

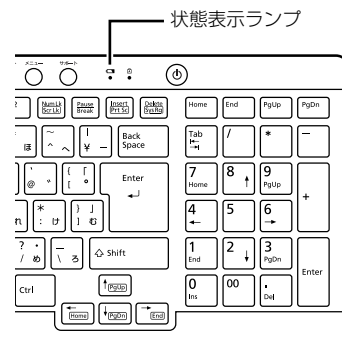
パソコン本体の電源が入っていなくても、キーボードやマウスが動作していると電池が消費されます。また、キーボードやマウスの上に物を載せたままにしないようにご注意ください。

●**長期間使用しないときは、電池を取り出してください。**

キーボードやマウスは、使用せずに放置していても、電池は消耗します。長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

●**電池の消耗を抑えるためには**

キーボードやマウスを使用しないときは、電源スイッチを OFF 側にして電源を切っておくことをお勧めします。

●**電池の消耗状態は、状態表示ランプまたはステータスランプをご覧ください。消耗している場合はお早めに新しい電池に交換してください（表示は目安です）。**

電池が消耗している場合は、ランプが赤色に点滅します。

電池を交換する

⚠ 注意

- 電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。
故障の原因となることがあります。

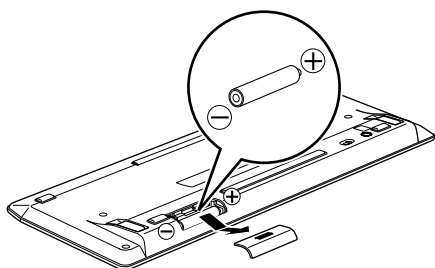
- 使い切って寿命のなくなった電池はすぐに取り出してください。電池の液もれなどの原因となることがあります。

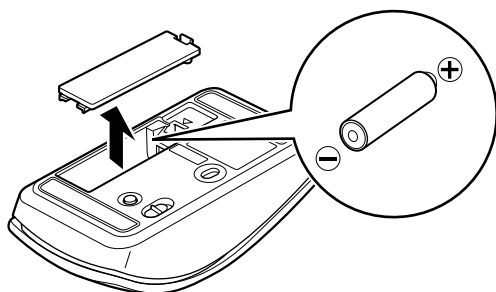
- 使用済み乾電池を充電して使用しないでください。
液もれ、破裂の原因になります。

1 **キーボードとマウスを裏返して電池ボックスのふたを開け、電池を取り出した後、新しい電池を入れます。**

電池を入れるときには、キーボードのキーやマウスのボタンを押さないように注意してください。正常に動作しなくなる場合があります。

■ワイヤレスキーボード

単３形電池（1本）

■ワイヤレスマウス

単３形電池（1本）

電池を入れたときに、キーボードの場合は状態表示ランプ、マウスの場合はステータスランプが約10秒間緑色に点灯します。

2 電池ボックスのふたを閉めます。

- 電池が使用推奨期限を過ぎていないか、確認してお使いください。

キーボードやマウスをパソコンに再認識させる

通常お使いの場合は、キーボードやマウスをパソコンに一度認識させれば、再認識させる必要はありません。

ただし、次のような場合は、キーボードやマウスを再度パソコンに認識させて、正常に動作するようにしてください。

●キーボードやマウスが正しく動作しない場合

●近くで使っているパソコンのキーボードやマウスによって、このパソコンが誤動作する場合

●2台以上のパソコンを使用している場合
ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスは、電波の混信や誤動作を避けるため､パソコンと1対1で設定する必要があります。

重要

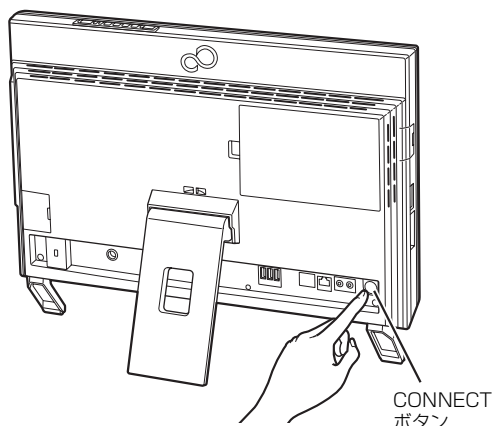
- パソコンに再認識させるときの注意
  - ・パソコンを設置している環境を確認してください。
  - ・キーボードとマウスの両方とも再認識させてください。
- ACアダプタが正しく接続されていないときは、パソコンにキーボードやマウスを認識させることができません。AC アダプタがパソコンに接続されていること、および電源プラグがコンセントに接続されていることを確認してください。

Point

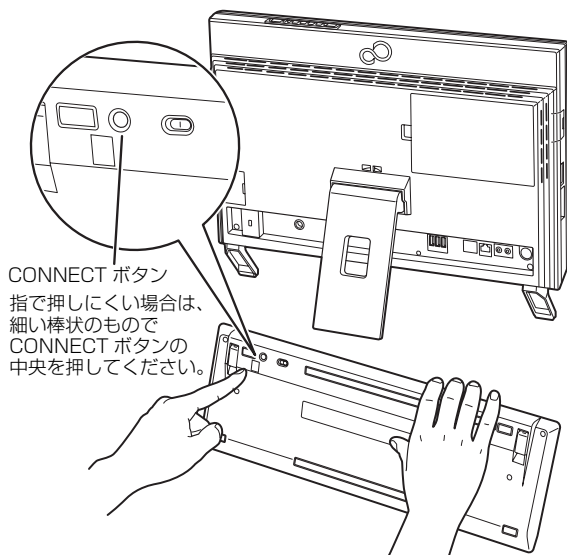
- 電池の交換などで電池を取り出した場合は、キーボードやマウスがパソコンに認識された状態になっています。再認識させる必要はありません。

■キーボードをパソコンに再認識させる

1 パソコン本体の CONNECT ボタンを約 1 秒間押します。

CONNECT ボタンを押すと「カチッ」という感触があります。「カチッ」という感触がない場合は、もう一度 CONNECT ボタンを押してください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 キーボード底面の CONNECT ボタンを指で 1 回押し、すぐに離します。

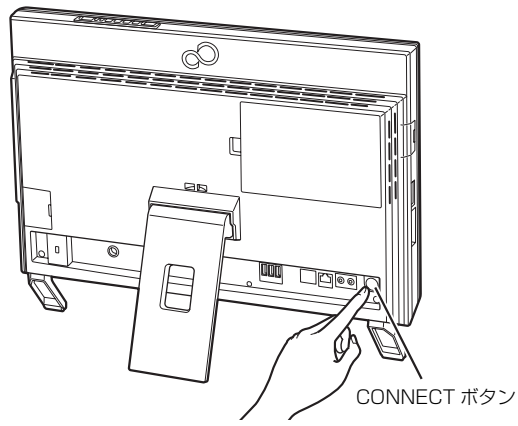
CONNECT ボタンを押すときは、キーボードのキーなどを押さないようにしてください。

状態表示ランプが点滅から点灯に変わり、約 2 秒後に消灯します。

点灯に変わらない場合は、いったん電池を出し入れし、もう一度手順 1 から操作してください。

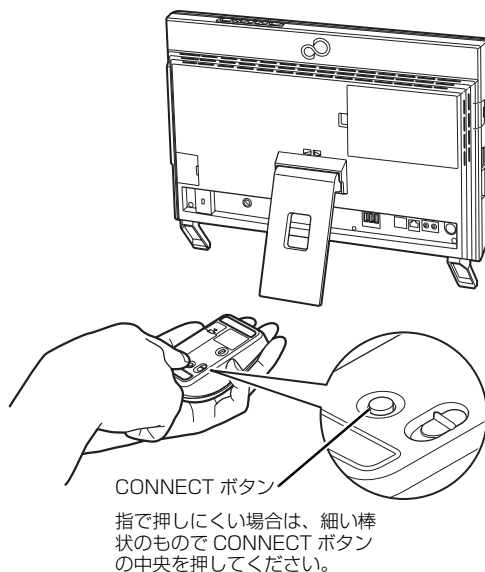
これでキーボードがパソコンに認識されました。続いて、マウスをパソコンに認識させましょう。

■マウスをパソコンに再認識させる

1 パソコン本体の CONNECT ボタンを約 1 秒間押します。

CONNECT ボタンを押すと「カチッ」という感触があります。「カチッ」という感触がない場合は、もう一度 CONNECT ボタンを押してください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 マウス底面のCONNECTボタンを指で 1 回押し、すぐに離します。

CONNECT ボタンを押すときは、左ボタンなどマウスの他のボタンを押さないようにしてください。

ステータスランプが点滅から点灯に変わり、約 2 秒後に消灯します。

点灯に変わらない場合は、いったん電池を出し入れし、もう一度手順 1 から操作してください。

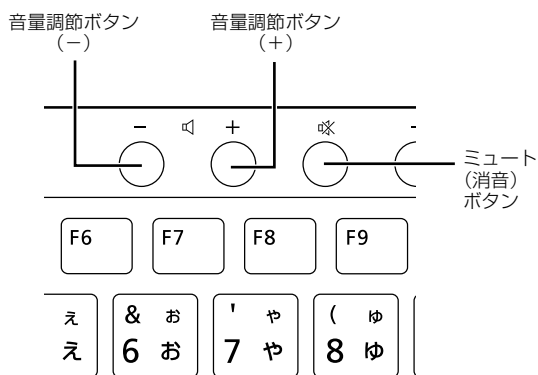
これでマウスがパソコンに認識されました。

音量

次の方法で音量を調節できます。

■キーボードで調節する

音量調節ボタン（－）を押すと小さく、音量調節ボタン（＋）を押すと大きくなります。

ミュート（消音）ボタンを押すと音が消え、もう一度押すと元の音量に戻ります。

（イラストは機種や状況により異なります）

Point

- デスクトップ画面右下の通知領域にある（スピーカー）をクリックして表示されるウィンドウなど、他の方法でも音量を調節できます。

画面の明るさ

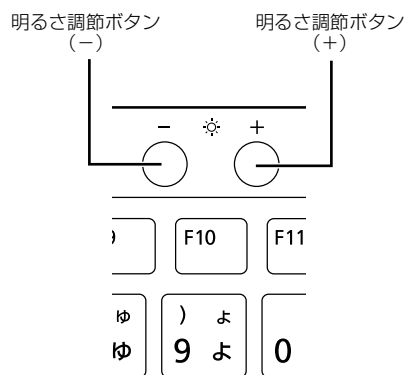
次の方法で画面の明るさを調節できます。

■キーボードで調節する

●明るくする

明るさ調節ボタン（＋）を押す

●暗くする

明るさ調節ボタン（－）を押す

CD/DVD ドライブ

このパソコンでは、CDやDVD、Blu-ray Discなどのディスクの再生や読み出し／書き込みを行うことができます。

著作物の録音や複製に関する注意

●音楽や画像などの著作物は、著作権法で保護されています。録音・複製（データ形式の変換を含む）などは、お客様個人またはご家庭内で楽しむ目的でのみ、行うことができます。音楽や画像をネットワーク上で配信するなど、上記目的を超える場合は、著作権者の許諾が必要です。
●著作権を保護されたディスクはコピーできません。ディスクの種類によっては、著作権保護のため、コピープロテクトがかかっている場合があります。このパソコンでは、著作権保護として、デスクランブル機能および相互認証機能が用意されています。著作権を保護されたデータなどをコピーしても、再生できません。

ディスクをお使いになるうえでの注意

●ディスクの再生中や書き込み／書き換え中は、振動や衝撃を与えないでください。
●ケースから取り出すときやパソコンにセットするときなど、ディスクは両面とも触らないようにしてください。
●ディスクは両面とも指紋やほこり、傷などを付けないでください。
●ディスクは両面ともラベルを貼らないでください。
●ディスクの表面にボールペンや鉛筆などの硬いもので字を書くと、ディスクに傷が付くおそれがあります。
●コーヒーなどの液体をかけないでください。
●汚れたり水滴が付いたりしたときは、少し湿らせた布で中央から外側へ向かって拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。
このとき、次の点に注意してください。
・シリコンクロスは使用しないでください。
・ヘアードライヤーなどで乾燥させたり、自然乾燥をさせたりしないでください。
・ベンジン、シンナー、水、レコードスプレー、静電気防止剤などで拭かないでください。
●使わないときは、ケースに入れて保管してください。
●曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
●高温・低温の場所に保管しないでください。
●スーパーマルチドライブをお使いの場合、アプリがBlu-ray Disc に対応していても、Blu-ray Disc はお使いになれません。

ディスクを再生するうえでの注意

●ディスクの再生直後、数秒間画面が正常に表示されないことがあります。
●デジタル放送を録画したDVDを初めて「WinDVD」で再生するときは、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されます。必ず「はい」をクリックしてください。
●ディスクによっては、正常に再生されない場合や、「WinDVD」の一部の機能が使用できない場合があります。
●再生するディスクのマニュアルも必ずご覧ください。
●各ボタンを操作する間隔は、1秒以上あけてください。
●再生するディスクによっては、コマ落ちする場合があります。
●ディスクを再生する前に、他のアプリは終了させてください。

Point

▸ DTSで記録されたDVD-VIDEOは、このパソコンでは音声再生ができません（スーパーマルチドライブ搭載機種のみ）。

■「WinDVD」の更新について

このパソコンには、ディスクを再生するアプリ「WinDVD」が用意されています。「WinDVD」は常に最新の状態に更新してお使いください。「WinDVD」を更新するには、サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）の「ダウンロード」から、アップデートプログラム（随時提供）をダウンロードして、インストールしてください。
インストール手順については、アップデートプログラムに添付されている「Readme.txt」をご覧ください。

■AACS キーの更新について（BDXL^{TM} 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）

Blu-ray Disc には、著作権保護技術のキーが働いています。
AACS キーは常に最新の状態に更新してお使いください。
更新方法については、下記の URL をご覧ください。
http://www.fmworld.net/aacs/esprimo/

ディスクに書き込み／書き換えをするうえでの注意

●書き込み／書き換え中にディスク面に傷を検出した場合、書き込み／書き換えが中断されることがあります。
●ディスクへ正常に書き込み／書き換えができない場合は、書き込み／書き換え速度を落とすことで、できる場合があります。
●DVD プレーヤーで映像を見る目的で、DVD に書き込みをする場合、画像の解像度は 720 × 480 に設定することをお勧めします。
その他の解像度で作成されたファイルを DVD に保存すると、一部の DVD プレーヤーで再生できない場合があります。
●「Roxio Creator」では DVD-RAM への書き込み／書き換えは行えません。

■書き込み／書き換えを行う前に

ディスクに、書き込み／書き換えを行う前に、次の操作をしてください。

●他のアプリは終了させてください。
●ディスクに書き込み／書き換え中にスリープや休止状態にならないように、「電源オプション」ウィンドウで「コンピューターをスリープ状態にする」を、「なし」に設定してください。
設定の変更については、「スリープ／休止状態」（→ P.143）をご覧ください。
●ディスクに書き込み／書き換え中にディスプレイがスクリーンセーバーに移行しないように次の設定をしてください。
1. スタート画面で「デスクトップ」をクリックします。
『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』
2. デスクトップ画面の何もないところを右クリックします。
3. 表示されるメニューから、「個人設定」をクリックします。
4. 「スクリーンセーバー」をクリックします。
5. 「スクリーンセーバー」の をクリックし、一覧から「（なし）」をクリックします。
6. 「OK」をクリックします。
7. × をクリックします。

■書き込み／書き換え中にしてはいけない操作

ディスクに書き込み／書き換え中は、次の操作を行わないでください。
書き込み／書き換えに失敗する場合や、時間がかかる場合があります。

●Windows を終了する
●パソコン本体の電源を切る
●パソコンをスリープや休止状態にする
●電源ボタンを押す
●CD/DVD 取り出しボタンを押す
●【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押す
●ディスクを操作するボタンを押す
●他のアプリを起動または操作する
●LAN などによるデータ転送をする

■一度書き込み／書き換えしたディスクをお使いになるときは

一度書き込み／書き換えしたディスクをお使いになるときは、次の点にご注意ください。

●パケットライト方式でデータが書き込まれたディスクは、このパソコンでは読み込むことはできません。
これらのディスクの読み出しや書き込みを行う方法については、ディスクを作成するときに使用したアプリのマニュアルをご覧ください。
●一度フォーマットや書き込みをした後は、同じアプリを使って書き換え、追記を行ってください。
●DVD+RW や DVD-RW、CD-RW、BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XL（BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XL は BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）に保存したファイルは、そのまま編集や更新をすることはできません。編集や更新をする場合は、次の手順で操作してください。
1. デスクトップ画面でハードディスクにファイルをコピーします。
2. ファイルが読み取り専用になっていたら、「読み取り専用」の属性を外します。
「読み取り専用」の属性を外すには、対象のファイルを右クリックし、表示されるメニューから、「プロパティ」をクリックします。
プロパティウィンドウで「全般」タブをクリックし、「読み取り専用」の☑をクリックして□にし、「OK」をクリックします。
3. ファイルの編集や更新をし、再度ディスクへ書き込みを行います。

●このパソコンで書き込みをしたディスクは、別のパソコンやアプリで利用できない場合があります。

使えるディスク／使えないディスク

■使えるディスク

このパソコンでお使いになることのできるディスクは、次のとおりです。

Point

‣ お使いになるアプリによって使えるディスクが異なる場合があります。詳しくはお使いになるアプリのヘルプをご覧ください。

○：対応　×：非対応

	読み出し（再生）	書き込み	書き換え
CD-ROM、音楽 CD、ビデオ CD、フォト CD	○	×	×
CD-R	○	○	×
CD-RW	○	○[注1]	○[注1]
DVD-Audio	×	×	×
DVD-ROM、DVD-VIDEO	○[注2]	×	×
DVD-R（4.7GB）	○	○	×
DVD-RW	○	○[注1]	○[注1]
DVD-R DL（8.5GB）	○	○	×
DVD+R（4.7GB）	○	○	×
DVD+RW（4.7GB）	○	○[注1]	○[注1]
DVD+R DL（8.5GB）	○	○	×
DVD-RAM（2.6GB・5.2GB）	×	×	×
DVD-RAM（4.7GB・9.4GB）	○	○[注3]	○[注3]
BD-ROM[注4]	○[注5]	×	×
BD-R（25GB）[注4]	○	○	×
BD-R DL（50GB）[注4]	○	○	×
BD-RE（25GB）[注4][注6]	○	○[注1][注3]	○[注1][注3]
BD-RE DL（50GB）[注4][注6]	○	○[注1][注3]	○[注1][注3]
BD-R LTH TYPE[注4]	○	○	×
BD-R XL（100GB）[注4]	○	○	×
BD-RE XL（100GB）[注4][注6]	○	○[注1][注3]	○[注1][注3]

注1：次のディスクに書き込んだデータを削除するには、データをすべて消去する必要があります。
・CD-RW、DVD-RW、DVD+RW に書き込んだデータ
・BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XL にライティングアプリで書き込んだデータ

注2：DVD-VIDEO は、リージョン（地域）コードに［2］が含まれているか、もしくは［ALL］のものを再生できます。

注3：購入した DVD-RAM や、Blu-ray Disc（BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XL）を使い始めるには、フォーマットを行う必要があります。ディスクのフォーマットについては、「ディスクをフォーマットする」（→ P.68）をご覧ください。

注4：BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ

注5：Blu-ray Disc は、リージョン（地域）コードに［A］が含まれているか、もしくは［FREE］のものを再生できます。

注6：BD-RE Ver1.0 には対応しておりません。

■推奨ディスク

次のディスクの使用をお勧めします。

下記以外のディスクをお使いの場合は、正常に書き込み／書き換えができない場合や再生できない場合があります。

なお、それぞれのディスクの詳しい仕様については、各メーカーのホームページなどをご覧ください。

□データ用

（2014 年 12 月現在）

	メーカー	メーカー型名
CD-R	太陽誘電（That's）	CDR80WTY10SV、CDR80WPY10BV
CD-RW	Verbatim（バーベイタム）	SW80QU5V1、SW80QM5V1、SW80QP5V1、SW80EU5V1
DVD-R	太陽誘電（That's）	DR-47WTY50BNT、DR-47WWY50BN、DR-47WWY10SNT、DVD-R47XY10P
	Verbatim（バーベイタム）	DHR47J10V1、DHR47JM10V1、DHR47JP10V1
DVD-R DL	Verbatim（バーベイタム）	DHR85HP5V1、DHR85HP10V1、DHR85HP10SV1
DVD-RW	Verbatim（バーベイタム）	DHW47Y10V1
DVD+R	ソニー	10DPR47HPSH

	メーカー	メーカー型名
DVD+R DL	Verbatim（バーベイタム）	DTR85HP5V1
DVD+RW	ソニー	5DPW47HPS
DVD-RAM	パナソニック	LM-HC47L（4.7GB、カートリッジ無）、LM-HC47LW5（4.7GB、カートリッジ無）、LM-HB94L（9.4GB、カートリッジ有、取り出し可）
BD-R[注]	パナソニック	LM-BR25LDH5（25GB）、LM-BR25LDH10（25GB）、LM-BR25MDH5（25GB）、
BD-R DL[注]	パナソニック	LM-BR50LDH5（50GB）、LM-BR50MDH（50GB）
BD-RE[注]	パナソニック	LM-BE25DH5A（25GB）
BD-RE DL[注]	パナソニック	LM-BE50DHA（50GB）、LM-BE50DH5A（50GB）

注：BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ

■使えないディスク

次のディスクはお使いにならないでください。

- 円形以外の異形ディスク（星型やカード型などの変形ディスク）
  このパソコンは円形のディスクのみお使いになれます。
  円形以外の異形ディスクをお使いになると故障する場合があります。
  異形ディスクをお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。
- 規格外の厚さの DVD 媒体
  DVD 規格では媒体の厚さを 1.14mm 〜 1.5mm と規定しています。
  記録面が薄い媒体など、一部でもこの範囲外の厚さになっている媒体をお使いになると故障する場合があります。
  規格外の DVD 媒体をお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。
- 規格外の厚さの Blu-ray 媒体（BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）
  規格では媒体の厚さを 1.15mm 〜 1.3mm と規定しています。
  記録面が薄い媒体など、一部でもこの範囲外の厚さになっている媒体をお使いになると故障する場合があります。
  規格外の Blu-ray 媒体をお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。
- 市販のクリーニングディスク、レンズクリーナー
  お手入れのときにお使いになると、逆にゴミを集めてしまい、CD/DVDドライブのレンズが汚れてしまう場合がありますので、お使いにならないでください。
- 中心に穴の空いていないディスク
- 傷またはヒビの入ったディスク
  傷またはヒビの入ったディスクをお使いになるとドライブ内で破損する場合があります。
- カートリッジに入れた状態で使用するタイプの DVD-RAM（Type1）
  DVD-RAM は、カートリッジなしタイプまたはカートリッジからディスクが取り出せるタイプをお使いください。なお、カートリッジに入れた状態で使用するタイプの DVD-RAM を、カートリッジから無理に取り出して使わないでください。
- BD-RE Ver1.0 規格の Blu-ray Disc（BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）

ディスクをパソコンにセットする／取り出す

ディスクのセット／取り出しは、パソコンの電源が入っている状態のときのみ可能です。

⚠ 注意

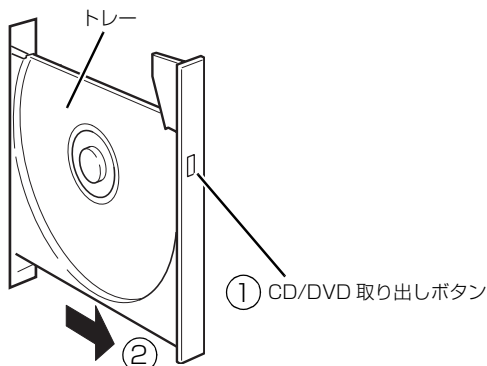
- ディスクをセットするとき、および取り出すときには、CD/DVD ドライブのトレーに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

- トレーに装着されているレンズに触れないでください。
ディスクの再生や、ディスクへの書き込み／書き換えが正しく行えなくなる原因になります。

■ディスクをセットする

1 トレーを出します。

① CD/DVD 取り出しボタンを押すと、トレーが少し飛び出します。②トレーを静かに引き出します。

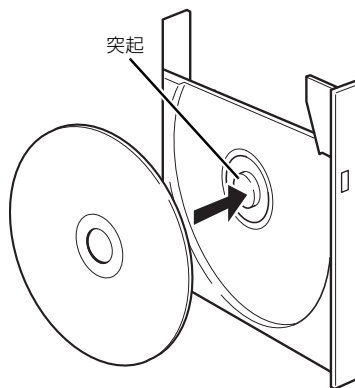
ディスクアクセスランプ点灯中でも操作が可能です。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

重要

- トレーを引き出すときの注意
  - ・トレーは勢いよく引っ張り出さないでください。
  - ・トレーは最後まで引き出してください。

2 トレーを支えながら、ディスクをセットします。

ディスクのレーベル面を手前側（両面タイプのDVD-RAM の場合は、データの読み取り／書き込みを行う面を裏側）にして、トレーの中央の突起にディスクの穴を合わせ、「パチン」と音がするまでしっかりとはめ込んでください。このとき、パソコン本体が転倒しないようトレーを手で押さえてください。

きちんとはめ込まないと、再生できなかったり、ディスクが取り出せなくなったりすることがあります。

3 カチッと音がするまで、トレーを静かに押し込みます。

ディスクをセットしてから、パソコンで使えるようになるまで、約 30 秒かかります。

ディスクによっては、セットすると自動的に起動するものもあります。

■ディスクを取り出す

1 ディスクを使っているアプリがあれば終了します。また、ディスク内のファイルを開いている場合はファイルを閉じてください。

2 トレーを出します。

① CD/DVD 取り出しボタンを押すと、トレーが少し飛び出します。

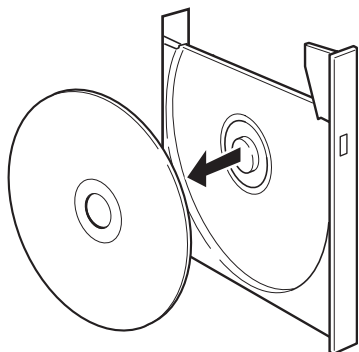
②トレーを静かに引き出します。

ディスクアクセスランプ点灯中でも操作が可能です。

重要

- トレーを引き出すときの注意
トレーを引き出すときは、勢いよく引っ張り出さないでください。

3 **トレーを支えながら、ディスクを取り出します。**

トレー中央の突起を押さえながら、ディスクがパソコン本体にぶつからないように、ディスクのふちを持ち上げてください。

（イラストは機種や状況により異なります）

4 **カチッと音がするまで、トレーを静かに押し込みます。**

トレーを出したまま放置しないでください。
CD/DVD ドライブ内部にほこりが入り、故障の原因となります。

ディスクが取り出せなくなった場合は、「富士通アドバイザー」の「トラブル解決」から「CD/DVD のトラブル」をご覧ください。

ディスクをフォーマットする

次のディスクは、お使いになる前にこのパソコンで読み書きできるようにするフォーマット（初期化）を行う必要があります。

- ●DVD-RAM
- ●BD-RE、BD-RE DL、BD-RE XL（BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）

ここでは、特定のアプリを使用せずに、「PC」ウィンドウから DVD-RAM などに直接データを書き込んで使用する場合のフォーマットの方法を説明します。
9.4GB の両面タイプの DVD-RAM については、片面ごとにフォーマットしてください。
特定のアプリを使用して、データの書き込み、書き換えをする場合は、お使いになるアプリのマニュアルやヘルプをご覧になり、フォーマット形式を選択してください。

注意

- ディスクをセットするとき、および取り出すときには、CD/DVD ドライブのトレーに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

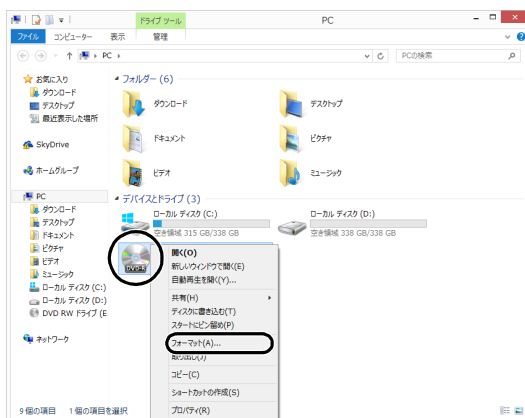
重要

- リカバリディスクセットを作成する場合は、Windows の機能でフォーマットをしないでください。ご利用方法は、「リカバリディスクセットを作っておく」（→ P.164）をご覧ください。

1 **フォーマットするディスクをセットします。**

2 **デスクトップ画面の （PC）をダブルクリックします。**

「PC」ウィンドウが表示されます。

3 **ディスクのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから、「フォーマット」をクリックします。**

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

4 「ファイルシステム」の ⌄ をクリックして、フォーマット種別を選びます。

■DVD-RAM の場合

「UDF 2.00」を選びます。

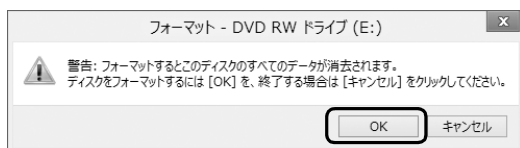
■Blu-ray Disc の場合（BDXL™ 対応 Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）

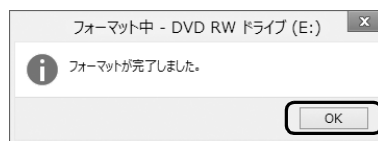
「UDF 2.50」を選びます。

Point

- 「ボリュームラベル」に入力した文字列がディスクの名前になります。ディスクに好きな名前を付けることができます。
- 「クイックフォーマット」の☑を☐にすると、フォーマットに時間がかかる場合があります。

5 「開始」をクリックします。

6 フォーマットを確認するメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。

フォーマットが始まります。

7 「フォーマットが終了しました」と表示されたら、「OK」をクリックします。

8 「閉じる」をクリックします。

メモリーカード

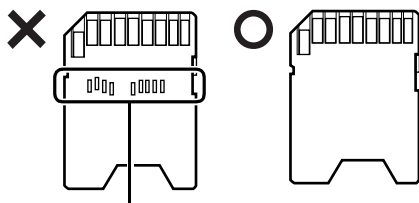
ダイレクト・メモリースロットは、デジタルカメラなどに使われているメモリーカードに直接データを読み書きするためのスロットです。

お使いになるうえでの注意

- **メモリーカードは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。メモリーカードを取り扱う前に、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。**
- **次のメモリーカードをお使いになる場合はアダプターが必要です。**
  - **miniSD カード、microSD カード、microSDHC カード、microSDXC カード**

  必ずアダプターに差し込んでからお使いください。そのままダイレクト・メモリースロットに挿入すると、メモリーカードが取り出せなくなります。
  また、メモリーカードを取り出す場合は、必ずアダプターごと取り出してください。アダプターだけをダイレクト・メモリースロットに残すと、故障の原因となります。

- **端子が露出しているminiSDカードアダプターは使用しないでください。**

  ダイレクト・メモリースロット内部の端子が接触し、故障の原因となります。
  miniSD カードのアダプターは、裏面中央部から端子が露出していない製品をご利用ください。

- メモリーカードや記録されているデータの取り扱いについては、メモリーカードや周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- メモリーカードをデジタルカメラなどで使っている場合は、お使いの機器でフォーマットしてください。このパソコンでフォーマットすると、デジタルカメラなどでメモリーカードが使えなくなります。デジタルカメラなどでのフォーマットの方法については、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。
- テレビ番組の視聴中や録画中または録画予約の待機中は、メモリーカードのセットや取り出しを行わないでください（テレビチューナー搭載機種のみ）。
- Windows の ReadyBoost には対応しておりません。

使えるメモリーカード

ダイレクト・メモリースロットが対応しているメモリーカードと、その最大容量は次のとおりです。
なお、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

[注]	・SD メモリーカード（2GB） ・miniSD カード（2GB） ・microSD カード（2GB） ・SDHC カード（32GB） ・microSDHC カード（32GB） ・SDXC カード（128GB） ・microSDXC カード（64GB）

注：・マルチメディアカード、セキュアマルチメディアカードには対応していません。
・SDIO カードには対応していません。
・著作権保護機能（CPRM［シーピーアールエム］）に対応しています。

メモリーカードを差し込む／取り出す

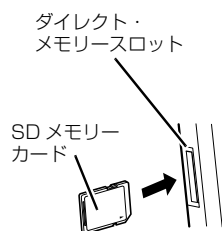
⚠ 注意

- メモリーカードをセットするとき、および取り出すときには、ダイレクト・メモリースロットに指などを入れないでください。
  けがの原因となることがあります。

- 取り外したメモリーカードは小さいお子様の手の届かないところに置いてください。
  お子様が口に入れたり、誤って飲み込むとけがや窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

■メモリーカードを差し込む

1 **メモリーカードをダイレクト・メモリースロットにセットします。**

アダプターが必要なメモリーカードは、必ずアダプターに差し込んだ状態でセットしてください。
ダイレクト・メモリースロットの場所については、「各部の名称と働き」の「パソコン本体側面」（→P.46）をご覧ください。

※製品名のある面をパソコン本体前面側にして、まっすぐにセットします。
※複数のメモリーカードを同時に使用することはできません。

（イラストは機種や状況により異なります）

重要

- 書き込み禁止の状態のメモリーカードにファイルの書き込みや削除を行った場合、エラーメッセージの表示に時間がかかることや、メモリーカードの内容の一部が正しく表示されないことがあります。その場合は、書き込み禁止の状態を解除し、差し込み直してください。
- Windows が起動している状態でデジタルカメラで撮影した写真が入ったメモリーカードを差し込むと、写真データを取り込むためのアプリ「マイフォト」が自動的に起動します。

■メモリーカードを取り出す

重要

- ダイレクト・メモリースロットからメモリーカードを取り出す場合は、次のことに注意してください。
  - ・メモリーカードを強く押さないでください。指を離したときメモリーカードが飛び出し、紛失したり、衝撃で破損したりするおそれがあります。
  - ・メモリーカードを引き抜くときは、ひねったり斜めに引いたりして、メモリーカードに無理な力がかからないようにしてください。
  - ・ダイレクト・メモリースロットを人に向けたり、顔を近づけたりしないでください。メモリーカードが飛び出して、思わぬけがをするおそれがあります。
  - ・必ずメモリーカードを一度押して、少し飛び出した状態にしてから引き抜くようにしてください。
    そのまま引き抜くと誤動作の原因になります。

1 **メモリーカードにアクセスしていないことを確認します。**

ファイルのコピー、移動、削除などが終了していることを確認してください。

2 **デスクトップ画面右下の通知領域にあるをクリックし、表示された（ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す）をクリックします。**

メモリーカードによっては、（ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す）が表示されないものもあります。アイコンが表示されない場合には、メモリーカードのマニュアルをご覧になり、確認してください。

3 **「nnn の取り出し」をクリックします。**

nnn にはお使いのメモリーカードの名称が表示されます。

4 **「nnn　はコンピューターから安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されたら、メモリーカードをパソコンから取り出します。**

メモリーカードを一度押すと、少し飛び出します。飛び出したメモリーカードを引き抜きます。

周辺機器の取り扱い

メモリなどの周辺機器をお使いになる場合に知っておいていただきたいことについて説明します。

Point

- 周辺機器とは
  メモリ、プリンター、デジタルカメラなど、パソコン本体に取り付ける装置の総称です。

警告

- 周辺機器の取り付け／取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
  この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

- 周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
  誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

周辺機器の取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

- **周辺機器は、弊社純正品をお使いいただくことをお勧めします**
  純正品が用意されている周辺機器については、純正品以外を取り付けて、正常に動かなかったり、パソコンが故障したりしても、保証の対象外となります。
  純正品が用意されていない周辺機器については、このパソコンに対応しているかどうかをお使いの周辺機器メーカーにご確認ください。

●周辺機器に添付のドライバーがお使いのWindowsに対応しているか確認してください

お使いになる周辺機器のドライバーがお使いのWindows に対応していないと、その周辺機器はお使いになれません。必ずお使いの Windows に対応したものをご用意ください。

●一度に取り付ける周辺機器は1つだけにしてください

一度に複数の周辺機器を取り付けると、ドライバーのインストールなどが正常に行われないおそれがあります。1つの周辺機器の取り付けが終了して、動作確認を行ってから、別の周辺機器を取り付けてください。

●コネクタの向きを確認してください

周辺機器を接続する場合は、まっすぐ接続してください。

●マイク・ラインイン兼用端子／ヘッドホン・ラインアウト兼用端子への接続について

次のような場合には、あらかじめ音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホンは使用しないでください。雑音が発生する場合があります。

・パソコン本体の電源を入れるとき、切るとき
・マイク・ラインイン兼用端子やヘッドホン・ラインアウト兼用端子にケーブルを接続するとき

●周辺機器の電源について

周辺機器の電源はパソコン本体の電源を入れる前に入れるものが一般的ですが、パソコン本体より後に電源を入れるものもあります。周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■パソコン本体内部に取り付ける場合の注意

●パソコンおよび接続されている機器の電源を切ってください

パソコンの電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。安全のため、マニュアル内に電源プラグを抜くように指示がある場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。パソコン本体の電源の切り方については、「パソコンの電源を完全に切る」（→ P.167）をご覧ください。

●電源を切った直後は作業をしないでください

電源を切った直後は、パソコン本体内部の装置が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後 10 分ほど待ってから作業を始めてください。

●内部のケーブル類や装置の扱いに注意してください

傷を付けたり、加工したりしないでください。また、ねじったり、極端に曲げたりしないでください。

●柔らかい布の上などで作業してください

固いものの上に直接置いて作業すると、パソコン本体に傷が付くおそれがあります。

●静電気に注意してください

内蔵周辺機器は、基板や電子部品がむきだしになっています。これらは、人体にたまった静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れるなどして静電気を放電してください。

●基板表面やハンダ付けの部分、コネクタ部分には手を触れないでください

金具の部分や、基板のふちを持つようにしてください。

電源オフ USB 充電機能

電源オフ USB 充電機能とは

電源オフ USB 充電機能とは、パソコンが電源オフ、スリープ、休止状態のときでも、USB 充電に対応した周辺機器を充電することができる機能です。
電源オフ USB 充電機能は、ご購入時には無効に設定されています。
お使いになる場合は機能を有効にしてください。詳しくは、サポートページから Q&A ナンバー「6708-5851」を検索してご覧ください。
また、お使いになるときは、次の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

電源オフ USB 充電機能をお使いになるうえでの注意

電源オフ USB 充電機能を有効にした場合、充電を必要としない USB 周辺機器（USB メモリ、キーボード、マウスなど）は、電源オフ USB 充電機能に対応する USB コネクタに接続しないでください。
※ 電源オフ USB 充電機能対応の USB コネクタ（ ）の場所については、「各部の名称と働き」をご覧ください。

- 周辺機器によっては、電源オフ USB 充電ができない場合があります。
- スリープから復帰したときに、電源オフ USB 充電機能対応の USB コネクタに接続した USB 周辺機器について、次の現象が発生する場合があります。
  なお、現象が発生しても USB 周辺機器本体および記録データが破損することはありません。
  - ・デバイス認識のポップアップウィンドウが表示される
  - ・「自動再生」ウィンドウが表示される
  - ・接続したUSB周辺機器のドライブ名が変わる
  - ・接続した USB 周辺機器と連携しているアプリが起動する

- 電源ボタンを４秒以上押してこのパソコンの電源を切った場合は、電源オフ USB 充電はできません。

メモリ

メモリの組み合わせを確認する

■ご購入時のメモリの組み合わせ

ご購入時に搭載されているメモリ容量は、次の表のとおりです。

品名	総容量	メモリスロット	
		1	2
FH52/T	4GB	4GB	−

■メモリの組み合わせ

お使いの機種によっては、メモリ容量を増やして、パソコンの処理能力などを上げることができます。メモリを増設または交換する場合は、次の表のように組み合わせてください。
この表以外の組み合わせにすると、パソコンが正常に動作しないことがあります。

総容量	メモリスロット	
	1	2
8GB	4GB	4GB
16GB	8GB	8GB

メモリの取り扱い上の注意

⚠警告

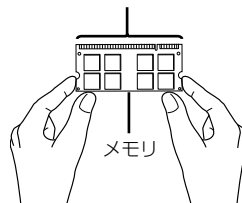
- メモリの取り付け／取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
  この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

⚠注意

- メモリの取り付け／取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。
  指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

- 基板表面上の突起物には手を触れないでください。
  けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

- 取り外したメモリは小さいお子様の手の届かないところに置いてください。
  お子様が手を触れたり、口に入れると、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

- メモリを取り付けるときは、メモリの差し込み方向をお確かめのうえ、確実に差し込んでください。誤ってメモリを逆方向に差したり、差し込みが不完全だったりすると、故障の原因となることがあります。
- メモリは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。メモリを取り扱う前に、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。
- メモリは何度も抜き差ししないでください。故障の原因となることがあります。
- メモリの表面の端子や IC 部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないようにしてください。
- メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてからメモリを取り付け直してください。
- メモリは下図のように両手でふちを持ってください。金色の線が入っている部分（端子）には、絶対に手を触れないでください。

- パソコン本体の電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。必ず電源プラグをコンセントから抜いたことを確認してください。

必要なものを用意する

■メモリ

このパソコンに取り付けられるメモリについては、富士通ショッピングサイト「WEB MART」の「周辺機器」(http://www.fujitsu-webmart.com/) をご覧になるか、ご購入元にお問い合わせください。

■プラスドライバー（ドライバーサイズ：2 番）

このパソコンのネジを取り外すときに使います。ネジ頭のサイズに合った2番のドライバーをお使いください。他のドライバーを使うと、ネジ頭をつぶすおそれがあります。

メモリの取り付け／取り外し

⚠警告

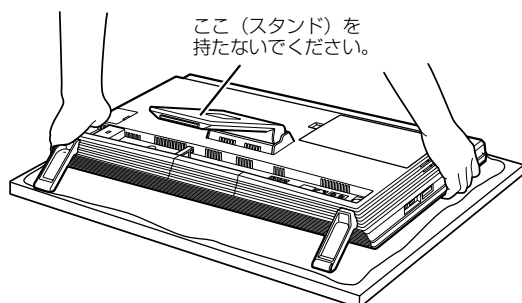
- メモリの取り付け／取り外しを行うときなど、背面カバーを開ける場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、しばらくたってから背面カバーを開けてください。
  落雷が起きた場合に感電の原因となります。

「メモリの取り扱い上の注意」(→ P.75)をご覧になり、作業を進めてください。
電源を切って作業しますので、この内容を印刷しておくことをお勧めします。

1 **パソコン本体と接続されている周辺機器の電源を切ります(→ P.167)。**

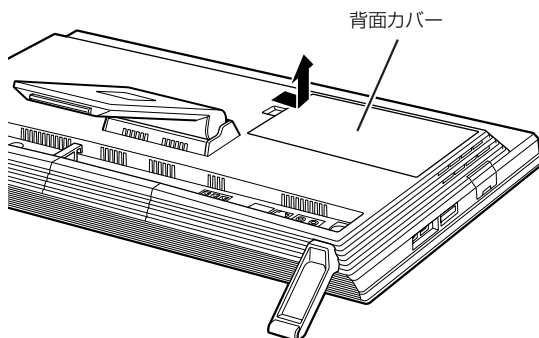
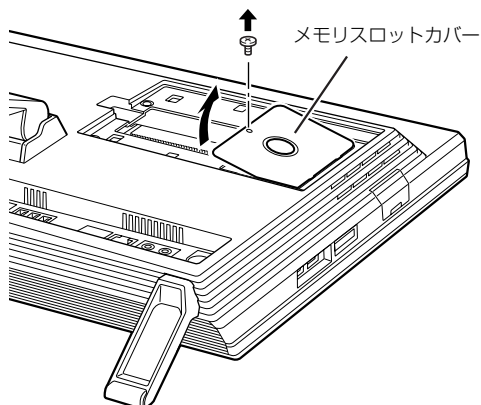
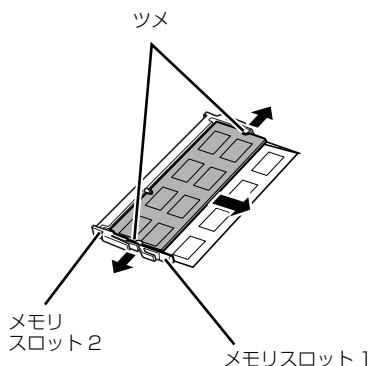
2 **電源プラグをコンセントから抜きます。**
電源を切った直後は、パソコン本体内部が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後 10 分ほど待ってください。

3 **パソコン本体に接続されている機器をすべて取り外します。**

4 **パソコン本体の背面が上になるように、パソコン本体を横にします。**
作業は厚手の柔らかい布を敷いた平坦な台の上でしてください。特に、液晶ディスプレイに突起物があたらないようにしてください。

(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

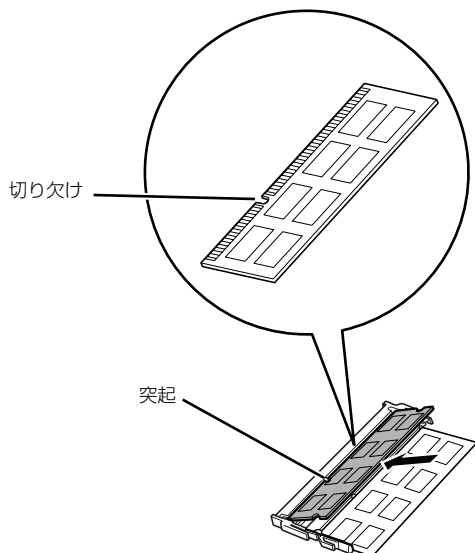
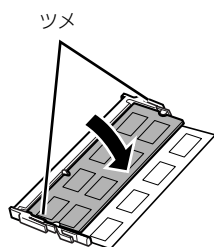
重要

- パソコン本体は重量があります。
  パソコン本体を横にするときは、衝撃を与えたり、落下させないよう充分ご注意ください。

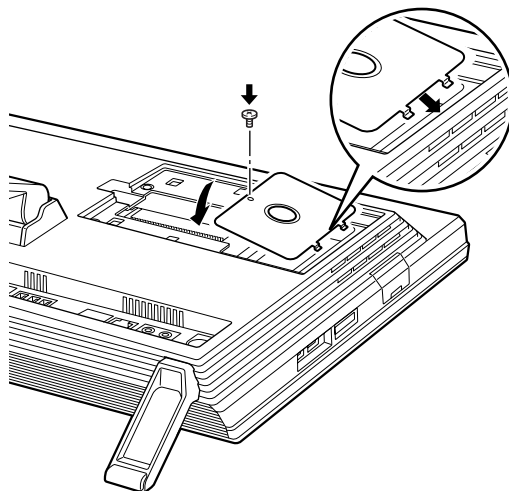
5 **背面カバーを取り外します。**

6 **メモリスロットカバーを取り外します。**
メモリスロットカバーのネジ(1ヶ所)を外し、メモリスロットカバーを取り外してください。

7 **メモリを交換する場合は、パソコンに取り付けられているメモリを取り外します。**
メモリを押さえている両側のツメを左右に開くと、メモリが少し斜めに持ち上がります。両手でメモリのふちを持って斜め上の方向に引っ張り、メモリスロットから取り外します。
下段にあるメモリスロット 1 のメモリを交換する場合は、上段にあるメモリスロット 2 のメモリを先に取り外してください。

重要

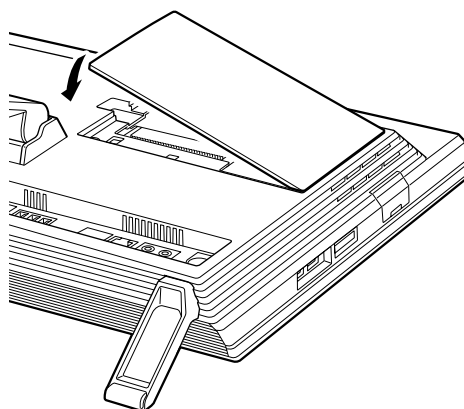
- メモリを取り外すときの注意
  メモリスロットの両側のツメを外側に開くときに、指をはさまないようにご注意ください。

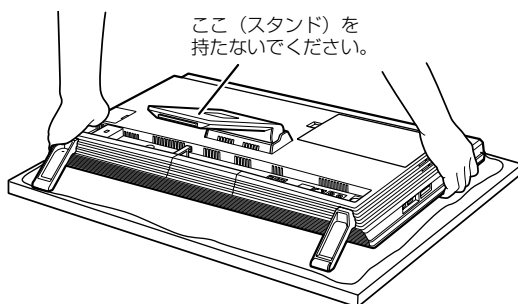
8 新しいメモリをメモリスロットに取り付けます。

両手でメモリのふちを持って、メモリの欠けている部分と、メモリスロットの突起が一致するように、斜め上からしっかりと差し込んでください。
2 枚のメモリを取り付ける場合は、下段にあるメモリスロット 1 から先に取り付けてください。

9 「パチン」と音がするまで下に倒します。

メモリを押さえている両側のツメが、きちんとはまったことを確認してください。

10 メモリスロットカバーを取り付けます。

メモリスロットカバーを取り付け、ネジ（1ヶ所）で固定します。
ネジは固く締めすぎないようにしてください。

11 背面カバーを取り付けます。

背面カバーの中央付近を押して、しっかりと取り付けてください。

12 パソコン本体を立てます。

重要

- パソコン本体は重量があります。
  パソコン本体を立てるときは、衝撃を与えたり、落下させせないよう充分ご注意ください。

13 パソコン本体に接続されていた機器をすべて取り付けます。

14 パソコン本体および接続されている機器の電源プラグを、コンセントに差し込みます。

続いて、メモリが正しく取り付けられたかメモリ容量を確認しましょう。

メモリ容量を確認する

メモリを取り付けた後、メモリが使える状態になっているかを確認してください。
必ず、背面カバーを取り付けてから確認してください。

1 パソコン本体の電源を入れます（→ P.53）。

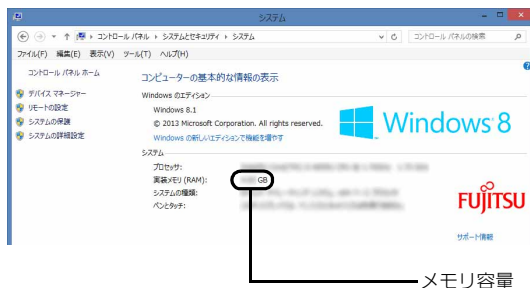
Point

- Windows が正常に起動しない場合
  メモリが正しく取り付けられていないと、パソコンの電源を入れたとき画面に何も表示されない場合があります。
  その場合は、電源ボタンを 4 秒以上押してパソコンの電源を切り、電源プラグを抜いた後、メモリを取り付け直してください。

2 画面左下隅の を右クリックし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
※スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせると が表示されます。

3「システムとセキュリティ」をクリックします。

4「システム」をクリックします。

5 丸で囲んだ部分の数値が、取り付けたメモリの分だけ表示されているかを確認します。

（画面は機種や状況により異なります）

6 × をクリックします。

パワーオフスピーカー

パワーオフスピーカーとは

パソコンが電源オフ／スリープ／休止状態のときに、市販のオーディオプレーヤーをマイク・ラインイン兼用端子に接続して、パソコンを外付けのスピーカーとして利用する機能です。

パワーオフスピーカーをお使いになるうえでの注意

- この機能を「使う」に設定した場合、パソコンの電源が切れている状態でも、オーディオケーブルまたは電源ケーブルを抜き差しするときにノイズが発生する場合があります。
- 音量調節は、接続しているオーディオプレーヤーで行ってください。パソコン側では、音量調節はできません。また、その後にオーディオプレーヤーをお使いになるときは、元の音量に戻してお使いください。
- パソコンで設定したサウンドの設定（左右バランス、音量など）は、反映されません。
- パソコンとオーディオプレーヤーを接続するケーブルは添付されていません。別途ご用意ください。
- AC アダプタをコンセントに接続してご利用ください。

パワーオフスピーカーの設定をする

ご購入時の状態では、この機能は無効になっています。次の手順で設定を有効にしてください。

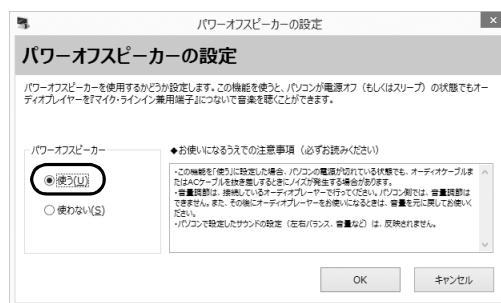
1 スタート画面左下の⬇をクリックします。

⬇が表示されていない場合は、マウスポインターを動かすと表示されます。

『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

2 「FUJITSU - パワーオフスピーカーの設定」の「パワーオフスピーカーの設定」をクリックします。

「パワーオフスピーカーの設定」ウィンドウが表示されます。

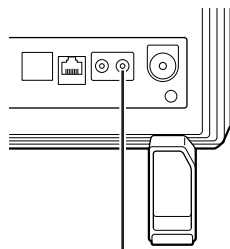
3 「お使いになるうえでの注意事項」をよくお読みになり、「パワーオフスピーカー」の「使う」の◯を◉にし、「OK」をクリックします。

パワーオフスピーカーを使う

パワーオフスピーカーの設定を行った後、次の手順を行います。

1 Windows を終了します（→ P.54）。

パソコンをシャットダウン、スリープ、または休止状態にしても利用できます。

2 オーディオプレーヤーの音量を小さくします。

3 パソコンのマイク・ラインイン兼用端子とオーディオプレーヤーをケーブルで接続します。

マイク・ラインイン兼用端子

4 オーディオプレーヤーを再生します。

必要に応じてオーディオプレーヤーの音量を調節してください。

お手入れ

このパソコンを快適にお使いいただくための、日ごろのお手入れについて説明します。

⚠ 警告

- お手入れをする場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
  この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

- 清掃のときは、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
  故障・火災の原因となります。

パソコン本体、キーボードやマウスのお手入れ

重要

▶ 次のものは使わないでください。
- ・アセトン、シンナー、ベンジンなどの揮発性の強いものや、化学ぞうきん、除光液、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は絶対に使わないでください。
- ・アルコール成分を含んだ市販のクリーナーは使わないでください。

▶ ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボードのお手入れを行うときは、あらかじめ乾電池や充電池を取り出してください。

●パソコン本体内部や通風孔について
- ・ほこりがたまらないように、定期的に清掃してください。
- ・掃除機を使ってほこりを吸い取ってください。
- ・詳しくは「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」（→ P.81）をご覧ください。

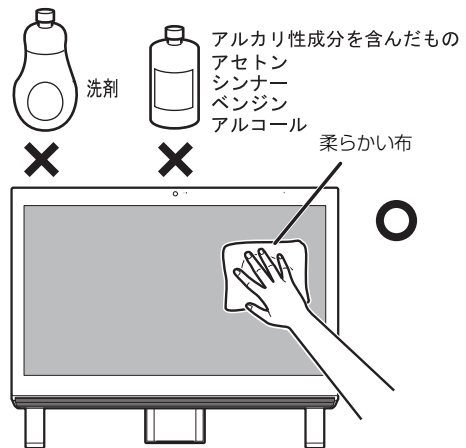
●パソコン本体やマウス、キーボードなどの汚れを取る場合
- ・乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ・汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を固く絞って、拭き取ってください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸した布を固く絞って、中性洗剤を拭き取ってください。また拭き取るときは、パソコン本体やマウス、キーボードに水が入らないよう充分注意してください。

●キーボードのキーとキーの間のほこりなどを取る場合
- ・ゴミを吹き飛ばすのではなく、筆のような先の柔らかいものを使ってゴミを取ってください。ゴミを吹き飛ばすと、キーボード内部にゴミが入り、故障の原因となる場合があります。
- ・掃除機などを使って、キーを強い力で引っ張らないでください。

液晶ディスプレイのお手入れ

重要

▶ 液晶ディスプレイのお手入れを行う場合の注意
市販のクリーナー、除光液、化学ぞうきんを使うと、成分によっては、画面の表面のコーティングを傷めるおそれがあります。次のものは、使わないでください。
- ・アルカリ性成分を含んだもの
- ・界面活性剤を含んだもの
- ・アルコール成分を含んだもの
- ・アセトン、シンナー、ベンジンなどの揮発性の強いもの
- ・研磨材を含んだもの

液晶ディスプレイは、ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。

（イラストは機種や状況により異なります）

CD/DVD ドライブのお手入れ

市販のクリーニングディスクやレンズクリーナーを使うと、逆にゴミを集めてしまい、CD/DVD ドライブのレンズが汚れてしまう場合があります。故障の原因になりますので絶対に使わないでください。
うまく読み取れない場合には、ディスクの指紋、ほこりなどの汚れを拭き取ることで改善されることがあります。
拭き取り方法はディスクの種類により異なります。詳しくはディスクの説明書／レーベルなどをご覧ください。

パソコン本体内部や通風孔のお手入れ

パソコン本体の通風孔や内部にほこりがたまると、故障の原因となります。
ほこりの堆積量は、お客様の環境によって異なります。次の清掃方法に従って、1ヶ月に 1 度程度掃除してください。

■必要なものを用意する

- ●掃除機

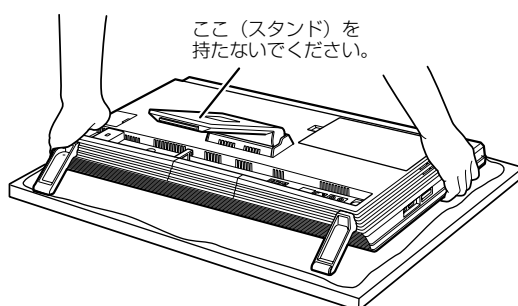
■清掃方法

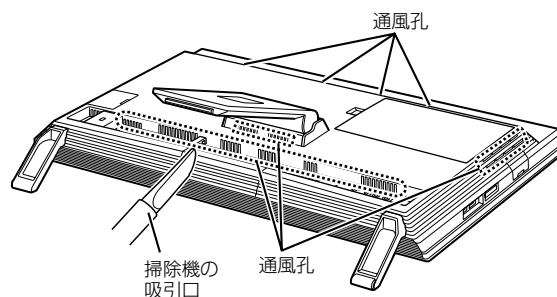
□パソコン本体のお手入れをするうえでの注意

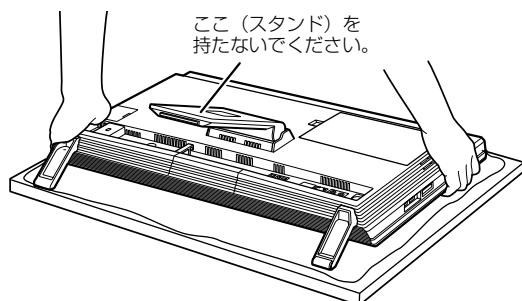
- ●充分に換気してください。
  清掃時には、ほこりなどを口や鼻から吸い込まないように、窓を開けたり、換気扇を回したりするなどして、充分に換気してください。
- ●洗剤は使用しないでください。
- ●エアダスターなどの清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
- ●清掃時に破損した場合、保証期間にかかわらず修理は有償となります。取り扱いについては、充分ご注意ください。
- ●静電気を放電してください。
  パソコン本体内部は、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、掃除機の吸引口や人体にたまった静電気によって破壊される場合があります。
  パソコン本体内部のお手入れをする前に、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れたり、掃除機の吸引口先端を触れさせたりして、静電気を放電してください。
- ●装置内部には高温になる部分があります。
  通風孔のお手入れを行うときは、パソコン本体の電源を切ってしばらくしてから行ってください。やけどの原因になることがあります。

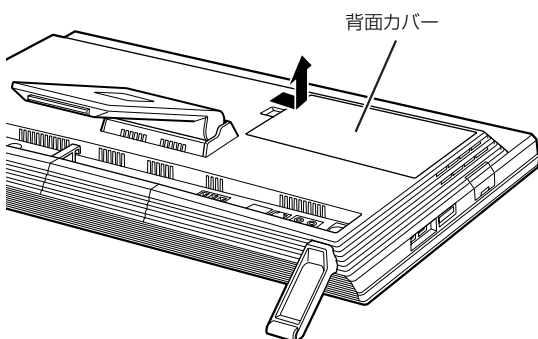
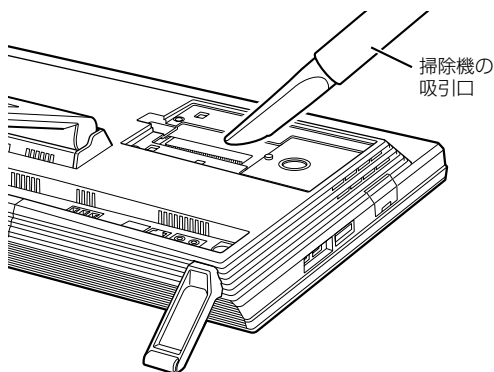
電源を切って作業しますので、この内容を印刷しておくことをお勧めします。

□通風孔の清掃方法

1 パソコン本体の背面が上になるように、パソコン本体を横にします。
作業は厚手の柔らかい布を敷いた平坦な台の上でしてください。特に、液晶ディスプレイに突起物があたらないようにしてください。

（これ以降のイラストは機種や設置状況により異なります）

2 掃除機の吸引口にノズルを取り付け、通風孔のほこりを直接吸い取ります。

□パソコン本体内部の清掃方法

1 パソコン本体の背面が上になるように、パソコン本体を横にします。

（これ以降のイラストは機種や設置状況により異なります）

2 背面カバーを取り外します。

3 掃除機でほこりを直接吸い取ります。

4 背面カバーを取り付けます。

背面カバーの中央付近を押して、しっかりと取り付けてください。

5 パソコン本体の電源を入れ（→ P.53）、Windowsが起動することを確認してください。

■「お手入れナビ」について

このパソコンには、パソコン本体のお手入れ時期を通知するアプリ「お手入れナビ」がインストールされています。「お手入れナビ」は、定期的にパソコン本体のお手入れ時期を通知したり、パソコン本体内部や通風孔などにほこりがたまっている可能性があるときにお手入れ時期を通知したりします。なお、このパソコンご購入時には、定期的な通知が無効になっています。

ここでは、次の内容について説明します。

- 定期的なお手入れ時期の通知を有効にする方法
- 「お手入れナビ」が表示するメッセージと、メッセージが表示されたときの対処方法

ほこりの堆積量は、お使いの環境によって異なります。「パソコン本体内部や通風孔のお手入れ」（→ P.81）をご覧になり、1ヶ月に1度程度掃除してください。

□定期的なお手入れ時期の通知を有効にする

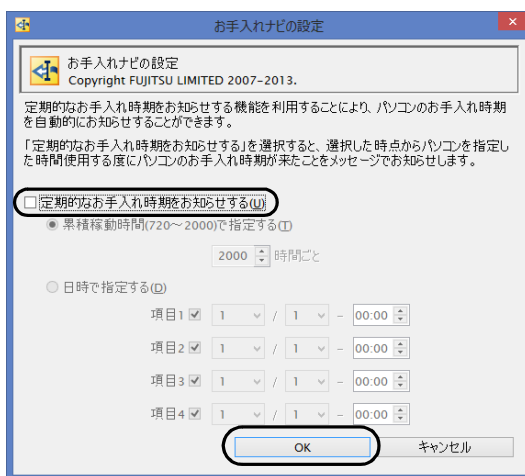
定期的に「お手入れナビ」からお手入れ時期がきたことを通知させる場合は、次の操作をしてください。

1 スタート画面左下の をクリックします。

が表示されていない場合は、マウスポインターを動かすと表示されます。

『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

2 「お手入れナビの設定」をクリックします。

「お手入れナビの設定」ウィンドウが表示されます。

（画面は機種や状況により異なります）

□「お手入れナビ」が表示するメッセージと、その対処

●「お手入れの時期が来ました。」という画面が表示された場合

定期的なお手入れ時期がくると、画面右上に「お手入れの時期が来ました。」という画面が表示されたり、デスクトップ画面右下の通知領域に(DustSolution)が表示されたりします。この場合は、次の手順で操作してください。

1. **作業中のデータを保存し、アプリを終了します。**
2. **デスクトップ画面右下の通知領域に(DustSolution)が表示されている場合は、(DustSolution)をクリックします。**
3. **「大切なお知らせです。こちらをクリックして、詳細をお確かめください。」をクリックします。**

   「大切なお知らせ」ウィンドウが表示されます。
4. **「今すぐお手入れをする」の◯をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。**

   「お手入れの手順」ウィンドウが表示されます。
5. **画面のメッセージをよく読んでから、「今すぐ清掃をする」をクリックします。**

   パソコン本体の電源が切れたら、パソコン本体のお手入れをしてください（→ P.81）。

●警告メッセージが表示された場合

パソコン本体内部や通風孔にほこりがたまっていたり、パソコン本体の通風孔をふさいでいる可能性がある場合や、パソコン本体内部のファンが正しく動作していない場合に、次の警告メッセージが表示されます。

・「パソコン内部の空気の流れがさえぎられ、高温になっています。」

・「パソコンのCPUファンが正しく動作していません。」

・「パソコンの System ファンが正しく動作していません。」

警告メッセージが表示された場合は、作業中のデータを保存し、アプリを終了してから、画面の指示に従って操作してください。

4 便利な機能のご紹介

このパソコンには、次の機能が搭載されています。
これらの機能を使うと、パソコンをもっと便利に活用することができます。

- 「ハンドジェスチャー」（→ P.84）
- 「Sense YOU Technology 機能（人感センサー機能）」（→ P.87）
- 「多機能マウス」（→ P.91）
- 「My Cloud」（→ P.92）
- 「F-LINK（ケータイ連携機能）」（→ P.95）
- 「Skype」（→ P.96）
- 「搭載されているアプリを使う（@メニュー）」（→ P.96）
- 「ステータスパネルスイッチ」（→ P.97）

ハンドジェスチャー

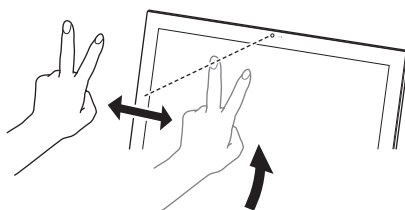
ハンドジェスチャーとは、搭載されている Web カメラに向かって手を動かすことで、パソコンに触れずに操作する機能です。
ご購入時の設定では、ハンドジェスチャーは無効になっています。有効にする場合は、「ハンドジェスチャーを使う」（→ P.86）をご覧ください。

次のアプリを使用中に、ハンドジェスチャーで操作できます。

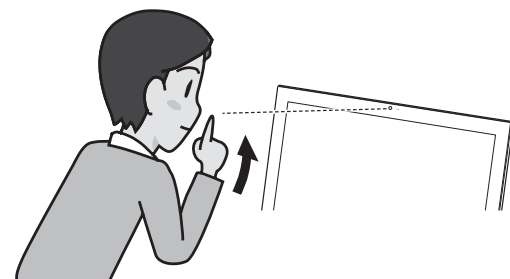
- Windows Media Player 12
- WinDVD
- Windows フォト ビューアー
- PowerPoint
- Adobe Reader
- ビデオ
- フォト
- ミュージック

ハンドジェスチャーでできること

■音量を調節する

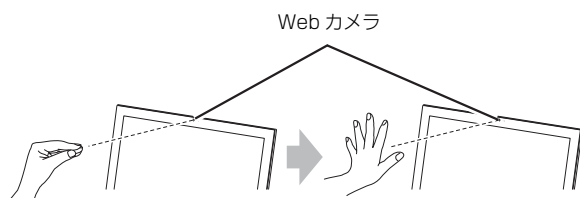
指を 2 本立てた状態で、下から Web カメラに映るように手を上げて左右に動かすと、音量を調節することができます。
右に動かすと音量が大きくなり、左に動かすと音量が小さくなります。

音量調整中は、次のアイコンが表示されます。

■消音（ミュート）にする

指を 1 本立てた状態で、下から Web カメラに映るように口元まで手を上げると、消音（ミュート）になります。消音の状態で同じ動作をすると、消音が解除されます。

■再生／一時停止

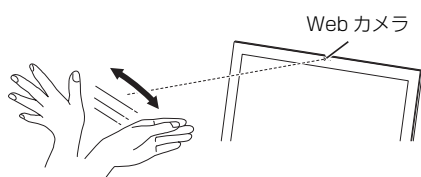
1 ハンドジェスチャーに対応したアプリを使用中に、手を開いた状態で、下から Web カメラに映るように手をあげます。

画面中央に次のアイコンが表示されます。

2 手を掴むような形(グラブ)にしてから､開きます｡

■前／次

1 ハンドジェスチャーに対応したアプリを使用中に、手を開いた状態で、下から Web カメラに映るように手をあげます。

画面中央に次のアイコンが表示されます。

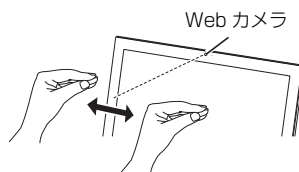
2 左右に素早く手を振ると（スワイプ）、前／次の動画、画像、または音楽などに移動します。

Point

- スワイプは連続して行えますが、一定時間スワイプしないとスワイプできなくなります

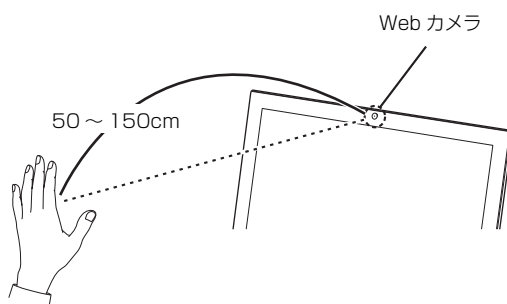
■早送り／巻き戻し

1 ハンドジェスチャーに対応したアプリを使用中に、手を開いた状態で、下から Web カメラに映るように手をあげます。

画面中央に次のアイコンが表示されます。

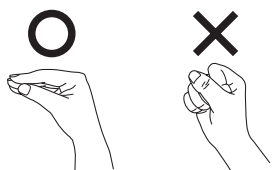
2 手を掴むような形（グラブ）にしたまま、左右に移動します。

ハンドジェスチャーをお使いになるうえでの注意

- ハンドジェスチャーを有効にしていると、パソコンが一定時間後に自動的にスリープや休止状態になる機能はご使用になれません。自動的にスリープや休止状態にするには、ハンドジェスチャーを無効にしてください。
- ハンドジェスチャーが有効な状態でハンドジェスチャー対応アプリを使用している場合､「カメラ」や「Skype」などの Web カメラを使用するアプリは使用できません。

  これらのアプリを使用する場合は、ハンドジェスチャーを無効にするかハンドジェスチャーを終了してください。
- パソコンのWebカメラと手の距離は50～150cmとなるようにしてください。

（イラストは機種や状況により異なります）

- 手がうまく認識されない場合は、次の手順でチュートリアルウィンドウを表示し、手をかざす位置を調整してください。
  1. デスクトップ画面右下の通知領域にある をクリックし、表示された を右クリックします。
  2. 「チュートリアル」をクリックします。
- パソコンの設置場所や液晶ディスプレイの向きによっては、手がうまく認識されないことがあります。デスクトップ画面右下のチュートリアルウィンドウに手全体が表示されるように、パソコンの位置や向きを調節してください。

●手を開いた操作をする場合、指と指の間を開きすぎないように、手をかざしてください。

●再生／一時停止、早送り／巻戻しなどの操作をするときは、次の図のように何かを手で掴むような形（グラブ）にしてから手を開いてください。このとき手を握らないよう注意してください。

●ハンドジェスチャーに使用する手は、右手でも左手でもかまいません。

●機種や状況によってはコマ落ちなどが発生する場合があります。

●お使いの環境（部屋の明るさ、着衣、背景、光源など）によっては、手を正しく認識できない場合があります。

●お使いの蛍光灯によっては、画面がちらつき、手をうまく認識できない場合があります。その場合は、次の手順でWebカメラの設定を変更してください。

1. デスクトップ画面右下の通知領域にあるをクリックし、表示されたを右クリックします。
2. 「詳細設定」▶「カメラの設定」の順にクリックします。
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
3. お住まいの地域の商用電源周波数に合わせて「ちらつき防止」の設定を変更します。東日本にお住まいの場合は「50Hz」を、西日本にお住まいの場合は「60Hz」を選択します。
4. 「OK」をクリックします。

ハンドジェスチャーを使う

ハンドジェスチャーをお使いになる場合、「PointGrab ハンドジェスチャーコントロール」が起動している必要があります。
次の手順で、「PointGrab ハンドジェスチャーコントロール」を起動してください。

1 **スタート画面で「カメラセンサー機能ON/OFFツール」をクリックします。**

2 **「ハンドジェスチャー」の「ON」をクリックし、「閉じる」をクリックします。**
デスクトップ画面右下の通知領域にが表示されます。
ハンドジェスチャーに対応したアプリを起動し、ジェスチャーが使用できる状態になると、がに変わります。

Point

- は動作中、は待機中、は省電力モードを示しています。
- ハンドジェスチャーを無効にする場合は、デスクトップ画面右下の通知領域にあるを右クリックし、「終了する」をクリックしてください。
- ハンドジェスチャーの基本的な操作を、チュートリアルで確認することができます。
  1. デスクトップ画面右下の通知領域にあるをクリックし、表示されたを右クリックします。
  2. 「チュートリアル」をクリックします。

ハンドジェスチャーの設定

■その他の設定を変更する

1 **デスクトップ画面右下の通知領域にあるをクリックし、表示されたを右クリックします。**

2 **設定したい項目をクリックします。**

・音を鳴らさない
ハンドジェスチャーの効果音を消します。
・詳細設定
次の項目を設定できます。
・カメラの設定
・全ての設定を規定値に戻す
・音量の変更速度

・チュートリアル
ハンドジェスチャーのチュートリアルを表示します。
・終了する
「PointGrabハンドジェスチャーコントロール」を終了します。

ハンドジェスチャーで困ったら

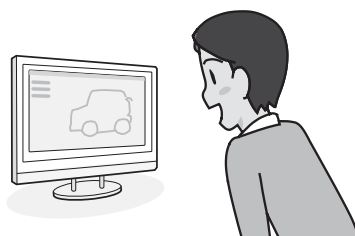
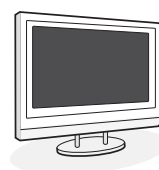
次の表をご覧になり、発生したトラブルの解決方法がないかご確認ください。

症状	考えられる原因	対処方法
手を振っても、反応しない	手が Web カメラに写っていない	チュートリアルで、手がWebカメラに写るように練習してください。
	部屋が暗い	部屋を明るくしてください。
	Web カメラに逆光があたっている	Web カメラに逆光があたらないようにしてください。
	Web カメラに手が近づきすぎている	パソコンのWebカメラと手の距離は 50 ～ 150cm となるようにしてください。

Sense YOU Technology 機能(人感センサー機能)

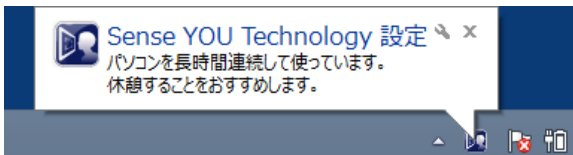
Sense YOU Technology［センス ユー テクノロジー］とは、搭載されている Web カメラを利用して人の顔や動きを検出する富士通独自の技術です。
ご購入時の設定では、これらの機能は無効になっています。有効にする場合は、「Sense YOU Technology の初期設定」（→ P.89）をご覧ください。

Sense YOU Technology でできること

■画面オフ機能
パソコンの前に人がいるかどうかを検出し、画面をオンまたはオフに切り替えます。

■休憩おすすめタイマー
パソコンの前に 1 時間以上連続して人がいることを検出し、休憩をおすすめするメッセージを表示します。

（スタート画面の場合）

Sense YOU Technology 設定
パソコンを長時間連続して使っています。
休憩することをおすすめします。

（デスクトップ画面の場合）

■おまかせポーズ機能

パソコンの前に人がいるかどうかを検出し、動画や音楽を自動的に一時停止したり再生を再開したりすることができます。この機能は次のアプリに対応しています。

●Windows Media Player

●WinDVD

Point

- 対応しているアプリが複数同時に起動している場合、おまかせポーズ機能はお使いになれません。
- 常に手前に表示するように設定したウィンドウが表示されている場合や、デスクトップ画面右下の通知領域にポップアップが表示されている場合、おまかせポーズ機能が正しく働かない場合があります。
- Windows Media Player を全画面モードで起動中に、おまかせポーズ機能が働くと、一時的にウィンドウモードになります。
- 「おやすみディスプレイ」機能を有効にしていると、おまかせポーズ機能で一時停止している間は、画面の表示や音声が消えます。
  「おやすみディスプレイ」機能については、「使いこなすために」－「画面の表示や音声を消す」（→ P.125）をご覧ください。

Sense YOU Technology をお使いになるうえでの注意

●Sense YOU Technologyの機能を有効にしていると、パソコンが一定時間後に自動的にスリープや休止状態になる機能はご使用になれません。
自動的にスリープや休止状態にするには Sense YOU Technology の機能を無効にしてください。

●Sense YOU Technology を有効にしていると、「カメラ」や「Skype」などの Web カメラを使用するアプリを使用することはできません。
これらのアプリを使用する場合は、Sense YOU Technology を無効にするか Sense YOU Technology を終了してください。

●次の場合、人を検出できないことがあります。
・Web カメラから 1m 以上離れている場合
・サングラス、マスク、眼帯などを着用している場合
・顔を横または上下に向けていたり、首をかしげたりしている場合
・Web カメラに対して逆光の場合や部屋が暗い場合
上記に該当しない場合でも、ご使用の環境によっては、Sense YOU Technology が正しく動作しない場合があります。

●次のものを Web カメラが撮影すると、パソコンの前に人がいると誤検出することがあります。
・人の顔が掲載されたポスターや雑誌
・テレビや鏡に映る人

●2 人以上パソコンの前にいる状態で Sense YOU Technology を有効にした場合、1 人がパソコンの前から離れると、Sense YOU Technology が正しく動作しないことがあります。

●パソコンの設置場所や液晶ディスプレイの向きによっては、顔がうまく検出されないことがあります。
「Sense YOU Technology 設定」ウィンドウ右にあるプレビューエリア（→ P.89）で、顔の位置に緑色の枠が表示されるように、パソコンの位置や向きを調節してください。

●休憩おすすめタイマーは、1 時間以上パソコンの前に人がいることを検知し続けると休憩をおすすめする機能です。ただし、途中で 15 分以上パソコンの前に人がいることを検出しなかった場合は、休憩していると判断して連続使用時間の計測をリセットします。
また、次のような場合にも連続使用時間の計測をリセットします。
・休憩おすすめタイマーを無効から有効に変更したとき
・「Sense YOU Technology 設定」を終了したとき
・省電力状態から復帰したとき
・「Sense YOU Technology 設定」の機能が一時的に無効になったとき

●Web カメラの映像が上下逆さまになっていたり、白黒の映像になっていたりすると、人を検出できません。
「Sense YOU Technology 設定」ウィンドウの「カメラの詳細設定」から表示されるプロパティウィンドウを表示して、「既定」や「初期設定」と書かれたボタンを押してご購入時の状態にしてください。

●画面オフ機能とおまかせポーズ機能を同時にお使いになることはできません。

●画面オフ機能やおまかせポーズ機能を有効にしていても、「おやすみディスプレイ」機能で画面の表示が消えている場合は、人を検出しても画面は元の状態に戻りません。

●次のアプリを起動している間は、Sense YOU Technology は無効になります。
- ・Windows Media Player［注］
- ・WinDVD［注］
- ・Corel DirectDiscRecorder

注：おまかせポーズ機能はお使いになれます。

Sense YOU Technology の初期設定

Sense YOU Technology を初めてお使いになるときは、初期設定が必要です。次の手順で設定を行ってからお使いください。

1 **スタート画面左下の をクリックします。**

が表示されていない場合は、マウスポインターを動かすと表示されます。

『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

2 **表示された画面から、「Sense YOU Technology 設定」をクリックします。**

「Sense YOU Technology 設定」ウィンドウが表示されます。

初めて使用する場合は、「ようこそ」画面が表示されます。

3 **お使いになる機能の設定を行います。**

■画面オフ機能、休憩おすすめタイマーを使う場合

（以降の画面は機種や状況により異なります）

①「人感センサー」タブをクリックします。

② お使いになる機能の「オン」をクリックします。

「画面オフ」をお使いになる場合は、必要に応じて次の項目を設定します。

・画面消灯までの時間
Webカメラに人の顔が検知されなくなってから画面を消すまでの時間を設定します。

・10 秒前からカウントダウンを表示する
☑にすると、画面がオフになる 10 秒前からカウントダウンするウィンドウが表示されます。

・再点灯時にロック画面を表示する
☑にすると、画面オフ状態から復帰するときにサインイン画面を表示します。

■おまかせポーズ機能を使う場合

① 「おまかせポーズ」タブをクリックします。

② 「動画や音楽の一時停止」の「オン」をクリックします。

Point

- おまかせポーズ機能をお使いになる場合は、おまかせポーズ機能に対応したアプリ（「Windows Media Player」など）を起動して、「Sense YOU Technology 設定」ウィンドウ右にあるプレビューエリアに黄色い枠が表示されたことを確認します。

4 「適用」をクリックします。

5 「お使いになるうえでのご注意」が表示された場合は、内容を確認し、「OK」をクリックします。

6 ウィンドウ右にあるプレビューエリアで、顔の位置に緑色の枠が表示されているか確認します。

7 「OK」をクリックします。

Sense YOU Technology を使う

1 スタート画面で「カメラセンサー機能ON/OFFツール」をクリックします。

2 「人感センサー」の「ON」をクリックし、「閉じる」をクリックします。

デスクトップ画面右下の通知領域にある をクリックし、 (Sense YOU Technology設定) が表示されていることを確認します。

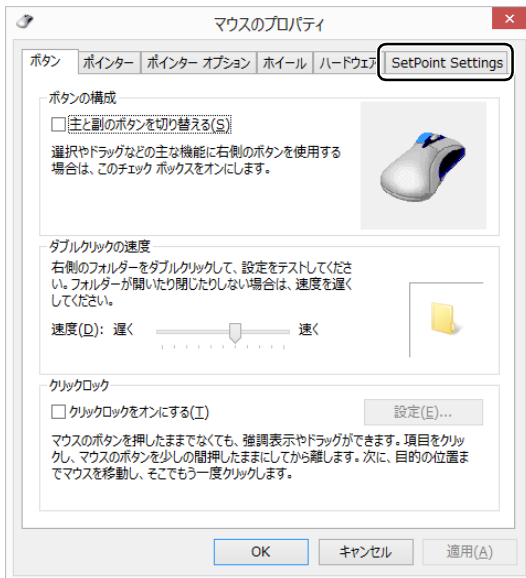
- 画面をオフにするカウントダウンが頻繁に表示されるときは、液晶ディスプレイを顔の方に向けて初期設定のときと同じような状態にし、「Sense YOU Technology 設定」ウィンドウの右にあるプレビューエリアで、顔の位置に緑色の枠が表示されていることを確認してください。
- 環境によっては顔がうまく検出されない場合があります。その場合は、次の手順で Web カメラの設定を変更すると改善する場合があります。
  1. スタート画面左下の をクリックします。
     が表示されていない場合は、マウスポインターを動かすと表示されます。
     『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』
  2. 表示された画面から、「Sense YOU Technology設定」をクリックします。
     「Sense YOU Technology 設定」ウィンドウが表示されます。
  3. 「カメラの詳細設定」をクリックします。
     ※ Sense YOU Technology の機能をすべて無効にしていると「カメラの詳細設定」はクリックできません。
  4. 表示されるプロパティウィンドウの「色合い」を微調整し、「Sense YOU Technology 設定」ウィンドウ右にあるプレビューエリアに緑色の枠が表示されるようにします。
  5. 「OK」▶「OK」の順にクリックします。
- 「カメラセンサー機能 ON/OFF ツール」を使って Sense YOU Technology を有効にすると、次のような場合に自動で Sense YOU Technology が起動するようになります。
  - ・パソコンを再起動したとき
  - ・パソコンの電源を切り、再度電源を入れたとき
  - ・サインアウトやアカウントの切り替えを行ったとき
- 「Sense YOU Technology 設定」ウィンドウですべての機能を無効の状態にしていると、「カメラセンサー機能ON/OFFツール」を使ってSense YOU Technology を有効にしても、機能が有効になるのは画面オフ機能のみになります。
  他の機能を有効にする場合は、「Sense YOU Technology 設定」ウィンドウで設定を行ってください。

多機能マウス

多機能マウスをお使いの場合、マウスのスクロールホイールを左右に倒す操作に対して、「スタート画面を表示する」、「アプリケーションメニューを表示する」などの操作を設定することができます。

マウス設定ユーティリティを設定する

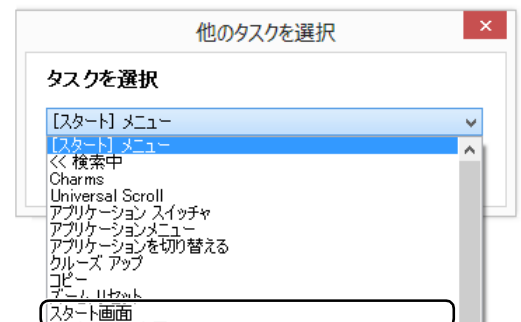
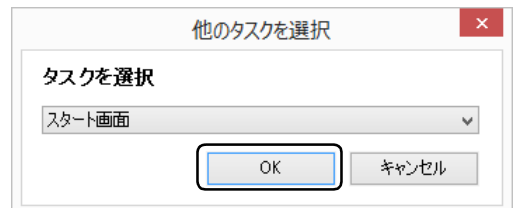
ここでは、スクロールホイールを左側に倒したときの操作を「スタート画面を表示する」、右側に倒したときの操作を「アプリケーションメニューを表示する」に設定する場合を例として説明します。

1. 画面左下隅のを右クリックし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
   スタート画面ではマウスポインターを画面左下隅に合わせるとが表示されます。
2. 「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」の順にクリックします。
   マウスのプロパティが表示されます。
3. 「SetPoint Settings」タブをクリックします。

「SetPoint の設定」ウィンドウが表示されます。

※「マウスのプロパティ」ウィンドウは閉じます。

4. まず、スクロールホイールを左側に倒したときの操作を設定します。「ボタンを選択」の「4 nnn」をクリックし、「タスクを選択」の「その他」をクリックします。
   「nnn」には現在の設定が表示されます。

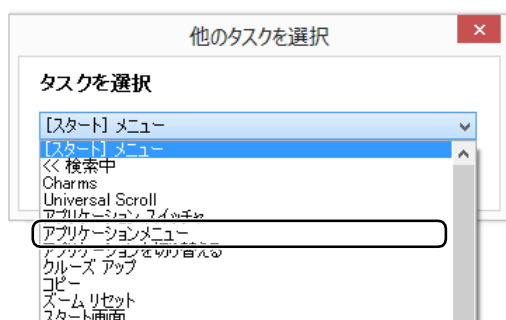
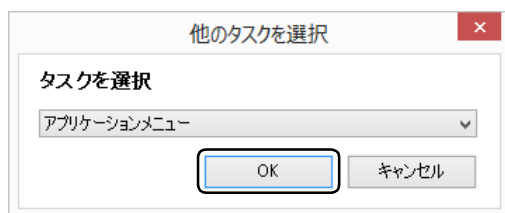
「他のタスクを選択」ウィンドウが表示されます。

5. 「タスクを選択」から「スタート画面」を選択します。

6. 「OK」をクリックします。

「他のタスクを選択」ウィンドウが閉じます。

7 次に、スクロールホイールを右側に倒したときの操作を設定します。「ボタンを選択」の「5 nnn」をクリックし、「タスクを選択」の「その他」をクリックします。

「nnn」には現在の設定が表示されます。

「他のタスクを選択」ウィンドウが表示されます。

8 「タスクを選択」から「アプリケーションメニュー」を選択します。

9 「OK」をクリックします。

「他のタスクを選択」ウィンドウが閉じます。

10 「OK」をクリックします。

「SetPoint の設定」ウィンドウが閉じます。

11 「コントロールパネル」を閉じます。

My Cloud

My Cloud［マイクラウド］は、パソコンを使って日常の生活をもっと楽しく便利にする、富士通の新しい機能とサービスのご提案です。

スタート画面の「My Cloud」（My Cloud ホーム 2.0）のタイルをクリックすると、My Cloud の活用方法などをご紹介するチュートリアルが始まります。

My Cloudで使える機能には次のようなものがあります。各機能は、スタート画面左下の⬇をクリックして表示されるアプリ画面から起動することができます。

MyCloud でできること

■My Cloud プレイ

パソコンに取り込んだ写真、ビデオ、音楽、ドキュメントなどのデータを一元管理することができます。

写真やビデオを選んでアルバムを作ったり、富士通が運営するクラウドサービス「My Cloud ライブラリー」に写真をアップロードしたりすることができます。

また、ご家庭のパソコンやレコーダーに保存した動画やテレビ番組をまとめて管理したり、ネットワーク経由で再生したり、外出先からご家庭のパソコンのデータを閲覧したりすることができます。

■My Cloud エコ DX

スマートフォンやタブレット端末を使って、外出先から ECHONET Lite 対応家電製品の運転をオン／オフしたり、使用電力を確認したりすることができます。

※ ご利用いただくには最新版へのアップデートが必要です。

さらに詳しい説明をご覧になるには…

「My Cloud アプリ」のページ
（http://azby.fmworld.net/support/mycloudapps/）
をご覧ください。

『ソフ得』ソフト使い放題

「『ソフ得』ソフト使い放題」は、100 種類以上、総額43万円相当のアプリが使い放題になるサービスです。

※ ご利用にあたっては、月額 540 円（税込）の料金がかかります。

■「使い放題ツール」をインストールする

「『ソフ得』ソフト使い放題」をご利用になるには、「使い放題ツール」が必要となります。「使い放題ツール」では、アプリのインストールや、インストールしたアプリを管理できます。

※「使い放題ツール」は無料でご利用いただけます。

1. デスクトップ画面の「ソフト使い放題セットアップ」アイコンをクリックします。
2. インストーラーが起動するので、手順に従ってインストールします。
   インストールが終了すると、デスクトップ画面に「ソフト使い放題」アイコンが表示されます。

■「『ソフ得』ソフト使い放題」に申し込む

※「『ソフ得』ソフト使い放題」のお申し込みには、インターネットへの接続が必要です。

Point

- 「『ソフ得』ソフト使い放題」のお申し込み手続きには、次のものが必要になります。
  - ・My Cloud アカウント（お申し込み手続きの手順 3 でも取得できます。）
  - ・クレジットカード（ご利用料金のお支払いは、クレジットカードのみとなります。）

1. デスクトップ画面の「ソフト使い放題」アイコンをクリックします。
2. 「使い放題ツール」の画面右上にある「お申し込み WEB サイトはこちら」をクリックします。

3. 「お申し込み手続き開始」画面で、手順に従って手続きをします。

重要

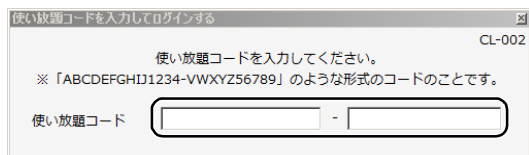
- 「申し込み完了」画面に、本サービスをご利用いただくために必要な「使い放題コード」が表示されます。このコードは、アプリのインストールや、お問い合わせの際に必要になりますので大切に保管してください。
  ※ 申し込み完了後に送信されるメールでも確認できます。

Point

- 手続き開始の際に、My Cloud アカウントの入力画面が表示されます。My Cloud アカウントをお持ちでない場合は、取得してください。
- My Cloud アカウントを取得済みでも、追加で情報の入力が必要な場合があります。ご了承ください。

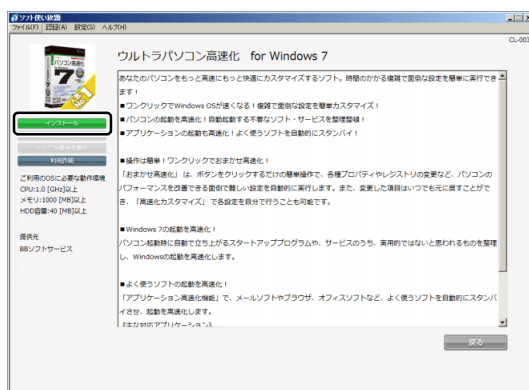
4. 「使い放題ツール」のメニューから、「認証」▶「使い放題コードを入力してログインする」をクリックします。

5 「使い放題コードを入力してログインする」ウィンドウが表示されるので、「使い放題コード」を入力します。

各アプリをインストールできるようになります。

■「使い放題ツール」からアプリをインストールする

※「使い放題ツール」からアプリをインストールするには、インターネットへの接続が必要です。

1 「使い放題ツール」の「アプリ」タブで、使いたいアプリをクリックします。

2 詳細画面で動作環境を確認してから、「インストール」をクリックします。

3 各アプリのインストール手順に従ってインストールします。

「使い放題ツール」の「起動」をクリックすると、インストールしたアプリが起動します。

- インターネットへ接続せずアプリを起動した場合、7 日以内にインターネットへ接続した状態で「使い放題コード」を入力しないとアプリが起動できなくなります。

■「『ソフ得』ソフト使い放題」を解約する

解約の申し込み翌月 1 日から、サービスを停止します。

重要

- サービスを停止すると、インストールしたアプリは使えなくなります。

1 「サービス利用状況」(https://azby.fmworld.net/history/)の「月額サービス利用状況」をクリックします。

利用中のサービス一覧が表示されます。

2 「解約」をクリックし、ページの案内に従って解約申し込みをします。

詳しい使い方については…

「『ソフ得』ソフト使い放題」のページ(http://azby.fmworld.net/shopping/dl_soft/detail/unlimited/)をご覧ください。

F-LINK（ケータイ連携機能）

F-LINK は、ネットワークを使ってパソコンやスマートフォン／タブレット端末／携帯電話間でデータのやり取りができる富士通独自の技術です。ケーブルを接続したり、媒体を用意したりする必要がなく、ワイヤレスで手軽にデータの転送ができます。

※ この機能で「ケータイ」と表記する場合、スマートフォン／タブレット端末を含みます。

F-LINK を使うと、次のようなことができます。

- ●携帯機器内の写真、動画などのデータや、歩数・活動量を自分のパソコンに自動で取り込みます。
- ●無線 LAN 搭載 SDHC メモリーカードから、写真、動画などのデータがワイヤレスで取り込めます。
- ●F-LINK対応機器どうしで個別にデータのやり取りをします。

詳しい使い方については…

「サポートページ」（http://azby.fmworld.net/support/）から Q&A ナンバー「6009-8007」を検索してご覧ください。

F-LINK をお使いになるうえでの注意

■携帯機器の対応機種について

F-LINK に対応した携帯機器については、ホームページ（http://azby.fmworld.net/support/soft/flink/）をご覧ください。

■注意事項

- ●このパソコンにあらかじめインストールされているもの以外のセキュリティ対策アプリをインストールしている場合、次のプログラムからネットワークの接続の要求があったときは、接続を許可するように設定してください。
  ・F-LINK.exe
- ●送受信したデータを利用するには、送信側／受信側ともにデータを利用できる環境が必要です（例：受信側に送信側と同様のアプリが搭載されていない場合、データは閲覧できません）。
  なお、携帯機器によっては扱えるファイル形式やファイルサイズが異なります。携帯機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- ●受信側の空き容量が少ないと全部のファイルが取り込めないことや、送信側からファイルを送れない場合があります。表示されたメッセージに従ってください。
- ●ルーターで機器間の通信を遮断する設定が行われていた場合、ルーター経由で F-LINK の機能が動作しません。ルーターを経由する場合は、機器間の通信を許可する設定をしてください。設定の方法は、ルーターのマニュアルをご覧ください。

Skype

Skype［スカイプ］ではさまざまな方法で世界中のお友達、ご家族、同僚と連絡を取り合うことができます。Skype を起動する場合は、スタート画面で「Skype」をクリックします。

Skype でできること

■ユーザーどうしの通話

Skype のユーザーどうしなら無料で通話ができます。海外の友人と無料で通話したり、複数人で同時に通話したりできます。

■ビデオ通話

お互いの顔を見ながら通話するなど、1 対 1 のビデオ通話を無料で楽しむことができます。
なお、Web カメラを使用している間は、パソコンが一定時間後に自動的にスリープや休止状態になる機能はご使用になれません。

■インスタントメッセージやファイル送信

リアルタイムにメッセージを送受信することで、複数人と文字で会話をすることができます。また、通話中やメッセージの送受信中に必要となったファイルを転送することができます。

詳しい使い方については…

「サポートページ」（http://azby.fmworld.net/support/）から Q&A ナンバー「2009-7938」を検索してご覧ください。

搭載されているアプリを使う（@メニュー）

このパソコンには、搭載されているデスクトップアプリを簡単に探すための、「@メニュー」が搭載されています。
やりたいことがあるけれど、どのアプリを使えば良いかわからないときは、「@メニュー」で探すことができます。

「@メニュー」の使い方

1 スタート画面で「@メニュー」をクリックします。

2 次の画面の操作をします。

（画面は機種や状況により異なります）

① カテゴリを選択します。
② ジャンルを選択します。
③ やりたいことを選択します。
「名前でさがす」をクリックすると、アプリの名称から探すことができます。
④「実行する」をクリックして、アプリを起動します。

Point

- アプリを起動する方法は他にもあります。
詳しくは、『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』をご覧ください。
- このパソコンに搭載されているアプリの一覧は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/fmv/）に掲載されています。

詳しい使い方については…

「サポートページ」（http://azby.fmworld.net/support/）から Q&A ナンバー「8107-4567」を検索してご覧ください。

ステータスパネルスイッチ

ステータスパネルスイッチは、画面上のボタンを操作してモードを切り替えるだけで、画面の明るさやCPUのパフォーマンスなどを一括で変更し、パソコンを使用する状況に適したモードに変更することができる機能です。

ステータスパネルスイッチをお使いになるうえでの注意

- 複数のユーザーアカウントでパソコンを使用していても、各モードでの設定は、パソコン 1 台に対して 1 つの設定です。例えば、省電力モード中に他のユーザーアカウントでサインインし直しても、省電力の状態は変化しません。
- 各デバイスの状態を「ON」から「OFF」に切り替える場合、切り替え前にそのデバイスの利用を中止し、接続または挿入されているデバイスをすべて取り外してから切り替えてください。デバイスを使用中に切り替えると、デバイスを停止できない場合があります。
  また、各デバイスの状態を「OFF」から「ON」に切り替える場合は、切り替え後に各デバイスをパソコンに接続または挿入してください。
- Windows へサインインした直後は、各デバイスの状態を切り替えると、切り替えに失敗する場合があります。
  各デバイスの状態の切り替えは、Windows へサインインした後、しばらくしてから実行してください。
- ブルーライトカットモードは、画面の色合いを調整してブルーライトを約 30% カットします。
  画面の設定をお好みに調整した後、ブルーライトカットモードの「ON」／「OFF」を切り替えると、出荷時の色設定に戻ります。
  ブルーライトカットモードを「OFF」にした状態で、再度、画面の設定をお好みに調整してください。
- WinDVD による Blu-ray Disc の再生画面では、ブルーライトカットモードは有効になりません。

ステータスパネルスイッチの使い方

1 デスクトップ画面のタスクバーにある をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

「ステータスパネルスイッチ」ウィンドウが表示されます。

2 「モード切り替え」から、使用したいモードのボタンをクリックします。

選択したモードに切り替わります。

・省電力モード
画面の明るさや CPU のパフォーマンスを下げることで、パソコンの消費電力を抑えることができるモードです。

Point

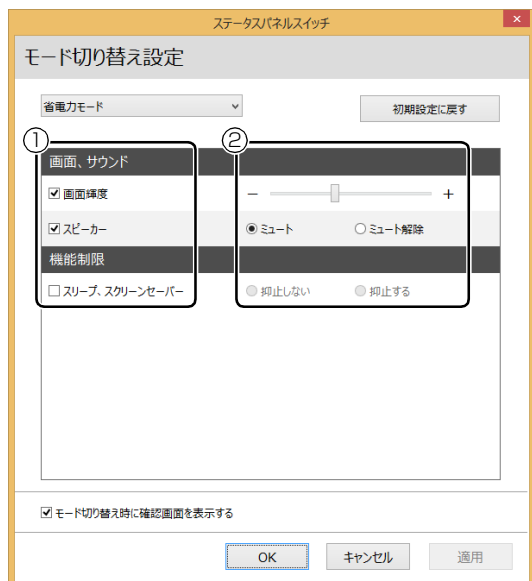
- 「各デバイスの状態の切り替え」で、それぞれの機能のボタンをクリックすると、個別に状態を変更することができます。
  また、「表示項目変更」をクリックすると、「各デバイスの状態の切り替え」に表示する項目を変更することができます。
- 画面の明るさを、省電力モードで設定された画面の明るさよりも暗くしている場合は、省電力モードにしても画面が暗くならない場合があります。

- ECO（エコ）ボタンを押して、省電力モードの「ON」／「OFF」を切り替えることもできます。ECO（エコ）ボタンの場所については、「各部の名称と働き」（→ P.44）をご覧ください。
- ディスプレイの電源で「おやすみディスプレイ」機能を有効にすることができます。

各モードの設定を変更する

各モードで制御するデバイスを選択したり、各デバイスの状態を個別に変更したりすることができます。

1 「ステータスパネルスイッチ」ウィンドウで、「モード切り替え設定」をクリックします。

2 設定を変更します。

① 制御するデバイスを選択します。
② デバイスの状態や値を設定します。

3 「適用」をクリックします。

4 「OK」をクリックします。

5 バックアップ

バックアップナビ

Windows が起動しなくなった場合や、データを誤って紛失してしまった場合に備え、大切なデータのコピーを保存しておくことを「バックアップ」といいます。バックアップは大変重要ですので、忘れずに行うようにしてください。
このパソコンは「バックアップナビ」というバックアップツールを搭載しています。

バックアップナビの機能

2種類のバックアップ方法を組み合わせて効率的にバックアップをとりましょう。

■日々作成するデータをバックアップ
デジタルカメラで撮った写真や、作成した文書などは定期的にバックアップしましょう。
「バックアップナビ」では、マイドキュメントやマイピクチャなどのそれぞれのユーザーが持っているフォルダーのデータを「マイデータ」と呼んでいます。
「バックアップナビ」では「マイデータ」をまとめて簡単にバックアップできます。
詳しくは「マイデータ」(→ P.100)をご覧ください。

自動バックアップ

「マイデータ」を定期的にバックアップするよう設定できます。「毎日」または「週に 1 回」など設定しておくと、忘れずにバックアップできて便利です。
「バックアップする」タブにある「マイデータの自動バックアップ」の「設定」ボタンをクリックすると設定を変更できます。
「バックアップナビ」の起動方法は「「パソコンの状態」をバックアップする」(→ P.102)をご覧ください。

●ご利用になるうえでの注意

・ネットワークテレビチューナー対応機種、テレビチューナー搭載機種およびワイヤレスTV対応機種の場合、テレビ番組の視聴、録画中はバックアップしないでください。

このほかにも、いくつか注意していただきたい点があります。「自動バックアップの設定」のステップ 2 の画面に表示される「注意事項」の内容をよく読んでから設定してください。

■C ドライブをまるごとバックアップ
トラブルに備えて、パソコンが快適に使用できている状態をまるごとバックアップしましょう。
「バックアップナビ」では C ドライブをまるごとバックアップできます。パソコンのセットアップが完了した後、およびインターネットやメールなどパソコンの設定を変更した後にバックアップすることをお勧めします。
詳しくは「パソコンの状態」(→ P.101)をご覧ください。

バックアップナビをお使いになるうえでの注意事項

■すべてのデータのバックアップ/復元を保証するものではありません
すべてのデータの保存/復元を保証するものではありません。また著作権保護された映像(デジタル放送の録画番組など)や音楽などは保存/復元できない場合があります。

■管理者アカウントでWindowsにサインインしていることを確認してください
セットアップ時に作成したアカウントは管理者アカウントです。
標準アカウントでサインインしている場合は、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウで管理者アカウントのパスワードを入力してバックアップしてください。

■「バックアップナビ」以外のアプリはすべて終了させてください

■D ドライブにバックアップしたデータは DVD などのディスク(マイデータのみ)や外付けハードディスクなどにコピーしてください
パソコンが故障したときは、D ドライブにバックアップしたデータも含め、ハードディスクのすべてのデータが使えなくなる可能性があります。
(LIFEBOOK の約 128GB SSD 搭載機種は、D ドライブに「パソコンの状態」をバックアップすることができません。)

■「トラブル解決ナビ」以外で領域を変更した場合は、「バックアップナビ」はお使いになれません
市販のアプリなどでハードディスクの領域設定を行った場合は「バックアップナビ」はお使いになれません。

「バックアップナビ」を使える状態にするには、「リカバリ領域を復元する」（→ P.152）をご覧になり、「ハードディスク全体をリカバリ」を実行してください。

■他のパソコンには復元できません

バックアップしたデータを復元できるのは、このパソコンの C ドライブのみです。

■スリープや休止状態にしないでください

バックアップ／復元や、バックアップデータをディスクにコピー中にスリープや休止状態などの省電力状態にすると、データが正常に書き込まれなくなります。パソコンを省電力状態にする操作はしないでください。

マイデータ

バックアップ／復元できる項目

- ユーザーのデータ
  ライブラリなどに登録されているフォルダーのデータがバックアップされます。
- 自分で指定したフォルダー

「マイデータ」の注意事項

■次のデータは、バックアップできません

- 著作権保護された音楽データ、映像データ
  デジタル放送の録画番組、インターネット上の音楽配信サイトからダウンロードしたファイルなど、著作権保護された映像データや音楽データなどはバックアップ／復元できない場合があります。
  著作権保護された音楽データ、映像データのバックアップ／復元については、お使いのアプリのマニュアルやヘルプをご覧ください。
- テレビ番組を録画したデータ
  容量が大きいため、ハードディスクの空き容量が少なくなってしまったときは、個別にDVDなどのディスクにバックアップすることをお勧めします。

「マイデータ」のバックアップ／コピー／復元方法

バックアップ／コピー／復元方法については、サポートページから次の Q&A ナンバーを検索してご覧ください。

- マイデータをバックアップする方法「3309-7979」
- マイデータをコピーする方法「4309-7982」
- マイデータを復元する方法「0609-7981」

パソコンの状態

ハードディスクのCドライブをまるごとバックアップします。パソコンにトラブルが発生した場合、C ドライブをまるごとバックアップしたときの状態に戻すことができます。

電源を切って作業しますので、この内容を印刷しておくことをお勧めします。

「パソコンの状態」の注意事項

■パソコンに不具合が起こっているときは、「パソコンの状態」をバックアップしないでください

「パソコンの状態」をバックアップすると、パソコンの C ドライブをそのままの状態で保存するため、不具合も保存されてしまい、復元時に不具合も復元してしまいます。

■保存先の容量を確認してください

「パソコンの状態」のバックアップデータは、前回のバックアップデータを上書きすることなく、バックアップするごとに新規で作成されます。C ドライブで使用している容量より保存先の容量が少ない場合は、「パソコンの状態」のバックアップはできません。
不要になったバックアップデータは削除してください（→ P.105）。

重要

- 「パソコンの状態」をバックアップ、および復元する場合、「バックアップナビ」起動時に外付けハードディスクや USB メモリを接続しないでください。
  - ・接続したまま「パソコンの状態」のバックアップ、および復元を開始すると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
  - ・外付けハードディスクにバックアップする場合は、「バックアップナビ」起動後に、画面の指示に従って接続してください。
- メモリーカードなどのその他の外部記憶装置は、必ずパソコンから取り外した状態で操作してください。

「パソコンの状態」をバックアップする場所

「パソコンの状態」をバックアップする場所を選択できます。また、作成した「パソコンの状態」のバックアップデータを外付けハードディスクなどにコピーできます。

■D ドライブ

LIFEBOOK の約 128GB SSD 搭載機種を除く

外部のドライブなどを接続する手間がなく簡単に「パソコンの状態」のバックアップ、復元できます。
ただし、次の場合は、D ドライブのバックアップも含めハードディスクのすべてのデータが使えなくなります。そのような場合に備え、このパソコンのハードディスク以外の場所にバックアップデータをコピーすることをお勧めします。

- ●ハードディスクの領域を変更したとき
  詳しくは、「C ドライブと D ドライブの割合を変更する」（→ P.151）
  ハードディスク全体のファイルが削除されてしまうため、D ドライブに作成した「パソコンの状態」のバックアップデータも削除されます。領域変更する場合は、あらかじめパソコンのハードディスク以外にバックアップをコピーしてください。
- ●このパソコンが故障したとき
  パソコンが故障したときは、D ドライブに作成した「パソコンの状態」のバックアップデータも含め、ハードディスクのすべてのデータが使えなくなる可能性があります。

■外付けハードディスク

直接「パソコンの状態」をバックアップできます。
外付けハードディスクは USB 接続のものを用意してください。USB 接続以外の接続方式では正常に動作しない場合があります。

■ネットワーク上のドライブ（LAN コネクタ搭載機種のみ）

直接「パソコンの状態」をバックアップできます。
ネットワークの知識が必要です。別のパソコンの共有フォルダーに、「パソコンの状態」をバックアップしたり、そこから復元したりできます。
ネットワーク上のドライブを使う方法は、サポートページから Q&A ナンバー「7209-7934」を検索してご覧ください。

「パソコンの状態」をバックアップする

1 スタート画面左下の⊕をクリックします。
⊕が表示されていない場合は、マウスポインターを動かすと表示されます。

2 「FUJITSU-バックアップナビ」の「バックアップナビ」をクリックします。

3 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をクリックします。

4 「バックアップナビ」の概要を説明するウィンドウが表示されたら、「次へ」をクリックします。

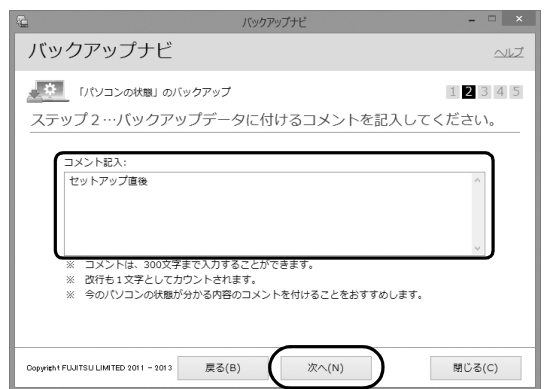
5 次の画面の操作をします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります。）

① 「バックアップする」タブをクリックします。
② 「パソコンの状態のバックアップ」をクリックします。

6 次の画面の操作をします。

① 「D ドライブ」または外付けハードディスクなどにバックアップする場合は「その他のドライブ」を選択します。バックアップ先の外付けハードディスクなどは後で接続します。
② D ドライブを選択した場合に表示されます。
「パソコンの電源を切る」または「パソコンを再起動する」を選択します。
③ 「次へ」をクリックします。

7 コメント入力域に、いつの時点の「パソコンの状態」かわかるようなコメントを入力し、「次へ」をクリックします。
例）・セットアップ直後
　　・インターネット設定変更

8 内容を確認して「次へ」をクリックします。

9 「OK」をクリックします。

■D ドライブにバックアップする場合
（LIFEBOOK の約 128GB SSD 搭載機種を除く）
再起動して、「パソコンの状態」をバックアップします。その後、パソコンは手順 6 で選択した動作をします。
これで、バックアップは完了です。

Point

- バックアップ先にDドライブを選択した場合、バックアップ後初めてWindowsを起動したときに、デスクトップ画面で「バックアップナビ」が起動し、パソコンのバックアップが完了したというメッセージが表示されます。「閉じる」をクリックして、画面を閉じてください。

■その他のドライブにバックアップする場合
手順 10 に進んでください。

10「「パソコンの状態」のバックアップ」という画面が表示されたら、次の操作をします。

① 外付けハードディスクを接続し、認識されるまで 10 秒ほど待ってから、「一覧を更新」をクリックします。
②「ドライブ一覧」に接続したドライブが表示されたら、保存先のドライブを選択します。
③「次へ」をクリックします。

11 画面の内容を確認し、「開始する」をクリックします。

「パソコンの状態」のバックアップが始まります。しばらくお待ちください。終了までの時間表示が増えることがあります。これは、途中で終了時間を計算し直しているためです。
完了すると「バックアップを終了しました。結果をご確認ください。」と表示されます。

12「閉じる」をクリックします。

パソコンが再起動します。

これで、指定したドライブに「パソコンの状態」がバックアップされました。

「パソコンの状態」のバックアップデータをコピーする

「パソコンの状態」のバックアップデータは外付けハードディスクなどにコピーできます。
コピー方法については、サポートページから Q&A ナンバー「6909-7980」を検索してご覧ください。

「パソコンの状態」を復元する

C ドライブをまるごと、「パソコンの状態」のバックアップ時点に戻します。
C ドライブの現在のデータは失われてしまいます。D ドライブまたはDVDなどのディスクや別の媒体などにバックアップしてください。

Point

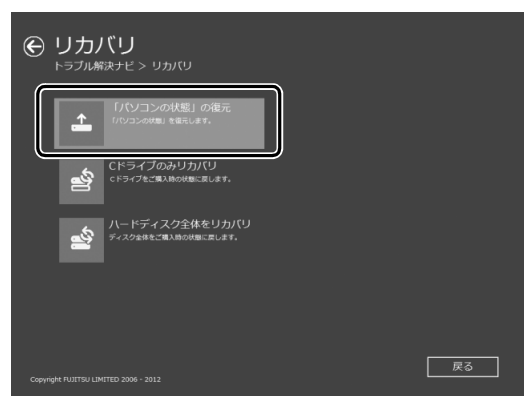
- Windows が起動できないときは、「かんたんバック アップレスキュー Light」でバックアップできる場合 があります (→ P.109)。

1「トラブル解決ナビ」を起動します。

起動方法は「「トラブル解決ナビ」を起動する」(→ P.112)をご覧ください。

2「リカバリ」をクリックします。

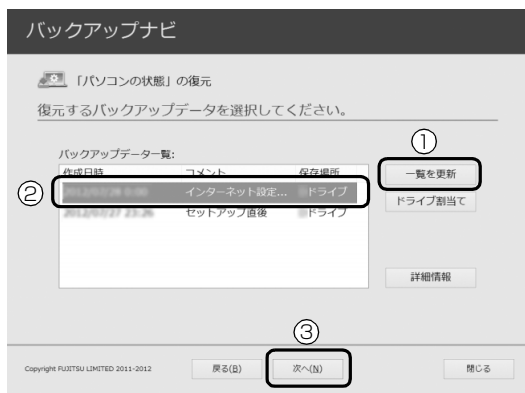
（これ以降の画面は機種や状況により異なります。）

3「「パソコンの状態」の復元」をクリックします。

4 画面の内容を確認し、次の操作をします。

①「ご使用上の注意」を下までスクロールして確認します。
「同意する」が選択できるようになります。

②「同意する」をクリックして◉にします。

③「次へ」をクリックします。

5 復元したい「パソコンの状態」のバックアップデータを選択します。

① D ドライブ以外に保存したバックアップデータを復元する場合、外付けハードディスクを接続した後、認識されるまで10秒ほど待ってから、「一覧を更新」をクリックします。「バックアップデーター覧」に「パソコンの状態」のバックアップデータが表示されます。

② 復元する「パソコンの状態」のバックアップデータをクリックして選択します。

③「次へ」をクリックします。

- D ドライブに保存した「パソコンの状態」のバックアップデータが表示されない場合(LIFEBOOKの約128GB SSD搭載機種を除く)
  削除してしまっている可能性があります。ハードディスクの領域設定を変更した場合、C ドライブのデータもD ドライブのデータやバックアップデータも削除されます。

6「復元開始」をクリックします。

「パソコンの状態」のバックアップデータを使って C ドライブの復元が始まり、復元の進行状況を示す画面が表示されます。

7 そのまましばらくお待ちください。

終了までの残り時間は正確に表示されない場合や増える場合があります。これは途中で終了時間を計算し直しているためです。
しばらくすると、「復元が正常に終了しました。」と表示されます。

8「閉じる」をクリックします。

パソコンが再起動します。

これで、「パソコンの状態」のバックアップデータを使った復元が完了しました。

「パソコンの状態」のバックアップデータを削除する

「バックアップナビ」の「管理」タブで、D ドライブなどに保存した「パソコンの状態」のバックアップデータを削除できます。画面の指示に従って操作してください。

Point

- 外付けハードディスクに保存した「パソコンの状態」のバックアップデータを削除する場合は、「バックアップナビ」を起動する前に接続してください。

6 困ったときは

メールや Office で困ったときは

「Outlook」（メールアプリ）や「Word」、「Excel」などの Office の製品については、アプリ提供元の日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

<table>
<tr>
<td>Office Home & Business Premium
Office Personal Premium
・ Microsoft Excel 2013
・ Microsoft OneNote 2013
・ Microsoft Outlook 2013
・ Microsoft PowerPoint 2013
・ Microsoft Word 2013
・ Microsoft PowerPoint 2013 楽しもう フォト ウィザード</td>
<td>日本マイクロソフト株式会社
技術サポート窓口
電話：0120-54-2244
受付時間：月～金／ 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 19:00、
土・日／ 10:00 ～ 17:00（日曜はインストール サポートのみ）
URL：http://support.microsoft.com/contactus/</td>
</tr>
</table>

※搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

ウイルス対策アプリなどで困ったときは

マカフィー リブセーフのお問い合わせ先

マカフィー リブセーフ	マカフィー株式会社 URL：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/ ①テクニカルサポートセンター インストール方法、製品削除など技術に関するお問い合わせ窓口 電話：0570-060-033（携帯電話からの場合：03-5428-2279） 受付時間：9:00 ～ 21:00（年中無休） お問い合わせフォーム：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/tspc_email.asp ②カスタマーサービスセンター ご契約の更新、ご契約期間の確認など、ご契約に関するお問い合わせ窓口 電話：0570-030-088（携帯電話からの場合：03-5428-1792） 受付時間：9:00 ～ 17:00（祝祭日を除く） お問い合わせフォーム：http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_email.asp 60 日間の試用期間中、サポートいたします。

その他のアプリのお問い合わせ先

記号	**@nifty でブロードバンド**	**ニフティ株式会社** @nifty お申し込み受付デスク 電話：0120-50-2210 ※携帯電話・PHS からもご利用可 受付時間：10:00 ～ 19:00（年中無休）
D	**DigiBook® Browser for FUJITSU**	**株式会社 DigiBook** 電話：03-6805-9240 FAX：03-5468-1250 受付時間：10:00 ～ 17:00 URL：https://secure.digibook.net/contact/ E メール：info@digibook.net
I	**i- フィルター ® 6.0**	**デジタルアーツ株式会社**　サポートセンター 電話：0570-00-1334 受付時間：10:00 ～ 18:00（指定休業日を除く） URL：http://www.daj.jp/faq/ お問い合わせフォーム：http://www.daj.jp/ask/ 90 日間の試用期間中、サポートいたします。
S	**Skype**	**日本マイクロソフト株式会社** URL：https://support.skype.com/ja/
か行	**学研パーソナル英和辞典** **学研パーソナル和英辞典** **学研パーソナル現代国語辞典** **学研パーソナル版漢字辞典**	**株式会社学研教育出版**　デジタルコンテンツ事業室 電話：03-3493-3286（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」（→ P.116）へお問い合わせください。
	広辞苑第六版	**株式会社岩波書店**　電子出版編集部 電話：03-5210-4082（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：13:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」（→ P.116）へお問い合わせください。

※搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

さ行	**新和英中辞典第５版** **リーダーズ英和辞典第３版**	**株式会社研究社**　電子出版室 電話：03-3288-7711（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」（→ P.116）へお問い合わせください。
	ソフト使い放題	**株式会社オプティム**　ソフ得　ソフト使い放題サポートセンター 電話：ご契約前のお客様 03-6435-8566 　　　ご契約後のお客様 050-3734-4960 受付時間：10:00 ～ 18:00（年中無休） FAQ：http://azby.fmworld.net/monthly/ faq.html?unlimitedfrom=unlimitedNavi_faq#unlimited お問い合わせフォーム：http://www.optim.co.jp/contents/12049
は行	**筆ぐるめ 22**	**富士ソフト株式会社**　インフォメーションセンター 電話（ナビダイヤル）：0570-550-211 （IP 電話 /PHS の場合：03-5638-6139） 受付時間：9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00 （土日、祝祭日、及び弊社休業日を除く／ 11 月 1 日から 12 月 30 日までは無休（12 月 30 日は 12:00 まで）） URL：http://www.fudegurume.jp/　　E メール：users@fsi.co.jp

※搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

アプリのお問い合わせ先の確認方法

本書に記載されていないアプリのお問い合わせ先は、「@メニュー」で確認することもできます。

1 スタート画面で「@メニュー」をクリックします。

2 アプリを探し、お問い合わせ先を表示します。

（画面は機種や状況により異なります）

① カテゴリを選択します。
② ジャンルを選択します。
③「目的でさがす」をクリックし、やりたいことを選択します。
④「お問い合わせ先」をクリックします。

よくあるトラブルと解決方法

トラブルが発生した場合、 まず次の点を確認してください

●使用する装置（パソコンや周辺機器）の電源はすべて入っていますか？
●ケーブル類は正しいコネクタに接続されていますか？ また、ゆるんだりしていませんか？
●電源コンセント自体に問題はありませんか？
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
●ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（ハブなど）の接続や電源も確認してください。
●パソコンを再起動するとトラブルが解消される場合があります。パソコンの操作が可能なときは、次の手順で再起動してください。

1. スタート画面の右上にある⏻をクリックします。
2. 表示されたメニューから「再起動」を選択します。

起動 ・ 終了時のトラブル

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	AC アダプタが正しく接続されていない	AC アダプタが正しく接続されているか確認してください（→ P.26）。
	上記の対処で解決しない	AC アダプタをいったん取り外し、2 ～ 3 分放置後、再び取り付けてください。
ビープ音（ブザー）が鳴る	連続して誤った BIOS パスワードを入力した	電源ボタンを4秒以上押して電源を切り、10秒以上待ってから電源を入れて、操作をやり直してください。
画面に何も表示されない	画面が暗すぎる	キーボードの明るさ調節ボタン（☼+）を押して、画面を明るくしてください。
	ディスプレイのバックライトが消灯している	何かキーを押してください。
	スリープや休止状態になっている	電源ボタンを押してください。
	上記の対処で解決しない	電源ボタンを4秒以上押して、電源を切り、10秒以上待ってから電源を入れ直してください。 なお、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。
Windowsが起動しない	周辺機器が正しく取り付けられていない	周辺機器のマニュアルをご覧になり、正しく取り付けられているか確認してください。
	上記の対処で解決しない	ハードウェアの診断を行ってください(→P.111)。

症状	考えられる原因	対処方法
ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスが使えない	キーボードまたはマウスの電源が入っていない。	底面の電源スイッチを ON にしてください。
	正しく認識されていない。	次の手順でパソコンに再認識させてください。 1. パソコン本体の「CONNECT」ボタンを押す（→ P.20）。 2. キーボードまたはマウス底面の「CONNECT」ボタンを押す。 詳しくは、「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」（→ P.58）をご覧ください。
電源が切れない	Windows が動いていない	次の手順で Windows を終了させてください。 ハードディスクが動作しているときに電源を切ると、ファイルが失われたり、ハードディスクが壊れたりする可能性がありますので、ご注意ください。 1. 【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】を押す。 2. 画面右下のをクリックして表示されるメニューで「シャットダウン」を選択する。
	ポインティングデバイスが使えない	次の手順で、Windows を終了させてください。 1. 【Windows】＋【C】を押す。 『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』 2. カーソルキーで「設定」を選択して【Enter】を押す。 3. カーソルキーでを選択して【Enter】を押す。 4. カーソルキーで「シャットダウン」を選択して【Enter】を押す。
	上記の対処で解決しない	電源ボタンを 4 秒以上押して、電源を切ってください。なお、ハードディスクに保存されていない作業中のデータは失われます。
勝手に電源が入る	他のワイヤレスキーボードを誤認している	「取り扱い」－「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウス」（→ P.58）をご覧になり、再認識させてください。

Point

- このパソコンには、Windows が起動しなくなったとき、C ドライブにあるお客様のデータファイル（ドキュメントや画像など）を D ドライブにコピーする「かんたんバックアッププレスキュー Light」が搭載されています。
  お使いになるには、「トラブル解決ナビ」を起動し（→ P.112）、「ユーティリティ」の「かんたんバックアップレスキュー Light」をクリックしてください。なお、操作については、表示された「必ずお読みください」をご覧ください。

ここまでの確認でトラブルが解決しない場合

次の手順で表示される説明をご覧ください。

1 （Windowsキー）を押して、スタート画面を表示します。

2 「富士通アドバイザー」をクリックします。

「富士通アドバイザー」の画面が表示された場合は、内容をよくお読みになり、「同意する」をクリックします。
また、「富士通アドバイザーをバックグラウンドで実行しますか？」と表示された場合は、「許可」をクリックします。

3 「富士通アドバイザー」の「トラブル解決」をクリックします。

インターネットに接続して上記の操作を行うと、表示される内容が最新の状態に更新されます。

「富士通ハードウェア診断ツール」 を使う

Windowsが起動しなくなったときに、このパソコンのハードウェア（CPU、メモリ、ディスプレイ、ハードディスク、CD/DVD ドライブ）に問題がないか診断します。

- 「トラブル解決ナビ」から起動できます（→ P.112）。
- パソコン本体の電源を切り、あらかじめ周辺機器を取り外しておいてください。
- 診断したいハードウェアを選択できます。
- 診断時間は 5 ～ 20 分程度です。

■「富士通ハードウェア診断ツール」で診断する

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります（→ P.167）。

2 「トラブル解決ナビ」を起動し（→P.112）、「診断ツール」▶「富士通ハードウェア診断ツール」の順にクリックします。

「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウと「情報」ウィンドウが表示されます。

3 表示された注意事項をよく読み、「OK」をクリックします。

「情報」ウィンドウが閉じます。

4 診断したいアイコンにチェックが入っていることを確認し、「実行」をクリックします。

ハードウェア診断が始まります。
診断時間は通常 5 ～ 20 分程度ですが、お使いのパソコンの環境によっては、長時間かかる場合があります。

Point

- 「CD/DVD/BD(E:) ドライブに CD-ROM または DVD-ROM をセットしてください。」などと表示された場合は、お手持ちの CD や DVD をセットして「診断開始」をクリックしてください。ただし、何も書き込まれていないディスクや、コピーガードされたメディア（映画などの DVD/Blu-ray Disc やコピーコントロール CD など）は使用できません。
- 診断を取りやめる場合は「スキップ」をクリックしてください。

5 「診断結果」ウィンドウに表示された内容を確認します。

■エラーコードが表示された場合

メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。

■問題がない場合

診断後、「パソコンを以前の状態に戻す」（→ P.112）に進んでください。

6 「診断結果」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。

「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウに戻ります。

7 「終了」をクリックします。

「終了」ウィンドウが表示されます。

8 「はい」をクリックします。

「トラブル解決ナビ」ウィンドウに戻ります。

9 「終了」▶「シャットダウン」の順にクリックします。

パソコンの電源が切れます。

Point

- Windows が起動しなくなったときは、起動メニューから起動できる「診断プログラム」を使用してもハードウェアの障害箇所を診断できます。診断時間は通常 5 ～ 20 分程度ですが、診断するパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります。
  1. BIOS の設定をご購入時の状態に戻します。
  2. パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

3. パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。
4. サポートボタンを押します。
5. 起動メニューが表示されたら、【↓】を押して、「診断プログラム」を選択し、【Enter】を押します。
6. 「診断プログラムを実行しますか？」と表示されたら、【Y】を押してハードウェア診断を開始します。
   ハードウェア診断が終了すると、診断結果が表示されます（お使いの機種によっては、いったんパソコンが再起動した後で診断結果が表示されます）。

・トラブルが検出されなかった場合
【Enter】を押してください。「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウと「情報」ウィンドウが表示されます。
この後の操作については、「「富士通ハードウェア診断ツール」で診断する」（→ P.111）をご覧ください。

・トラブルが検出された場合
画面に表示された内容をメモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。その後、【Y】を押してパソコンの電源を切ってください。

パソコンを以前の状態に戻す

ハードウェアに問題がなく、マニュアルやインターネットの Q&A でも解決できなかった場合は、パソコンが問題なく動作していた時点の状態に戻す、という解決方法があります。
ただし、この解決方法は、今まで作成した C ドライブ内のデータや設定がすべて削除されてしまうなど、現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。
本当に必要かどうか再度確認してください。
どうしても必要な場合は、注意事項を必ず確認したうえで行ってください。
このパソコンでは2つのやり方でパソコンを以前の状態に戻すことができます。

●「バックアップナビ」で「パソコンの状態」を復元する
詳しくは、「バックアップ」（→ P.99）をご覧ください。
「パソコンの状態」のバックアップを作成している場合、バックアップを作成した時点に戻すことができます。
バックアップ後に行った設定や作成したデータなどは削除されます。

●ご購入時の状態に戻す
詳しくは、「ご購入時の状態に戻す」（→ P.120）をご覧ください。
「パソコンの状態」のバックアップを作成していない場合は、ハードディスクの「リカバリ領域」のデータを使用し、ご購入時の状態に戻します。
ご購入時の状態に戻るため、再度セットアップが必要です。現在お使いの状態に戻すには、アプリをインストールしたり、データを復元したりなど大変手間がかかります。

「トラブル解決ナビ」 を起動する

■ハードディスクから起動する

1. パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。
2. パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります（→ P.167）。
3. サポートボタンを押します。
4. 起動メニューが表示されたら、【↓】を押し、「トラブル解決ナビ」を選択して、【Enter】を押します。
   「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

■「トラブル解決ナビディスク（リカバリ起動ディスク）」から起動する

「トラブル解決ナビディスク（リカバリ起動ディスク）」または「トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク（64 ビット版）」から「トラブル解決ナビ」を起動する方法です。パソコンを廃棄するときやリカバリ領域の削除／復元をするときなど、特別な操作をするときだけ行います。

1. パソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。
2. パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります（→ P.167）。
3. サポートボタンを押します。

4 起動メニューが表示されたら、「トラブル解決ナビディスク（リカバリ起動ディスク）」または「トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク」をセットします。

ディスクをセットする方法については、「ディスクをパソコンにセットする／取り出す」（→ P.67）をご覧ください。

認識されるまで 30 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

5 【↓】を押して「CD/DVD」を選択し、【Enter】を押します。

6 そのまましばらくお待ちください。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

「トラブル解決ナビ」ウィンドウが表示されます。

■「トラブル解決ナビ」が起動しない場合の解決方法

「トラブル解決ナビ」が表示されない場合は、次のように対処してください。

- BIOS の設定をご購入時の状態に戻すと解決する場合があります（→ P.113）。
- 市販のアプリや、Windowsの「ディスクの管理」で領域設定を変更している場合は、「全ドライブをご購入時の状態に戻す」を実行してください。
  詳しくは、「ハードディスクの領域について」（→ P.151）をご覧ください。

□BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

1 パソコン本体に外付けハードディスクなどの周辺機器を接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります（→ P.167）。

3 サポートボタンを押します。

4 起動メニューが表示されたら、【↓】を押し、「BIOS セットアップ」を選択して、【Enter】を押します。

Point

- Windowsが起動してしまった場合は、手順2から操作をやり直してください。
- BIOS の画面が表示されず、Windows も起動しない場合は、電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切り、10 秒以上待った後、手順 3 から操作をやり直してください。

5 【←】、【→】、【↑】または【↓】で「終了」メニュー▶「標準設定値を読み込む」の順に選んで【Enter】を押します。

6 「はい」を選んで【Enter】を押します。

7 「変更を保存して終了する（再起動）」を選んで【Enter】を押します。

8 「はい」を選んで【Enter】を押します。

富士通の窓口に相談する

ユーザー登録のご案内

■ユーザー登録とは

ご購入されたパソコンとお客様の情報を、富士通に登録していただくことです（入会費・年会費無料)。
ユーザー登録をすると、1 年間の無料電話相談などの手厚いサポートや専用の充実したサービスをご利用いただけます。

重要

- ご登録いただける住所は、日本国内のみとなります。

■ユーザー登録をする

ここではインターネットでユーザー登録する方法を説明します。操作できない場合など、ユーザー登録に関するお問い合わせは、「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.116）の「電話で相談する」をご覧ください。

□必要なものを用意してください

●保証書

製品の情報を確認するときに必要になります。
登録後も大切に保管してください。

Point

- 保証開始日に初めて電源を入れた日を記入してください。
  保証開始日は「@メニュー」から確認できます。
  「安心・サポート」▶「トラブル診断」▶「目的でさがす」▶「パソコンの情報を表示する」の順にクリックし、「パソコンの情報」が表示されたら「実行する」をクリックしてください。

●筆記用具

ユーザー登録時に発行されるユーザー登録番号などを本マニュアルに控えていただくときに必要になります。

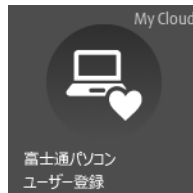
□ユーザー登録方法

セットアップ後に表示された「はじめに行う設定」の「ユーザー登録を表示」のリンクをクリックすると、インターネットのユーザー登録専用ホームページが表示されます。

1 **画面上の説明をお読みになり、手続きを行ってください。**

ユーザー登録時に発行されるユーザー登録番号などを、次の欄に記入して、大切に保管してください。
記入後は第三者に漏れないよう注意してください。

Point

- ユーザー登録専用ホームページを表示するにはインターネットに接続する必要があります。
- ユーザー登録にはメールアドレスが必要です。
- スタート画面で「富士通パソコンユーザー登録」をクリックしてもユーザー登録専用ホームページを表示することができます。

サポート＆サービス紹介

富士通のパソコンをより楽しく快適に利用いただくために、インターネット上のサポートページやサービスをご用意しております。

■サポートページ

http://azby.fmworld.net/support/

（画面は状況により異なります）

富士通パソコンユーザーのためのサポートページです。過去に電話窓口などにお問い合わせいただいたときの履歴をご確認いただくことができます。

富士通からの重要なお知らせなど、役立つ内容があります。

□新着情報

すぐに使えるテクニックや、富士通パソコンユーザー向けのサービス情報などが毎週更新されます。

■会員専用サポート

マニュアルや、サポートページなどで確認しても、問題が解決できない場合、電話やメールで技術相談を受けられます。

詳しくは、「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.116）をご覧ください。

■お問い合わせ窓口のご紹介

富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口

お客様に合わせた様々な方法でお問い合わせができます。

メール　Twitter　ネットで故障診断　電話予約　電 話　が、ご利用できます。

技術相談も、修理相談もワンストップで解決！ より便利に簡単にご利用できる窓口になりました。

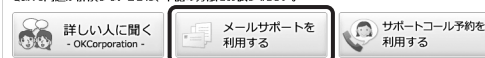
富士通FMVサポートページ　http://azby.fmworld.net/support/　※最新の情報はホームページをご覧ください。

"メール" で相談する　メール

ホームページ上の専用の質問フォームから送信いただいたFMVに関するお問い合わせを受け付け、Eメールで回答いたします。
Q&A・パソコン活用情報を検索後にお問い合わせいただけます。

② 質問フォームに入力する

③ メールで回答

各Q&Aページの下の方に質問フォームを表示するボタンがあります。

＊ユーザー登録が必要となります。

パソコン　スマートフォン

"Twitter" でアドバイスを受ける　Twitter

Twitter のFMV公式アカウントを、ぜひフォローしてください。
お役立ちQ&Aをご紹介します。お困り内容をつぶやくと、担当者からアドバイスが届くことも！（「富士通」「FMV」「My Cloud」などの言葉を交えてツイートしてみましょう）

FMV公式アカウント：@Fujitsu_FMV_QA

＊お問い合わせにはTwitterへのログインが必要となります。
＊お客様に沿った案内が必要な場合は、メールでの相談をご案内する場合がございます。
＊お問い合わせいただいたすべてのご質問にお答えできない場合もございます。
＊Twitterの特性を最大限に生かすため、お客様とのやりとりはみなさまに見える状態でツイートいたします。

パソコン　スマートフォン

"インターネットで故障を診断" する　ネットで故障診断

画面にしたがって状況を確認したり設定を変更したりするだけでトラブルを診断し、解決方法をアドバイスします。
故障と診断された場合は、その場で修理申し込みができます。

http://azby.fmworld.net/webpcrepair/

▸トラブル診断
パソコンの機種を選択　症状に従って項目を選択　トラブル解決のアドバイス　故障と診断された場合　ログイン　Webでそのまま修理申し込み
※ 万が一故障と診断された場合は概算修理料金が確認できます。

さっそく診断してみよう！
診断スタート
上のボタンを押すと診断が始まります。

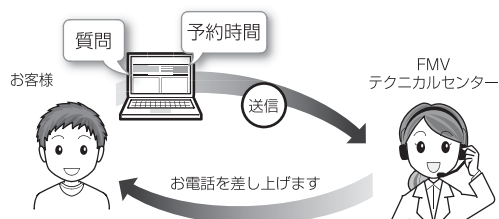
パソコン　スマートフォン

電話予約　電 話　"電話" で相談する

※ご利用料金に関しては、次ページの「ご利用料金とお支払いについて」をご覧ください。

電話相談の "予約" をする

お客様がホームページよりご予約された時間帯に、FMVテクニカルセンターのサポート担当者からお電話を差し上げ、ご予約の際に入力されたご質問にお答えします。

https://azby.fmworld.net/callback/

＊ユーザー登録が必要となります。
＊富士通からお電話をかける連絡先は、日本国内に限らせていただきます。
　また日本語対応のみとなります。

パソコン　スマートフォン

お困りごとのご相談はこちら

通話料無料　**0120-950-222**　受付時間：9:00〜19:00(注)

携帯電話、PHS、IP電話、海外からはこちら（通話料金お客様負担）　**045-514-2255**　受付時間：9:00〜17:00

修理受付はこちら

通話料無料　**0120-926-220**　受付時間：9:00〜19:00(注)

携帯電話、PHS、IP電話、海外からはこちら（通話料金お客様負担）　**045-514-2260**　受付時間：9:00〜17:00

注：受付時間は窓口によって異なります。ガイダンスに従ってご利用ください。
※電話番号はお間違えのないように、十分ご確認のうえおかけください。
※システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
※音声ガイダンス内容・操作方法・受付時間は、予告なく変更させていただく場合があります。
※ユーザー登録されている電話番号をお客様の発信番号が一致した場合には、ユーザー登録番号の入力が省略できます。
　非通知設定による発信や、ユーザー登録されている番号と異なる発信番号等、一部ユーザー登録情報の確認ができない場合は、音声ガイダンスの指示に従ってユーザー登録番号を入力してください。

□ご利用料金とお支払いについて

●ご利用料金

・パソコン本体に初めて電源を入れた日（保証開始日）から、**1年間無料**でご利用いただけます。[注]

注：Refreshed PCに関する電話による技術サポートに関しては、1年目もお問い合わせ1件あたり2,060円（税込）となります。
また、受付時間は月～金曜日（祝日を除く）9時～17時となります。

・2年目以降
お問い合わせ1件あたり2,060円（税込）

※ My CloudカードまたはAzbyClubカードでお支払いの場合は、1,540円/件（税込）でご利用いただけます。My CloudカードおよびAzbyClubカードについて詳しくは、（http://azby.fmworld.net/members/mycloudcard/）をご覧ください。

※ プレミアムサービスに利用登録されているお客様のご利用料金につきましては、プレミアムサービスの専用ホームページにてご案内いたします。

Point

▶ お問い合わせ1件は、お電話の回数ではなく、技術相談1項目ごとに1件と扱います。同じご相談内容であれば次回お問い合わせいただく際、料金は加算いたしません。（ただし14日以内に限ります）

●お支払い方法

お支払い方法は、音声ガイダンスに従って、次のいずれかを選択してください。

クレジットカード支払い	音声ガイダンスで、クレジットカード番号、有効期限の入力をお願いします。
コンビニ振込	コンビニ振込をご利用の場合は、手数料が別途210円かかります。

□お問い合わせ前に確認してください

●「サポートページ」（http://azby.fmworld.net/support/）で解決方法を確認しましたか？
知りたい情報やトラブル解決方法をお調べいただけます。

●ユーザー登録はしましたか？
電話サポートの利用にはユーザー登録が必要です。ユーザー登録方法は「ユーザー登録のご案内」（→P.114）をご覧ください。

●アプリのお問い合わせ先を確認しましたか？
各アプリ提供会社のお問い合わせ先は、「メールやOfficeで困ったときは」（→P.106）および「ウイルス対策アプリなどで困ったときは」（→ P.107）をご覧ください。

●お使いのパソコンをお手元にご用意いただいていますか？
お電話中に操作を行っていただく場合がございますので、お手元にご用意ください。

●データのバックアップはしましたか？
大切なデータの予備を保存しておくと、安心です。バックアップ方法については、「バックアップ」（→P.99）をご覧ください。

■修理を申し込む前の準備

●故障かどうかをもう一度ご確認ください
パソコンのトラブルは、設定の誤りなど、故障以外が原因のこともあります。実際に「故障や修理に関する受付窓口」へのお電話の半数以上は、パソコンの故障ではなく、設定を変更することで問題が解決しています。
「ネットで故障診断」（http://azby.fmworld.net/webpcrepair/）で、本当にパソコンが故障しているか確認してください。

●修理規定をご確認ください
お申し込み前に必ず「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」（→P.169）を確認のうえ、同意をお願いします。

●修理料金の目安を確認できます
ホームページで概算修理料金をご覧ください。
http://azby.fmworld.net/support/repair/syuribin/charge.html

●保証書をお手元にご用意ください
保証期間は、初めてパソコン本体の電源を入れた日（保証開始日）から1年間となります。保証期間内は無料で修理させていただきます。
ただし、保証期間内でも有料となる場合があります。詳しくは、保証書裏面「無料修理規定」を確認してください。

Point

- 保証開始日は「@メニュー」から確認できます。「安心・サポート」▶「トラブル診断」▶「目的でさがす」▶「パソコンの情報を表示する」の順にクリックし、「パソコンの情報」が表示されたら「実行する」をクリックしてください。

●故障品をお手元にご用意ください
お申し込み時に操作いただく場合があるため、お手元に故障品をご用意ください。

●データのバックアップをおとりください
修理前の診断作業および修理の結果、記憶装置（ハードディスクなど）内に記録されたお客様データが消失する場合があります。弊社ではいかなる作業においても、お客様のデータの保証はいたしかねるため、大切なデータは必ずお客様自身で DVD などのディスクや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。
バックアップの方法については、「バックアップ」（→ P.99）をご覧ください。
また、パソコンの故障などによりお客様がバックアップできない場合には、「PC データ復旧サービス」（有料）もご利用いただけます。

PCデータ復旧サービス（有料）
http://azby.fmworld.net/datarescue/

■修理の申し込み

パソコンの修理は、ホームページまたは電話でお申し込みください。

□ホームページで申し込む（ネットで故障診断）

「ネットで故障診断」では、パソコンが故障しているかどうかを調べることができます。
故障と診断された場合は、ホームページから修理を申し込むことができます。

ネットで故障診断
http://azby.fmworld.net/webpcrepair/

□電話で申し込む

「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.116）の「修理受付はこちら」をご覧ください。

重要

- 修理のために交換した故障部品は返却しません。あらかじめご了承ください。
- 修理のお申し込みの際は、お客様の名前や電話番号をお伺いいたします。お客様の個人情報の取り扱いについては「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」（→ P.169）の第 13 条（個人情報の取り扱い）をご覧ください。

■お引き取りとお届け（パソコン修理便）

弊社指定の宅配業者がご自宅へパソコンをお引き取りに伺います。
お引き取りから修理・お届けまで約 7 日間です（土・日・祝日を含む）。[注]

注：修理の内容によっては、日数を要する場合があります。また、離島の場合は船便のための日数がかかります。

□お引き取り日時について

お引き取りは、修理受付の翌日以降、弊社設定の時間帯（9:00 ～ 21:00[注]）で指定できます。

注：地域により異なります。お申し込み時にご確認ください。また、交通事情などにより指定日時にお伺いできない場合があります。

□お引き取りについて

宅配業者が指定日時にご自宅へ伺います。
梱包は宅配業者が行いますので、故障品は梱包せずに玄関先にご準備ください。

重要

- 次の各種パスワードは事前に解除してください。確認のために修理作業が中断し、修理に時間がかかる場合があります。
  - ・BIOS パスワード
  - ・ハードディスクパスワード

●保証書を用意してください（保証期間中の場合）。宅配業者が故障品といっしょに梱包いたします。
●宅配業者がお渡しする「お預かり伝票」を大切に保管してください。
●お引き取り後のキャンセルについては、診断料を申し受けます。あらかじめご了承ください。
●「修理状況確認サービス」（http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/）で携帯電話やスマートフォン、パソコンのメールアドレスをご登録ください。故障品の当社への到着、お見積もり発行時の連絡、修理完了品の発送、お届け予定日などをメールでお知らせします。

□お届けとお支払いについて

修理完了品を玄関先までお届けします。有料の場合は代金引換払いとなりますので、宅配業者に現金でお支払いください。

●修理料金について

・保証期間内（保証開始日より 1 年間）：無料（保証書記載の「無料修理規定」による）

・保証期間外：有料（修理にかかる部品代、技術料等）

※ 交通事情などにより、ご指定の日時にお伺いできない場合があります。

■修理状況の確認

ホームページや電話で、修理状況を確認できます。

□ホームページで確認する（修理状況確認サービス）

パソコン、スマートフォン、携帯電話（i モード、Ezweb、Yahoo! ケータイ）で「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」（8 桁の番号）を入力して、修理状況を確認できます。

修理状況確認サービス

パソコン・スマートフォン・携帯電話から

http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/

バーコード読み取り機能付きのスマートフォンや携帯電話では、右のバーコードからアクセスいただけます。

※ 携帯電話、スマートフォンの操作方法については、お使いの機種のメーカーにお問い合わせください。

□電話で確認する

音声ガイダンスに従ってダイヤルを押してください。「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」（8 桁の番号）と、修理お申し込み時にご登録されたお電話番号を入力してください。

富士通修理お問い合わせダイヤル

キューニーロク　ニーニーマル

0120-926-220

ダイヤル 3 をプッシュ

通話料無料 / 受付時間：24時間365日

携帯電話,PHS, 海外からはこちら

ゴーイチヨン　ニーニーロクマル

045-514-2260

（通話料金お客様負担）

受付時間：9：00～17：00

※ システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。

■訪問修理サービス（有料）

弊社指定の修理サービス会社がご自宅に伺い、その場で修理を行う有料サービスです。

ご利用料金は、修理作業完了後に、修理担当者に現金でお支払いください。

●訪問修理の料金体系

	訪問料金	修理料金
保証期間内（保証開始日より 1 年間）	有料	無料（保証書記載の「無料修理規定」による）
保証期間外	有料	有料

※ 離島の場合は、訪問料金とは別に、訪問に要する実費（フェリー代、宿泊代等）をご負担いただく場合があります。訪問修理サービスの詳細は、「お問い合わせ窓口のご紹介」（→ P.116）の「修理受付はこちら」にお問い合わせください。

■PC 引取点検サービス（有料）

パソコンを安心して長く使っていただくために、ハードウェア・アプリの点検や、パソコン内部の清掃を行う有料サービスです。

PC引取点検サービス

http://azby.fmworld.net/support/repair/tenken

7 ご購入時の状態に戻す

ご購入時の状態に戻すリカバリとは

リカバリとは、パソコンを以前の状態に戻す操作です。

「よくあるトラブルと解決方法」（→ P.109）と「富士通アドバイザー」のトラブル解決をご覧になり、すべて対処しても解決しなかった場合のみ行います。

ここではCドライブをご購入時の状態に戻すリカバリについて説明します。

●ご購入時の状態に戻すリカバリの仕組み

Cドライブをご購入時の状態に戻すリカバリは、ハードディスクの「リカバリ領域」という場所に保存されているデータを使用します。

「リカバリ領域」のデータで C ドライブをまるごと上書きします。

Point

- 「リカバリ領域」を削除している場合や「リカバリ領域」が破損してしまった場合にのみ、「リカバリディスクセット」を使用してリカバリします。詳しくは「ディスクが必要な場合」（→ P.121）をご覧ください。

●現在の C ドライブのデータについて

Cドライブをまるごとご購入時の状態にするため、今まで作成したCドライブ内のデータや設定がすべて削除されてしまいます。そのためリカバリ後には、セットアップを行ったり、必要に応じてアプリをインストールしたり、現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。

重要

- リカバリする場合は必ず、バックアップをとってください。

ご購入時の状態に戻すリカバリの準備

ご購入時の状態に戻すリカバリの注意

■必ずバックアップをとってください

リカバリを行うと、C ドライブのデータはすべて削除されます。

必要なデータはバックアップしてください。

- Windows が起動できるときは、「バックアップ」（→ P.99）をご覧ください。
- Windows が起動できないときは、「かんたんバックアップレスキュー Light」でバックアップできる場合があります（→ P.109）。

■外付けハードディスクや USB メモリは必ず取り外してください

リカバリを行う前に必ず取り外してください。接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

■キーボード、マウス以外の周辺機器（プリンター、デジタルカメラ、スキャナーなどの装置、HDMI 入力／出力端子、USB コネクタに接続しているすべての周辺機器）は取り外してください

アンテナケーブルやLANケーブルなどもすべて抜いてください。接続したままだとマニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

■メモリーカードは取り出してください

メモリーカードをセットしていると、マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

■ファイルコピー中は他の操作をしないでください

むやみにクリックせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、リカバリが正常に終了しない場合があります。

■時間に余裕をもって作業しましょう

リカバリ実行からアプリのインストール終了まで、早く終了する機種でも 2 ～ 3 時間はかかります。

半日以上は時間をとり、じっくりと作業することをお勧めします。

作業中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法

■画面が真っ暗になった
画面が真っ暗になった場合は、省電力機能が働いた可能性があります。
マウスを動かして数秒待つか、マウスのボタンを1回押してください。または、キーボードの【↑】【↓】【←】【→】や【Shift】を押してください。
それでも復帰しない場合は、電源ボタンをポチッと押してください。

■電源が切れない
電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

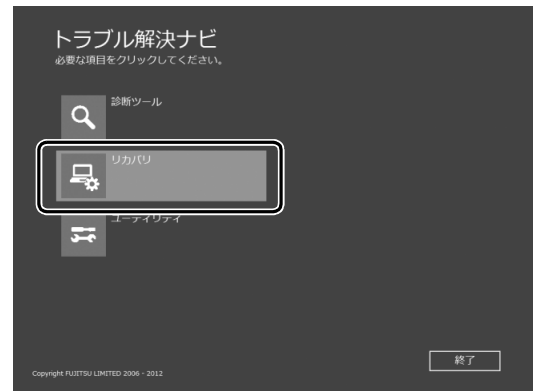
ディスクが必要な場合

●リカバリ領域を削除している場合、リカバリ領域が破損してしまった場合は、「リカバリディスクセット」が必要です
●ディスクがない場合や破損してしまった場合、弊社のホームページから購入できます
「リカバリディスク有償サービス」
http://azby.fmworld.net/support/attachdisk/
ただし、富士通ショッピングサイト「WEB MART」で購入したモデルの「リカバリディスクセット」は電話で申し込んで購入してください。
「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
0120-950-222（通話料無料）
●CD/DVD ドライブが搭載されていない機種でディスクを使ってリカバリする場合、ポータブル CD/DVD ドライブを用意してください
・ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブユニット（FMV-NSM54）」をお勧めします。
・リカバリを開始する前のパソコンの電源が切れた状態のときに、あらかじめ接続してください。
●「リカバリディスクセット」はハードディスク全体をリカバリする場合などにも使用します。詳しくは「ハードディスクの領域について」の「リカバリ領域を復元する」（→ P.152）をご覧ください。

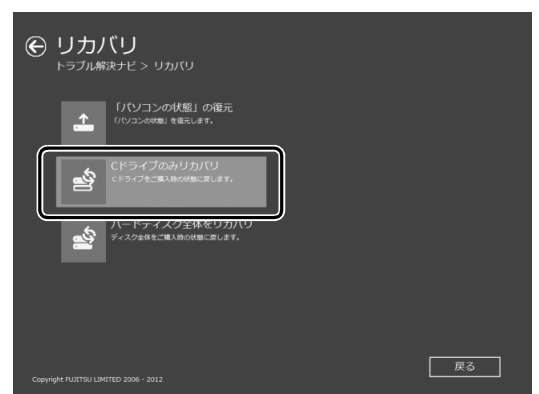
ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する

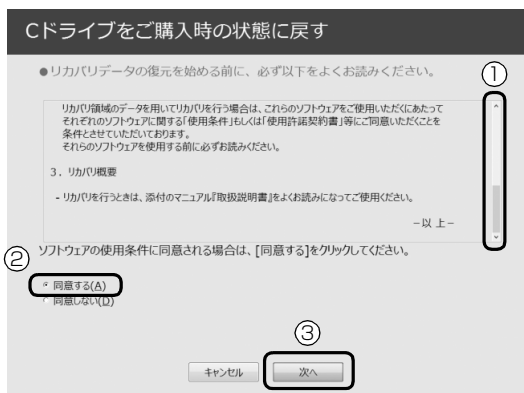
準備ができたらリカバリを実行します。ハードディスクの C ドライブの内容がいったんすべて消去され、リカバリ領域（または「リカバリディスクセット」）から Windows やアプリがインストールされてご購入時の状態に戻ります。

C ドライブを初期状態に戻す

1 「トラブル解決ナビ」を起動します。
「「トラブル解決ナビ」を起動する」（→ P.112）をご覧ください。

2 「リカバリ」をクリックします。

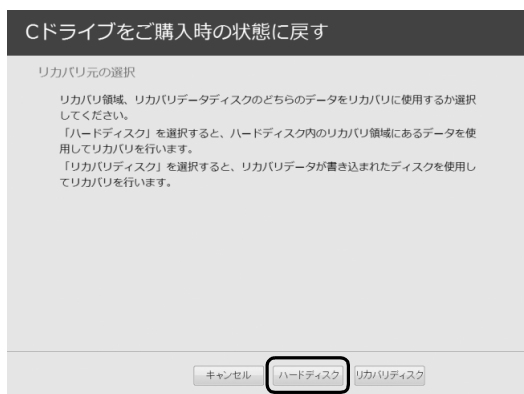
（これ以降の画面は機種や状況により異なります。）

3 「C ドライブのみリカバリ」をクリックします。

4 「次へ」をクリックします。

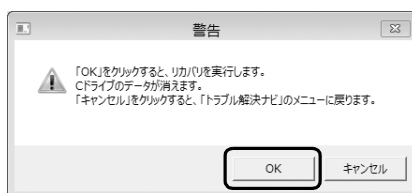
5 「ご使用上の注意」の内容を確認し、次の画面の操作をします。

①「ご使用上の注意」を下までスクロールして確認します。
「同意する」が選択できるようになります。

②「同意する」をクリックして にします。

③「次へ」をクリックします。

6 「ハードディスク」をクリックします。

Point

- ハードディスクにリカバリデータがない場合など、リカバリディスクセットを使用してリカバリする場合、「リカバリディスク」をクリックしてください。ディスクを用意し、画面の指示に従って操作してください。

7 警告画面で、「OK」をクリックします。

復元の進行状況を示す画面が表示され、ご購入時の状態に戻すリカバリが始まります。
リカバリ途中で計算し直しているため、終了までのパーセンテージは正確に表示されない場合や増える場合があります。

8 そのまましばらくお待ちください。

しばらくすると、「ディスクの復元が完了しました。」と表示されます。

9 「完了」をクリックします。

パソコンの電源が自動的に切れます。

Windows のセットアップをする

これで Windows がご購入時の状態に戻りました。この後、ご購入後初めて電源を入れたときと同じように、Windows のセットアップが必要です。「セットアップする」（→ P.21）をご覧になり、セットアップしてください。
なお、電源は 30 秒以上待ってから入れてください。

Point

- 「リカバリディスク有償サービス」で購入したリカバリディスクセットを使い、ご購入時の状態に戻すリカバリを行った場合、「地域と言語」の画面が表示されるまで 30 分以上かかることがあります。ご了承ください。

■セットアップ時の注意事項

- ●ユーザー登録は再度行う必要はありません。
- ●すでに Microsoft アカウントを取得されているため、「Windows のセットアップをする」の手順 14 では Microsoft アカウントを入力し、「次へ」をクリックしてください。その後は画面の指示に従って操作してください。

Point

- Office搭載機種で、「リカバリディスク有償サービス」で購入したリカバリディスクセットを使い、ご購入時の状態に戻すリカバリを行った場合、Office がインストールされた状態にリカバリされません。
  セットアップ後に、マイクロソフト社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。
  インストール方法については次のホームページをご覧ください。
  http://www.office.com/jppipcsetup/

8 使いこなすために

ディスプレイ

パソコン本体の液晶ディスプレイに表示できる解像度と発色数

ここでは、このパソコンで表示できる画面の解像度や発色数について説明しています。
解像度とは、縦横にどれだけの点（ピクセル）を表示できるかを示すものです。解像度を高く（大きい数字に）すると画面を広く使えるようになり、多くのウィンドウを表示できます。

Point

- アプリによっては、使用時の解像度が指定されていることがあります。必要に応じて変更してください。

重要

- このパソコンでは、次の表に書かれている解像度でお使いください。
- 次の場合は設定を変更しないでください。正しく表示されないことがあります。
  - ・DVD-VIDEO などの動画再生時
  - ・テレビ機能をお使いの場合（テレビチューナー搭載機種のみ）

解像度（ピクセル）	発色数
1024 × 768	1677 万色
1280 × 1024	
1920 × 1080	

画面の解像度の変更

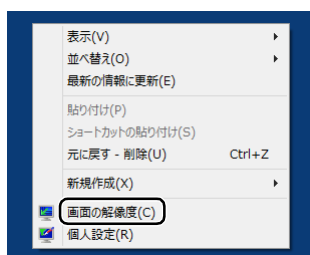
ここでは、ディスプレイにパソコンの画面を表示するときの、画面の解像度を変更する方法について説明しています。

重要

- 設定変更時の画面表示の乱れについて
  解像度を変更するときに一時的に画面表示が乱れることがありますが、故障ではありません。

1 スタート画面で「デスクトップ」をクリックします。

『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

2 デスクトップ画面の何もないところを右クリックし、表示されるメニューから、「画面の解像度」をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

「画面の解像度」ウィンドウが表示されます。

3 解像度を変更します。

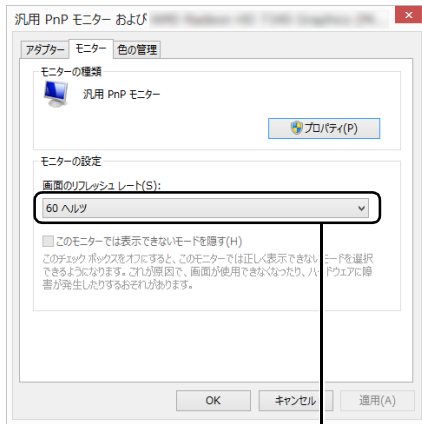
「解像度」の ⌄ をクリックし、表示される画面で解像度を選択します。

4「適用」をクリックします。

設定を確認するウィンドウが表示されたら、「変更を維持する」をクリックします。

■リフレッシュレートの変更

1.「画面の解像度」ウィンドウで「詳細設定」をクリックし、表示されたウィンドウで「モニター」タブをクリックします。

2. リフレッシュレートの をクリックし、表示されるメニューからリフレッシュレートを変更します。

 をクリックして選びます。

3.「適用」をクリックします。

設定を確認するウィンドウが表示されたら、「変更を維持する」をクリックし、「OK」をクリックします。

5「OK」をクリックします。

画面の表示や音声を消す

ここでは、画面の表示やスピーカーからの音声を消して、消費電力を低減させる方法を説明しています。このパソコンには、「おやすみディスプレイ」を利用する方法と、パソコン本体の画面オフボタンを利用する方法があります。

Point

- 「おやすみディスプレイ」機能や画面オフボタンは Windows の省電力機能とは異なります。Windows の省電力機能については、「スリープ／休止状態」(→ P.143) をご覧ください。

重要

- 「おやすみディスプレイ」機能や画面オフボタンをご利用になるには、次のアプリが正常にパソコンにインストールされている必要があります。
  - ・富士通拡張機能ユーティリティ

  これらのアプリは、ご購入時はインストールされています。

■パソコンが自動起動したときに、表示や音声を消す（おやすみディスプレイ）

テレビ番組の予約録画（テレビチューナー搭載機種のみ）や、バックアップナビの自動バックアップなどでパソコンが自動的に起動した場合、画面の表示やスピーカーからの音声を消すときは、「おやすみディスプレイ」を利用します。

ご購入時は、パソコンが自動的に起動した場合に画面の表示や音声が消されるように設定されています。これは、「おやすみディスプレイ」の設定が「オン」になっている状態です。

また、「おやすみディスプレイ」機能で画面の表示や音声が消えている場合にマウスを動かすと、元の状態に戻る（「おやすみディスプレイ」が解除される）ように設定されています。

□「おやすみディスプレイ」の設定を変更する

「おやすみディスプレイ」や画面オフボタンを利用しない場合や、周りの振動でマウスが動いたことによって意図せずに元の状態に戻ってしまう場合は、設定を変更してください。

1 スタート画面左下の をクリックします。

 が表示されていない場合は、マウスポインターを動かすと表示されます。

『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

2「FUJITSU - PowerUtility」の「おやすみディスプレイ設定変更」をクリックします。

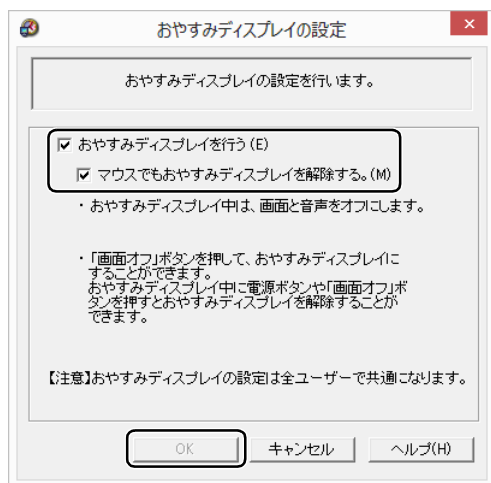
「おやすみディスプレイの設定」ウィンドウが表示されます。

3 設定を変更し、「OK」をクリックします。

■「おやすみディスプレイ」や画面オフボタンを利用しない場合

「おやすみディスプレイを行う」の☑をクリックし、□にします。

■マウスで元の状態に戻る設定を無効にする場合

「マウスでもおやすみディスプレイを解除する」の☑をクリックし、□にします。

（画面は機種や状況により異なります）

■一時的に画面の表示や音声を消す

一時的にパソコンの前を離れたりする場合、画面の表示やスピーカーからの音声を消すときは、画面オフボタンを利用します。

パソコンの画面の表示や音声が消えますが、機種によっては、画面の表示が薄く見える場合があります。

Point

- 次の場合、画面オフボタン（☒）を押しても、画面の表示や音声は消えません。
  - ・Windows にサインインしていない
  - ・「おやすみディスプレイ」の設定が「オフ」になっている
  - ・必要なアプリがインストールされていない

1 パソコン本体上面の画面オフボタン（☒）を押します。

電源ランプが点灯したまま、画面の表示や音声が消えます。

画面オフボタンの場所については、『取扱説明書』の「各部の名称と働き」をご覧ください。

■画面の表示や音声を元に戻す

「おやすみディスプレイ」機能や画面オフボタンを利用して画面の表示や音声が消えている場合に元の状態に戻すときは、次のいずれかの操作をしてください。

- ●キーボードのキーを押す
- ●マウスを操作する
- ●パソコン本体の電源ボタンを押す
- ●キーボードのパソコン電源ボタンを押す
- ●リモコンのボタンを押す（テレビチューナー搭載機種のみ）
- ●パソコン本体上面の画面オフボタン（☒）を押す

Point

- 次の場合、画面オフボタン（☒）を押しても、画面の表示や音声は元に戻りません。
  - ・Windows にサインインしていない
  - ・Windows の省電力機能が働いている

サウンド

再生時／録音時のサウンドを調節する

このパソコンのサウンドを調節するときは、スピーカーから聞こえる音がひずまない範囲に設定・調整してください。スピーカーが故障する原因となる場合があります。

■デスクトップアプリごとに音量を調節する

デスクトップアプリは「音量ミキサー」ウィンドウでアプリごとに音量を調節できます（一部のデスクトップアプリには個別に調節できないものもあります）。

1 **音量を調節したいデスクトップアプリを起動します。**

2 **画面左下隅の を右クリックし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。**
スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせると が表示されます。

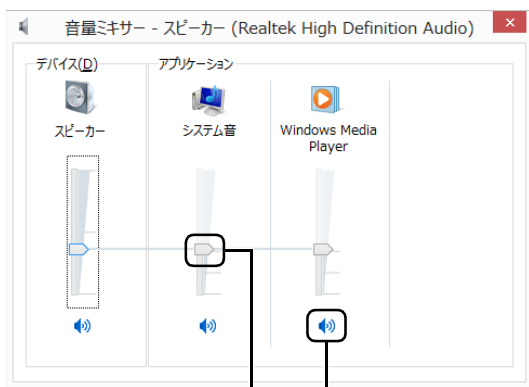
3 **「ハードウェアとサウンド」▶「サウンド」の順にクリックし、「システム音量の調整」をクリックします。**
「音量ミキサー」ウィンドウが表示されます。

4 **「アプリケーション」の一覧で、音量の設定を変更したいアプリの音量つまみを上下にドラッグして、適切な音量に調節します。**

（画面は機種や状況により異なります）

・デバイス
このパソコンのスピーカーから出る音量です。
デスクトップ画面右下の通知領域の「音量つまみ」で設定した音量と同じです。
HDMI 出力端子に接続したテレビから音を出す場合は、「HDMIデバイス」と表示されます（HDMI出力端子搭載機種のみ）。

・アプリケーション
起動しているデスクトップアプリごとに音量を調節できます。
「デバイス」に設定した音量が最大値になります。

・音量つまみ
下にドラッグすると音が小さく、上にドラッグすると音が大きくなります。

・ミュート
ここをクリックして にすると音が消えます。
もう一度クリックして にすると元の音量に戻ります。

5 **×（閉じる）をクリックします。**
「音量ミキサー」ウィンドウが閉じます。

■再生や録音する機器ごとに音量を調節する

□再生や録音する機器を選択する

このパソコンで音声を再生したり録音したりするときに、音声の出力先を選択することができます。
HDMI 出力端子に接続したデジタルテレビやディスプレイから音を出したい場合も、次の手順で再生する機器を選択してください（HDMI 出力端子搭載機種のみ）。

1 **画面左下隅の を右クリックし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。**
スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせると が表示されます。

2 **「ハードウェアとサウンド」▶「サウンド」の順にクリックします。**
「サウンド」ウィンドウが表示されます。

3 「再生」タブや「録音」タブで機器を選択し、「既定値に設定」をクリックします。

（画面は機種や状況により異なります）

選択した機器にチェックマークが付きます。

4 「OK」をクリックします。

「サウンド」ウィンドウが閉じます。

□再生する機器の音量を調節する

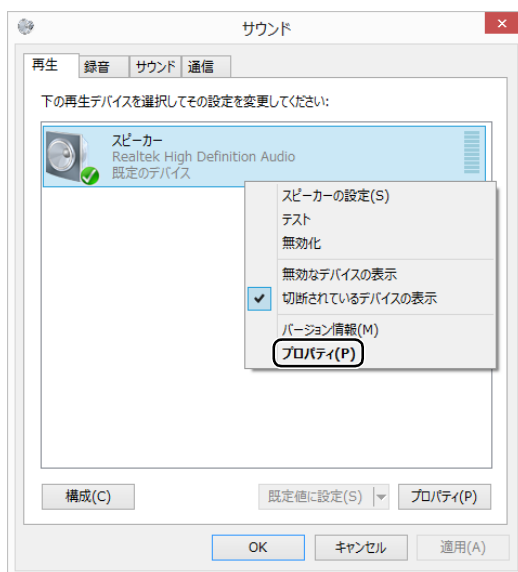
ここでは、例としてスピーカーの音量を調節する方法を説明します。

1 画面左下隅の を右クリックし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。

スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせると が表示されます。

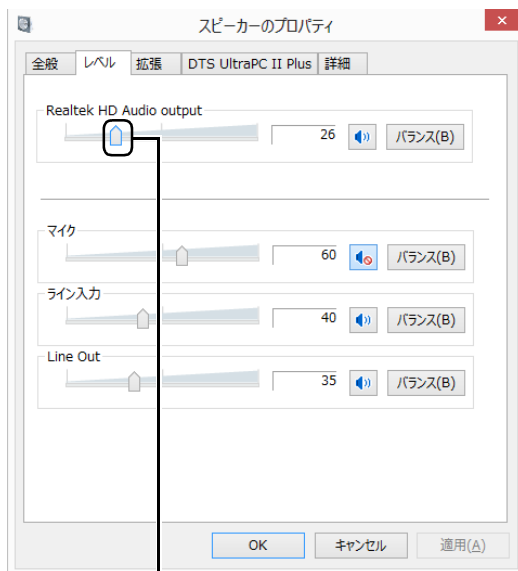
2 「ハードウェアとサウンド」▶「サウンド」の順にクリックします。

「サウンド」ウィンドウが表示されます。

3 「再生」タブの「スピーカー」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

「スピーカーのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 「レベル」タブをクリックします。

5 音量を調節したい項目で、音量つまみを左右にドラッグして、適切な音量に調節します。

・🔊：スピーカーから音が聞こえます。
・🔇：スピーカーから音が聞こえません（ミュートになっています）。
・「バランス」：左右の音量のバランスを調節できます。

6 「OK」をクリックします。
「スピーカーのプロパティ」ウィンドウが閉じます。

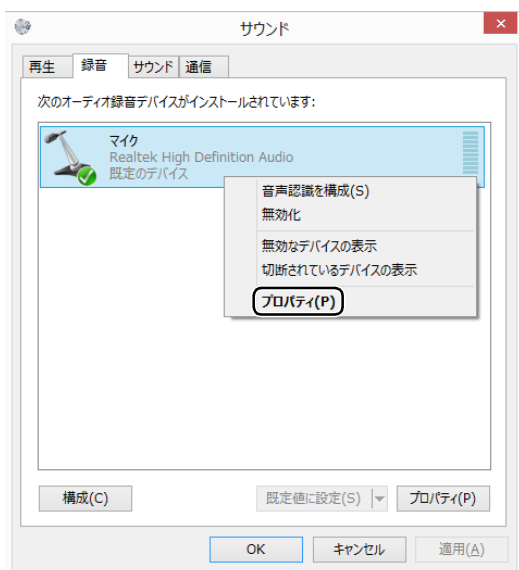
7 「OK」をクリックします。
「サウンド」ウィンドウが閉じます。

□録音する機器の音量を調節する

ここでは、例としてマイクの音量を調節する方法を説明します。

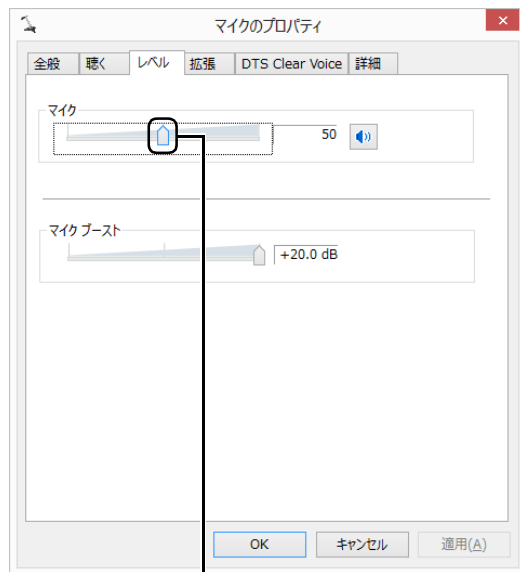
1 画面左下隅の ⊞ を右クリックし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせると ⊞ が表示されます。

2 「ハードウェアとサウンド」▶「サウンド」の順にクリックします。
「サウンド」ウィンドウが表示されます。

3 「録音」タブの「マイク」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

「マイクのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 「レベル」タブをクリックします。

5 音量を調節したい項目で、音量つまみを左右にドラッグして、適切な音量に調節します。

・🔊：スピーカーから音が聞こえます。
・🔇：スピーカーから音が聞こえません（ミュートになっています）。

6 「OK」をクリックします。
「マイクのプロパティ」ウィンドウが閉じます。

7 「OK」をクリックします。
「サウンド」ウィンドウが閉じます。

■スピーカーの音質を調節する（DTS Ultra PC Ⅱ Plus™ 搭載機種）

パソコンに内蔵されているスピーカーの音質を、より詳細に調節することで、クリアで広がりのあるサラウンド効果や、重厚感のある低音を実現します。

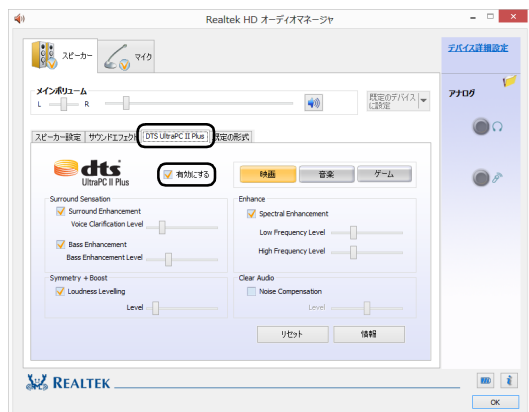
重要

▶ DTS Ultra PC Ⅱ Plus™ の音質の調節は、内蔵スピーカーとヘッドホンが対象となります。

1 画面左下隅の ⊞ を右クリックし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせると ⊞ が表示されます。

2 「ハードウェアとサウンド」▶「Realtek HD オーディオマネージャ」の順にクリックします。

「Realtek HD オーディオマネージャ」が見つからない場合は画面右のスクロールバーの⌄をクリックして、隠れている画面を表示してください。

3 「DTS UltraPC Ⅱ Plus」タブをクリックし、「有効にする」を☑にします。

（画面は機種や状況により異なります）

4 再生する音のジャンルを選択します。

再生する音のジャンルによって、「映画」「音楽」「ゲーム」のいずれかを選択します。

5 各項目を設定して、スピーカーの音質を変更します。

☑にして、つまみを左右にドラッグすると、適切なレベルに調整できます。

■Surround Sensation

・ Surround Enhancement

声の帯域信号の明瞭度を上げ、セリフなどを聞き取りやすくします。さらに、音に広がりをもたせ、音に取り巻かれるような感覚を体験できます。

・ Bass Enhancement

低域の倍音成分をコントロールし、厚みのある豊かな低音にします。

■Symmetry + Boost

・ Loudness Levelling

音源による音量差を、ある一定の音量に統一し、音源ごとの音量調整の煩わしさを低減すると共に、スピーカーの限界を超える大きな音量に達しないようにします。

■Enhance

・ Spectral Enhancement

音の大きさに応じて、音の低域成分と高域成分ごとに音質を調整し、より高音質にします。

■Clear Audio

・ Noise Compensation

周囲のノイズの大きさに合わせ、音量や音質を調整し、ノイズの中でも、音声を聞き取りやすくします。

兼用端子の機能切り替え

兼用端子搭載機種のみ

お使いの機種に搭載されている兼用端子は、複数の機能を兼用しています。必要に応じて機能の切り替えを行ってください。

オーディオの入出力端子の種類と場所については、「各部の名称と働き」（→ P.44）をご覧ください。

ご購入時の端子は次のように機能します。

●ヘッドホン・ラインアウト兼用端子：ヘッドホン

●マイク・ラインイン兼用端子：マイク入力

●マイク・ラインイン・ヘッドホン・ラインアウト・ヘッドセット兼用端子：ヘッドホン

●ヘッドホン・ラインアウト・ヘッドセット兼用端子：ヘッドホン

●ヘッドホン・ヘッドセット兼用端子：ヘッドホン

設定を変更することにより、「ライン出力」「ライン入力」「マイク入力」「ヘッドセット」として機能させることができます。

これらの設定を変更するには、次の手順を行ってください。

重要

▶ 次の兼用端子に機器を接続するときは、接続した機器の音量を小さくするか、出力を停止してください。

・マイク・ラインイン兼用端子

・マイク・ラインイン・ヘッドホン・ラインアウト・ヘッドセット兼用端子

・ヘッドホン・ラインアウト・ヘッドセット兼用端子

・ヘッドホン・ヘッドセット兼用端子

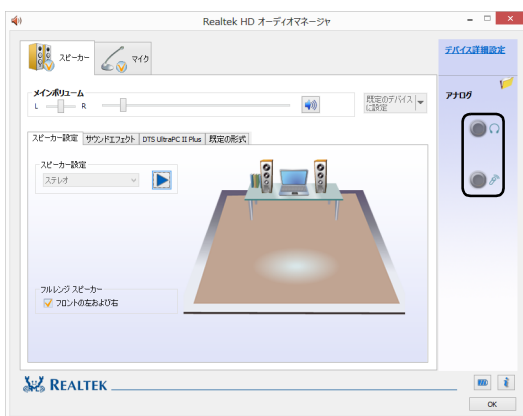
1 **機能を切り替えたい端子に外径3.5mmのミニプラグに対応した機器を接続します。**

機器を接続していないときは、切り替えられません。

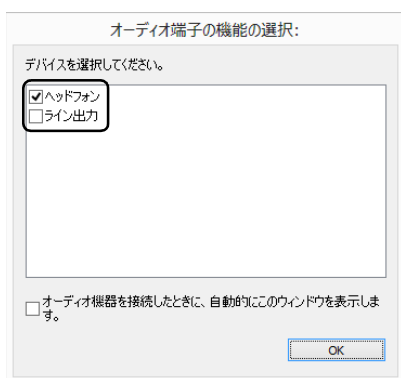
2 **画面左下隅のを右クリックし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。**

スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせるとが表示されます。

3 **「ハードウェアとサウンド」▶「Realtek HD オーディオマネージャ」の順にクリックします。**

4 **切り替えたい端子のアイコンをダブルクリックします。**

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

デバイスを選択するウィンドウが表示されます。

5 **使用するデバイスを☑にします。**

（画面はヘッドホン・ラインアウト兼用端子の設定画面です）

・「ヘッドフォン」：ヘッドホン出力として動作します。
内蔵スピーカーから音が出なくなります。

・「ライン出力」：ライン出力として動作します。
内蔵スピーカーからも音が出ます。

・「マイク入力」：マイク入力として動作します。

・「ライン入力」：ライン入力として動作します。

・「ヘッドセット」：マイク入力、およびヘッドホン出力として動作します。
内蔵スピーカーから音が出なくなります。

Point

▶ 各端子に機器を接続するとデバイスを選択するウィンドウが表示されるように設定する場合
「オーディオ端子の機能の選択：」ウィンドウで「オーディオ機器を接続したときに、自動的にこのウィンドウを表示します。」の□を☑にします。

6 **「OK」をクリックし、すべてのウィンドウを閉じます。**

通信

有線 LAN

ここでは、LAN（有線 LAN）を使うために必要となるものや LAN ケーブルの接続方法、ネットワークの設定方法について説明しています。
無線 LAN をお使いになる場合には、「無線 LAN」（→P.135）をご覧ください。

重要

- ネットワーク設定時のご注意
  TCP/IP などのネットワークの設定は、有線 LAN と無線 LAN で異なります。お使いになる状況に合わせて、必要な設定を行ってください。
- セキュリティ対策をしてください
  初めてインターネットに接続するときは必ずセキュリティ対策をしてください。
  このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性が新たに見つかったり、悪質なコンピューターウイルスが出現していたりする可能性があります。初めてインターネットに接続する場合は、マニュアルの手順に従って、パソコンを最新の状態にし、セキュリティ対策を行ってください。

■必要なものを用意する

LAN を利用してインターネットに接続するには、次のような機器が必要です。

●ネットワーク機器

ネットワーク接続の目的に合わせて、このパソコンで使える LAN のスピードを確認してから必要なものをご用意ください。ネットワーク機器には次のようなものがあります。

・ダイヤルアップルーター
・ブロードバンドルーター
・ブロードバンドモデム
・ハブ

●LAN ケーブル

ストレートタイプとクロスタイプがあります。また、お使いになるネットワークのスピードに合ったものが必要です。接続するネットワーク機器のマニュアルをご覧になり、必要なものをご用意ください。

●ネットワーク機器のマニュアル

お使いになるネットワーク機器によって、接続や設定の方法が異なります。必ずネットワーク機器のマニュアルや、プロバイダーや回線事業者から提供されるマニュアルもご覧ください。

■LAN ケーブルを接続する

⚠警告

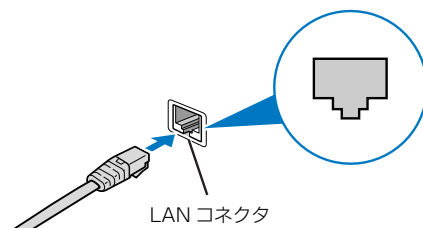
- 雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
  落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
  落雷による感電、火災の原因となります。

⚠注意

- LAN コネクタに指などを入れないでください。
  感電の原因となることがあります。

- LAN ケーブルを接続する場合は、必ず LAN コネクタに接続してください。
  接続するコネクタを間違えると、故障の原因となることがあります。

1 **パソコン本体の電源を切ります。**
電源プラグをコンセントから抜きます。

2 **LAN コネクタに、LAN ケーブルの一方を接続し、もう一方を、お使いになるネットワーク機器のコネクタに接続します。**

LAN ケーブルをコネクタの向きに合わせてしっかり差し込みます。

3 ネットワーク機器の電源を入れます。

4 パソコン本体の電源ケーブルをコンセントに差します。

5 パソコン本体の電源を入れます。

Point

- スリープ／休止状態の解除をお勧めします
  LAN 機能を使ってネットワーク（インターネットなど）に接続中は、スリープや休止状態にしないことをお勧めします。お使いの環境によっては、ネットワーク（インターネットなど）への接続が正常に行われない場合があります。
  なお、ご購入時の状態では、一定時間パソコンを操作しないとスリープになるよう設定されていますので、前述のような不都合がある場合には、「スリープ／休止状態の設定変更」（→ P.145）をご覧になり、自動的にスリープにしない設定に変更してください。
- LAN ケーブルを取り外すときは
  LAN コネクタから LAN ケーブルを取り外すときは、プラグのツメを押さえながら引き抜いてください。ツメを押さえずに無理に引き抜くと破損の原因となります。

続いてネットワークの設定をします。

■ネットワークの設定をする

ネットワークへは、「TCP/IP の設定」と「フルコンピューター名とワークグループの確認」を行うことにより接続することができます。

□TCP/IP の設定

Point

- TCP/IP の設定を変更する場合は、Windows に管理者アカウントでサインインしてください。

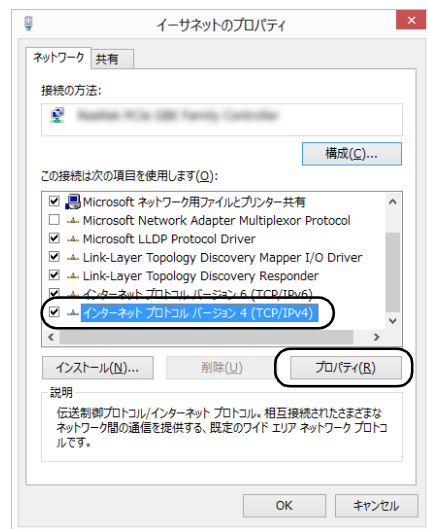
1 画面左下隅の をクリックし、表示されたメニューから「ネットワーク接続」をクリックします。
スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせると が表示されます。
ネットワーク接続の一覧が表示されます。

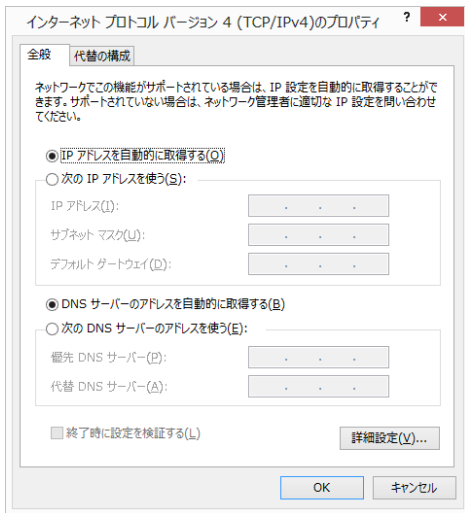
2 一覧から「イーサネット」を右クリックし、表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。

3 「接続の方法」が次の名称であることを確認します。
「Realtek PCIe GBE Family Controller」

Point

- 「接続の方法」が上記以外の場合は、「キャンセル」をクリックし、別の接続を選択してください。

4 「この接続は次の項目を使用します」の一覧から、「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。

他のプロトコルのネットワークに接続する場合は、お使いのネットワークにあわせて設定してください。

5 IP アドレスの設定をします。

■ネットワーク上にブロードバンドルーターなどの DHCP サーバーがある場合

1.「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が◉になっていることを確認します。
◯になっている場合は、◯をクリックして◉にします。

■ネットワーク上に DHCP サーバーがない場合

1.「次の IP アドレスを使う」の◯をクリックして◉にします。
2.「IP アドレス」に IP アドレスを入力します。
例：192.168.0.1
3.「サブネットマスク」にサブネットマスクを入力します。
例：255.255.255.0

Point

- IP アドレスの重複にご注意ください
パソコン本体のIPアドレスをブロードバンドモデムやルーター、お使いのネットワーク上にある他のパソコンやタブレットと重複しないように設定してください。IPアドレスが重複すると、ネットワークによる通信ができません。

6「OK」をクリックします。

7「OK」をクリックします。

8 画面右上の × をクリックし、表示されているすべてのウィンドウを閉じます。

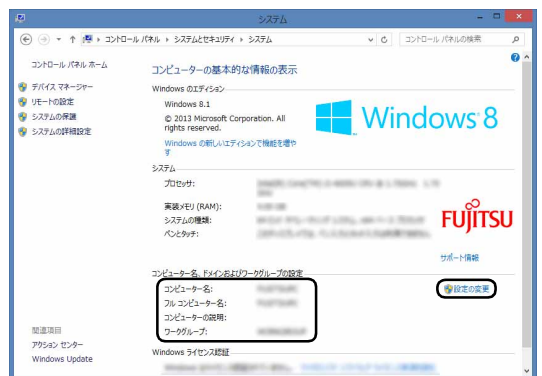
続いて、フルコンピューター名、ワークグループを確認します。

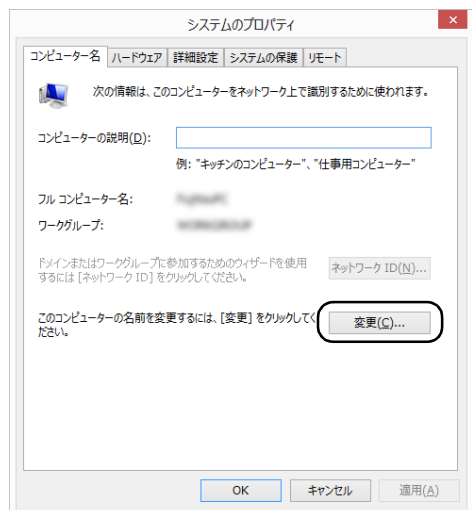
□フルコンピューター名とワークグループの確認

Point

- フルコンピューター名、ワークグループを変更する場合は、管理者アカウントでサインインしてください。

1 画面左下隅の ⊞ を右クリックし、表示されたメニューから「システム」をクリックします。
スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせると ⊞ が表示されます。

2「コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定」の「フルコンピューター名」、「ワークグループ」を確認します。変更する場合は「設定の変更」をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

3「システムのプロパティ」ウィンドウで「変更」をクリックして、「フルコンピューター名」または「ワークグループ」を変更します。

■フルコンピューター名

ネットワーク上で、パソコンやタブレットを識別するための名前です。設定するときは、他のパソコンやタブレットと重複しないように、半角英数字 15 文字以内で名前を付けてください。機種名やパソコンやタブレットの使用者名などをフルコンピューター名に設定すると、識別しやすくなります。

■ワークグループ

ネットワークにつながったパソコンやタブレットの集まりを表します。複数のパソコンやタブレットに共通のワークグループの名前を付けると、同じネットワークにつながっている「仲間」として、ネットワーク上でファイルやプリンターの共有が行えます。

ワークグループは、半角英数字 15 文字以内で好きな名前を付けることができます。通常、ネットワークを組むときは、各パソコンやタブレットに同じワークグループを設定してください。

4 「OK」をクリックします。

再起動を確認するメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。

無線 LAN

無線 LAN 搭載機種のみ

無線 LAN でインターネットに接続する方法については、「インターネットに接続する」（→ P.161）をご覧ください。

■無線 LAN をお使いになるうえでの注意

ここでは、無線 LAN をお使いになるうえで注意していただきたいことについて説明しています。

□無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関する注意

重要

- お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンやタブレットなどと無線 LAN アクセスポイント（ワイヤレス LAN ステーション、ワイヤレスブロードバンドルーターなど）間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

・ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報

・メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）

・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）

・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

・コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN アクセスポイントやパソコンに搭載されている無線 LAN は、これらの問題に対応するためのセキュリティのしくみをもっています。

そのため、別途ご購入された無線 LAN アクセスポイントなどの無線 LAN 製品の、セキュリティに関する設定を正しく行うことで、これらの問題が発生する可能性を少なくすることができます。

しかし、無線 LAN アクセスポイントなどの無線 LAN 製品は、ご購入時の状態ではセキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

上記のようなセキュリティ問題が発生する可能性を少なくするためには、無線 LAN アクセスポイントなどの無線 LAN 製品に添付されている取扱説明書に従い、これらの製品のセキュリティに関するすべての設定を必ず行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

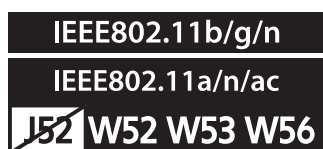
セキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

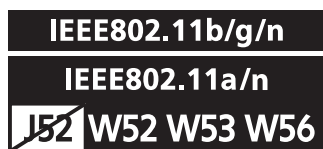
当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。
セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

□5GHz 帯のチャンネル（周波数帯）の種類

5GHz 帯を利用した無線 LAN には、W52、W53、W56 という 3 種類のチャンネル（周波数帯）があります。これは、2007 年 1 月 31 日および 2005 年 5 月 16 日に総務省により発表された「電波法施行規則の一部を改正する省令」により、5GHz 帯のチャンネル（周波数帯）の変更と、新チャンネルの追加が行われたためです。

●IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠

IEEE802.11b/g/n
IEEE802.11a/n/ac
J52 W52 W53 W56

●IEEE 802.11a/b/g/n 準拠

IEEE802.11b/g/n
IEEE802.11a/n
J52 W52 W53 W56

▸ IEEE 802.11n では、2.4GHz/5GHz 両方の周波数帯のチャンネルを使用します。

□電波放射の環境への影響

●このパソコンは、他の高周波デバイス同様に、高周波エネルギーを放出していますが、このパソコンが放出するエネルギーのレベルは、例えば携帯電話のような無線デバイスが放出する電磁エネルギーよりはるかに低く抑えられています。
●このパソコンは、高周波安全基準および勧告のガイドライン内で動作するため、本製品の使用者に対し、安全性を確信しています。本基準および勧告は、科学界の統一見解を反映しており、研究班の審議および広範な研究文献を継続的に調査し解釈する科学者たちの委員会を根本としています。
●ある状況や環境において、このパソコンの使用は、建物の所有者や団体の責任ある代表者により制限されることがあります。例えば、下記にあげる場合です。
  ・他のデバイスやサービスに対し干渉の危険がある環境での使用
●特定の団体や環境（例えば空港）で無線デバイスの使用に適用される方針が明確にわからない場合は、機器の電源を入れる前に本製品の使用許可について問い合わせをしてください。

□電波放射の人体への影響

このパソコンから放射される出力パワーは、例えば携帯電話が放射する電波のレベルよりはるかに低くなっています。それでも、このパソコンは、通常の動作中に人間の接触に対し電位が最小限にとどめられるように使用されなくてはなりません。使用中はこのパソコンのアンテナ部分に極力触れないでください。
無線 LAN アンテナの場所については、「各部の名称と働き」（→ P.44）をご覧ください。

□無線 LAN による通信を行うための注意

●電波法の定めによりW56のチャンネルは屋外でご利用になれますが、W52、W53 のチャンネルは屋外でご利用になれません。このパソコンに内蔵の無線 LAN を 5GHz 帯でご使用になる場合、特定のチャンネルの電波の発信を停止することはできないため、屋外ではご利用になれません。
●このパソコンは、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
●航空機内での使用は、各航空会社に事前にご確認ください。
●IEEE 802.11gとIEEE 802.11bが混在する環境では、IEEE 802.11g は IEEE 802.11b との互換性をとるため、IEEE 802.11g 本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g と IEEE 802.11b を別の無線 LAN ネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を５チャンネル以上空けてお使いください。

●このパソコンの使用中、特に無線 LAN で通信中はアンテナ部分に極力触れないでください。通信性能が低下する場合があります。

また、このパソコンを設置する場合には、周囲が金属などの導体（電気を通しやすいもの）でできている場所を避けてください。通信性能が低下し、設置環境によっては通信できなくなることがあります。

無線 LAN アンテナの場所については、「各部の名称と働き」（→ P.44）をご覧ください。

●このマニュアルに従わずに設定したり使用したりすると、無線通信に有害な干渉を生じることがあります。

●このパソコンがラジオ、テレビの受信機に有害な干渉を与える原因となっている場合は（このパソコンの電源を入／切することで原因となっているかが判別できます）、次の方法で干渉を取り除くようにしてください。

・このパソコンと受信機の距離を離す
・受信機を接続しているコンセントと別系統回路のコンセントにこのパソコンを接続する
・経験のあるラジオ／テレビ技術者に相談する

●このパソコンの不正な改造は行わないでください。不正な改造により発生した、ラジオやテレビへの干渉についての責任は負いません。

●近くに他のチャンネルを使用している無線 LAN 機器がある場合、干渉により本来の性能が出ない場合があります。この場合、他のチャンネルを使用している無線 LAN 機器と使用しているチャンネルの間隔を空けるように変更して、干渉の影響が最小となるチャンネルでお使いください。それでも解決しない場合は、他のチャンネルを使用している無線 LAN 機器から3m以上離して干渉の影響が最小となる場所でお使いください。

□良好な通信を行うために

●パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、次のとおりです。

無線 LAN の種類 [注]	推奨する最大通信距離
IEEE 802.11a 準拠	見通し半径 15m 以内
IEEE 802.11b、IEEE 802.11g 準拠	見通し半径 25m 以内
IEEE 802.11n、IEEE 802.11ac 準拠	見通し半径 50m 以内

注　お使いの機種により搭載されていない種類もあります。

ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、アプリ、設置状況、電波状況などの使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。

●パソコン本体は、他の電気機器から離して設置してください。パソコン本体と電源が入った電気機器を近づけていると、正常に通信できなかったり、電気機器の障害になったりすることがあります。正常に通信できない場合は、使用するチャンネルや使用場所を変更してください。特に、電子レンジなどの強い高周波エネルギーを出す機器の使用時は、影響を受けやすく、正常に通信できないことがあります。

●放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、パソコン本体の設置場所を変えてみてください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。

●このパソコンの無線 LAN は、Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器と同じ周波数帯（2.4GHz 帯）を使用するため、パソコン本体の近辺で Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器を使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。

- Bluetoothワイヤレステクノロジー機器との電波干渉を防ぐには、次の対策を行うと、電波の干渉を防ぐことができる場合があります。
  - ・Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器とパソコン本体との間は 10m 以上離して使用する。
  - ・Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器の電源を切るか、電波を停止する。
    Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器のマニュアルをご覧になり、電源を切るか、電波を停止してください（単独で電源を切れないものを除く）。
  - ・無線 LAN の 5GHz 帯を利用する（ただし利用できるのは屋内のみ）。
- 5GHz 帯チャンネルの W53（52 ～ 64ch）、W56（100 ～ 140ch）では、無線 LAN アクセスポイントの DFS 機能が作動した場合、W53/W56 の通信はいったん切断されます。DFS 機能により、その無線 LAN アクセスポイントが再起動した場合は、W53/W56 以外のすべての通信もいったん切断されます。

■無線 LAN の仕様（IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠）

項目	仕様 [注 1]
ネットワークの種類	IEEE 802.11a準拠、IEEE 802.11b準拠、IEEE 802.11g準拠、IEEE 802.11n準拠、IEEE 802.11ac準拠（5GHz 帯のチャンネルは W52/W53/W56 です）（Wi-Fi® 準拠）[注 2]
転送レート	IEEE 802.11b 準拠：11 ～ 1Mbps（自動切り替え） IEEE 802.11a 準拠、IEEE 802.11g 準拠：54 ～ 6Mbps（自動切り替え） IEEE 802.11n 準拠：300 ～ 6Mbps（自動切り替え、HT20/40 対応）[注 3] [注 4] IEEE 802.11ac 準拠：867 ～ 6Mbps（自動切り替え、VHT20/40/80 対応）[注 5] [注 6]
使用周波数	2,400MHz ～ 2,483.5MHz 5,150MHz ～ 5,340MHz 5,460MHz ～ 5,740MHz
チャンネル [注 8]	IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠：1 ～ 13ch IEEE 802.11a 準拠：W52（36/40/44/48ch）/W53（52/56/60/64ch）/W56（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch） IEEE 802.11n 準拠： 2.4GHz モード 1 ～ 13ch 5GHz モード W52（36/40/44/48ch）/W53（52/56/60/64ch）/W56（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch） IEEE 802.11ac 準拠：W52（36/40/44/48ch）/W53（52/56/60/64ch）/W56（100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch）
セキュリティ [注 9]	SSID（ネットワーク名） WEP（セキュリティキー（WEP キー）：64/128 ビット）[注 7] WPA- パーソナル（WPA-PSK）（TKIP/AES） WPA2- パーソナル（WPA2-PSK）（TKIP/AES） WPA- エンタープライズ（WPA）（TLS/PEAP）（TKIP/AES） WPA2- エンタープライズ（WPA2）（TLS/PEAP）（TKIP/AES） IEEE 802.1X（TLS/PEAP）

注 1　アドホック通信には対応していません。

注 2　Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示します。

注 3　IEEE 802.11n では HT20/40 に対応しています。HT40 を利用するには、無線 LAN アクセスポイントも HT40 に対応している必要があります。

注 4　IEEE 802.11n を使用するときの無線 LAN アクセスポイントの設定で、HT40 の機能を有効にする場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、ただちに HT40 の機能を無効にしてください。

注 5　IEEE 802.11ac では VHT20/40/80 に対応しています。VHT80 を利用するには、無線 LAN アクセスポイントも VHT80 に対応している必要があります。

注 6　IEEE 802.11ac を使用するときの無線 LAN アクセスポイントの設定で、VHT40/80 の機能を有効にする場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、ただちに VHT40/80 の機能を無効にしてください。

注 7　WEP による暗号化は上記ビット数で行いますが、ユーザーが設定可能なビット数は固定長 24 ビットを引いた 40 ビット / 104 ビットです。

注 8　このパソコンに搭載されている無線 LAN の IEEE 802.11b では、無線チャンネルとしてチャンネル 1 ～ 13 を使用しています。無線 LAN アクセスポイントのチャンネルを、1 ～ 13 の間で設定してください。設定方法については、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

注 9　IEEE 802.11n、IEEE 802.11ac で接続するためには、パスフレーズ（PSK）を AES に設定する必要があります。

Bluetooth ワイヤレステクノロジー

ここでは、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使用する方法について説明しています。

■Bluetooth ワイヤレステクノロジーとは

Bluetooth ワイヤレステクノロジーとは、ヘッドセットやモデム、携帯電話などの周辺機器や他の Bluetooth ワイヤレステクノロジー搭載のパソコンやタブレットなどに、ケーブルを使わず電波で接続できる技術です。

重要

- Bluetoothワイヤレステクノロジーをお使いになる場合は、セキュリティの設定をすることをお勧めします。
  セキュリティの設定をしないと、通信内容を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりする危険があります。

■Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使うための設定をする

パソコンと Bluetooth ワイヤレステクノロジー対応機器を接続するためには、「Bluetooth デバイスの管理」を使用します。

1. マウスポインターを右上隅に合わせて「チャーム」を表示し、(設定)をクリックします。
   『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』
2. 「設定チャーム」から「PC 設定の変更」▶「PC とデバイス」▶「Bluetooth」の順にクリックします。
   「Bluetooth デバイスの管理」の画面が表示されます。

Point

- Bluetoothワイヤレステクノロジー機器のマニュアルもあわせてご覧ください。それらのマニュアルに設定方法が記載されている場合は、そちらの手順に従って設定してください。

■Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特長

このパソコンの Bluetooth ワイヤレステクノロジーの主な特長は、次のとおりです。
なお、すべての Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器に接続可能なことを保証するものではありません。

- ●出力 Class2、Bluetooth v4.0 + HS に準拠しています。Bluetooth v4.0 + HS およびそれ以前の規格に準拠した機器と接続が可能です。
- ●最大通信速度は 24Mbps(Bluetooth v4.0 + HS の理論上の最大値)です。ただし、実際の通信速度はお使いの環境により異なります。

■必要なものを用意する

- ●Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器
  Bluetooth ワイヤレステクノロジーを利用してパソコンと接続する機器です。お使いのパソコンに搭載されている Bluetooth ワイヤレステクノロジーの規格に対応したものをご用意ください。なお、Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器には次のようなものがあります。お使いになる目的に応じてご用意ください。
  ・キーボード
  ・マウス
  ・プリンター
  ・ヘッドセット
  ・携帯電話
- ●Bluetoothワイヤレステクノロジー機器のマニュアル
  お使いになる Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器によって設定方法が異なる場合があります。必ず Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器のマニュアルもご覧ください。

重要

- ペアリングコード(PIN またはパスコード)について
  パソコンと Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器の接続(ペアリング)設定をするときには、機器によっては「ペアリングコード(PIN またはパスコード)」が必要になる場合があります。「ペアリングコード(PIN またはパスコード)」については、後述の「Windows ヘルプとサポート」および Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器のマニュアルをご覧ください。

▸ プロファイルについて
Bluetooth ワイヤレステクノロジーには「プロファイル」という仕様があり、同じプロファイルをもつBluetoothワイヤレステクノロジー機器どうしを接続し、そのプロファイルの機能を使用することができます。
このパソコンには、このパソコンがサポートしているプロファイルに対応したBluetoothワイヤレステクノロジー機器を使用することができます。このパソコンがサポートしているプロファイルは次のとおりです。
・HID、HCRP、DUN、SPP、OPP、PAN、A2DP、AVRCP、HSP、HFP、FTP、BIP、HOGP

■Bluetooth ワイヤレステクノロジーをお使いになるうえでの注意

ここでは、Bluetooth ワイヤレステクノロジーをお使いになるうえで注意していただきたいことについて説明しています。

□Bluetooth ワイヤレステクノロジーご使用時におけるセキュリティに関する注意

重要

▸ お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーでは、電波を利用して周辺機器や他のパソコンやタブレットとの間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード、その他の個人情報などの通信内容を盗み見る可能性があります。

●不正に使用される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内の周辺機器やパソコンへアクセスし、次の行為をされてしまうおそれがあります。
・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
・コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

このパソコンおよび一部の周辺機器や他のパソコンやタブレットに内蔵されている Bluetooth ワイヤレステクノロジーは、これらの問題に対応するためのセキュリティのしくみをもっています。
そのため、別途ご購入された Bluetooth ワイヤレステクノロジー搭載の周辺機器や他のパソコンやタブレットがセキュリティのしくみをもっている場合、セキュリティに関する設定を正しく行うことで、これらの問題が発生する可能性を少なくすることができます。しかし、Bluetooth ワイヤレステクノロジー内蔵の周辺機器や他のパソコンやタブレットは、ご購入時の状態ではセキュリティに関する設定が施されていない場合があります。上記のようなセキュリティ問題が発生する可能性を少なくするためには、周辺機器や他のパソコンやタブレットに添付されている取扱説明書に従い、これらの製品のセキュリティに関するすべての設定を必ず行ってください。
なお、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
セキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」までお問い合わせください。
当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。
セキュリティ対策を施さず、あるいは、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

□Bluetooth ワイヤレステクノロジーによる通信を行うための注意

●このパソコンのBluetoothワイヤレステクノロジー用アンテナは、パソコン本体に内蔵されています。このパソコンの使用中、特に Bluetooth ワイヤレステクノロジーの通信中はアンテナ部分に極力触れないでください。通信性能が低下する場合があります。また、パソコン本体を設置する場合には、周囲が金属などの導体（電気を通しやすいもの）でできている場所を避けてください。通信性能が低下し、設置環境によっては通信できなくなることがあります。
Bluetooth ワイヤレステクノロジー用アンテナの場所については、「各部の名称と働き」（→ P.44）をご覧ください。

●パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、見通し半径 10m 以内（出力 Class2 の最大値）です。
ただし、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、アプリ、設置状況、電波状況などの使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。

●パソコン本体は、他の電気機器から離して設置してください。パソコン本体と電源が入った電気機器を近づけていると、正常に通信できなかったり、電気機器の障害になったりすることがあります。正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。特に、電子レンジなどの強い高周波エネルギーを出す機器の使用時は、影響を受けやすく、正常に通信できないことがあります。

●放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、パソコン本体の設置場所を変えてみてください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。

●Bluetooth ワイヤレステクノロジーは IEEE 802.11b、IEEE 802.11g や IEEE 802.11n の 2.4GHz 帯規格の無線 LAN と同じ周波数帯の電波を使用します。そのため、ご使用の状態によっては無線 LAN と Bluetooth ワイヤレステクノロジーの電波が干渉し、他のパソコンやタブレットなどとの通信速度が低下したり、Bluetooth ワイヤレステクノロジーで接続したワイヤレスヘッドホンなどの音質が悪くなったりする場合があります。

●無線 LAN 機器との電波干渉を防ぐには、次の対策を行うと、電波の干渉を防ぐことができる場合があります。
・無線 LAN 機器とパソコン本体との間は 10m 以上離して使用する。
・無線 LAN 機器の電源を切る。
・無線 LAN 機器の電波を停止する。
・無線 LAN の 5GHz 帯を利用する（ただし利用できるのは屋内のみ）。

●このパソコンに USB アダプタ型などの他の Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器を取り付けて、同時に使用しないでください。

□電波放射の環境への影響

●このパソコンは、他の高周波デバイス同様に、高周波エネルギーを放出していますが、このパソコンが放出するエネルギーのレベルは、例えば携帯電話のような無線デバイスが放出する電磁エネルギーよりはるかに低く抑えられています。

●このパソコンは、高周波安全基準および勧告のガイドライン内で動作するため、このパソコンの使用者に対し、安全性を確信しています。本基準および勧告は、科学界の統一見解を反映しており、研究班の審議および広範な研究文献を継続的に調査し解釈する科学者たちの委員会を根本としています。

●ある状況や環境において、このパソコンの使用は、建物の所有者や団体の責任ある代表者により制限されることがあります。例えば、下記にあげる場合です。
・他のデバイスやサービスに対し干渉の危険がある環境での使用

●特定の団体や環境（例えば空港）で無線デバイスの使用に適用される方針が明確にわからない場合は、機器の電源を入れる前にこのパソコンの使用許可について問い合わせをしてください。

□電波放射の人体への影響

●このパソコンから放射される出力パワーは、例えば携帯電話が放射する電波のレベルよりはるかに低くなっています。それでも、このパソコンは、通常の動作中に人間の接触に対し電位が最小限にとどめられるように使用されなくてはなりません。使用中はこのパソコンのアンテナ部分に極力触れないでください。

□干渉に関する注意

●このマニュアルに従わずに設定したり使用したりすると、無線通信に有害な干渉を生じることがあります。
●このパソコンがラジオ、テレビの受信機に有害な干渉を与える原因となっている場合は（このパソコンの電源を入／切することで原因となっているかが判別できます）、次の方法で干渉を取り除くようにしてください。
　・パソコン本体と受信機の距離を離す
　・受信機を接続しているコンセントと別系統回路のコンセントにこのパソコンを接続する
　・経験のあるラジオ／テレビ技術者に相談する
●このパソコンの不正な改造は行わないでください。不正な改造により発生した、ラジオやテレビへの干渉についての責任を負いません。

スリープ／休止状態

Windows の省電力機能を使用すると、パソコンを待機状態にしているときに消費電力を抑えることができます。ここでは、省電力機能のうち、「スリープ」と「休止状態」について説明しています。

Point

- ご購入時は「スリープ（ハイブリッドスリープが有効）」に設定されています。この状態では、休止状態にすることはできません。休止状態にするには、ハイブリッドスリープを無効にしてください。
  1. 画面左下隅の ■ を右クリックし、表示されたメニューから「電源オプション」をクリックします。
  2. 選択したプランの「プラン設定の変更」をクリックします。
  3. 「詳細な電源設定の変更」をクリックします。
  4. 「スリープ」▶「ハイブリッドスリープを許可する」の順にダブルクリックし、「設定」を「オフ」にします。
  5. 「OK」をクリックします。

スリープ／休止状態とは

ご購入時の設定では、一定時間パソコンを操作しないと、自動的にスリープになるように設定されています。手動でスリープにする操作については、「スリープにする／復帰させる」（→ P.55）をご覧ください。

■スリープ（ハイブリッドスリープが有効）

作業中のデータなどをメモリとハードディスクに保存してパソコンを待機状態にすることです。
スリープ中に電源が切れた場合は、ハードディスクからデータを読み出します。そのため、電源プラグがコンセントから抜けても、元の状態に復旧することができます。

■スリープ（ハイブリッドスリープが無効）

作業中のデータなどをメモリに保存してパソコンを待機状態にすることです。そのため、電源プラグがコンセントから抜けると、元の状態に復旧することができません。

■休止状態

作業中のデータなどをハードディスクに保存して、パソコン本体の電源を切ることです。そのため、電源プラグがコンセントから抜けても、元の状態に復旧することができます。

スリープに比べると、待機状態にしたり復帰（レジューム）したりするための時間は長くなりますが、消費電力は削減されます。

□休止状態にする

1 マウスポインターを画面の右上隅に合わせて「チャーム」を表示し、(設定) をクリックします。

『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

2 「電源」▶「休止状態」の順にクリックします。

ディスプレイの表示が消え休止状態になります。

Point

- 「休止状態」が表示されていない場合は、次の手順で設定を変更してください。
  1. 画面左下隅の を右クリックし、表示されたメニューから「電源オプション」をクリックします。
     スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせると が表示されます。
  2. 「電源オプション」ウィンドウが表示されたら、左側にある「スリープ解除時のパスワード保護」をクリックします。
  3. 「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックします。
  4. ウィンドウの下部にある「休止状態」の□をクリックして☑にします。
  5. 「変更の保存」をクリックします。
  6. 「電源オプション」ウィンドウを閉じます。
- 電源ボタンを押したときに休止状態に切り替わるように設定を変更することができます（→P.145）。

スリープ／休止状態にするうえでの注意

- パソコンをお使いの状況によっては、スリープや休止、復帰（レジューム）に時間がかかる場合があります。
- スリープや休止状態にした後、すぐに復帰（レジューム）しないでください。必ず、10 秒以上たってから復帰（レジューム）するようにしてください。また、再度スリープや休止状態にする場合は、復帰（レジューム）させた後、必ず 10 秒以上たってから、スリープや休止状態にするようにしてください。
- スリープや休止状態に移行するまでの間、USB マウスや USB キーボードなどの周辺機器を操作しないでください。復帰（レジューム）した後、周辺機器を正しく認識しなくなることがあります。
- 接続している周辺機器のドライバーが正しくインストールされていない場合、スリープや休止状態にならないことがあります。
- スリープや休止状態、復帰（レジューム）のときに、画面に一瞬ノイズが発生する場合がありますが、故障ではありません。
- スリープ中は、周辺機器の取り付け／取り外しをしないでください。
- 周辺機器を接続した状態で休止状態にすると、復帰（レジューム）するときに周辺機器の情報が初期化されるため、休止状態にする前の作業状態に戻らないことがあります。
- ネットワークの設定によっては、スリープ中に DHCP サーバーから割り当てられた IP アドレスの有効期限が切れると、パソコン本体がスリープから元の状態に戻ることがあります。
  この場合は、IP アドレスの有効期間を延長するか、DHCPの使用を中止して固定IPをお使いください。
- 次の場合は、自動的にスリープや休止状態になりません。
  - ・DVD-VIDEO などの動画再生時
  - ・テレビ機能をお使いの場合（テレビチューナー搭載機種のみ）
- 次の場合は、スリープや休止状態にしないでください。
  - ・Windows の起動処理中または終了処理中
  - ・パソコンが何か処理をしている最中（プリンター出力中など）、および処理完了直後
  - ・ハードディスクにアクセス中
  - ・オートラン CD-ROM/DVD-ROM（セットすると自動で始まる CD-ROM/DVD-ROM）を使用中

・ビデオ CD や Blu-ray Disc（Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ）、DVD-VIDEO などを再生中
・音楽 CD やゲームソフトなどのサウンドを再生中
・ディスクにデータを書き込みまたは書き換え中
・ドライバーのインストールが必要な周辺機器を取り付けて、ドライバーをインストールしているとき
・マルチモニター機能を使用中
・ネットワークに接続して通信中
・デジタルテレビに表示しているとき
・マウスの操作中
・LAN 機能を使ってネットワーク（インターネットなど）に接続中

スリープ／休止状態の設定変更

ディスクにデータを書き込むときや、LAN を使用するときなど、必要に応じて設定を変更してください。

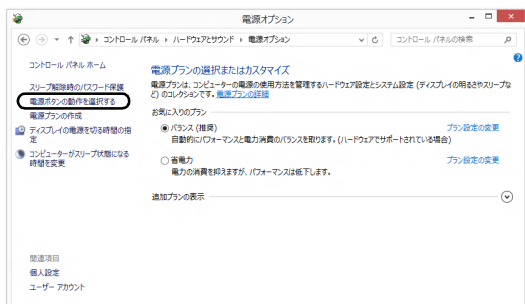
■電源ボタンを押したときの省電力機能を変更する

□ご購入時の設定

●電源ボタンを押す
　電源を切る

□設定を変更する

1 画面左下隅の を右クリックし、表示されたメニューから「電源オプション」をクリックします。
スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせると が表示されます。

2 「電源オプション」ウィンドウが表示されたら、「電源ボタンの動作の選択をする」をクリックします。

・電源ボタンの動作の選択
電源ボタンを押したときの省電力機能を変更する場合、クリックします。

3 必要に応じて電源ボタンの項目を変更します。

（画面は機種や状況より異なります）

▶ パソコンがスリープから復帰（レジューム）するとき、あらかじめ Windows に設定してあるパスワードの入力を必要とすることで、このパソコンのセキュリティを高めることができます。
1.「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックします。
2.「パスワードを必要とする（推奨）」の左の○をクリックして◉にします。

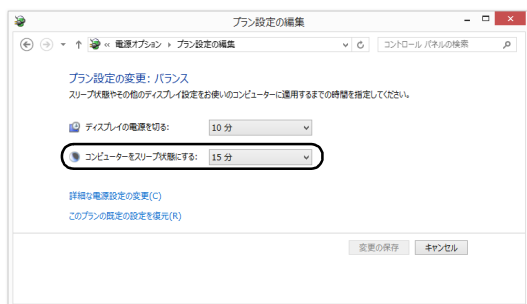
4 「変更の保存」をクリックします。

■スリープになるまでの時間を変更する

1 画面左下隅の を右クリックし、表示されたメニューから「電源オプション」をクリックします。
スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせると が表示されます。

2 「電源オプション」ウィンドウが表示されたら、左側の「コンピューターがスリープ状態になる時間を変更」をクリックします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

3 「コンピューターをスリープ状態にする」の設定を変更します。

4 「変更の保存」をクリックします。

- 設定を元に戻す

  変更した設定は次の手順で元に戻すことができます。

  1. 「電源オプション」ウィンドウ左側の「コンピューターがスリープ状態になる時間を変更」をクリックします。
  2. 「このプランの既定の設定を復元」をクリックします。
  3. 「はい」をクリックします。
  4. × をクリックします。

電源プラン

パソコンの利用状況に応じた設定に変更することで、消費電力を抑えることができます。

ご購入時は次の3つの電源プランが用意されています。

●バランス

ハードウェアでサポートされている場合に、自動的にパフォーマンスと消費電力のバランスをとります。

●省電力

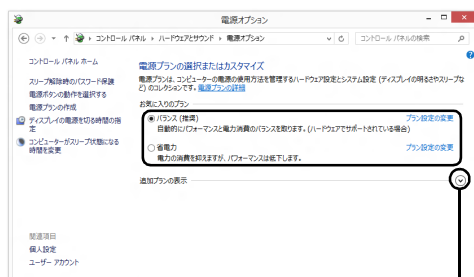
可能な限りコンピューターのパフォーマンスを低下させ、消費電力を抑えます。

●高パフォーマンス

パフォーマンスを優先しますが、消費電力が増える可能性があります。

1 画面左下隅の を右クリックし、表示されたメニューから「電源オプション」をクリックします。

スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせると が表示されます。

2 お使いになる状況に適した電源プランの◯をクリックして◉にします。

「高パフォーマンス」を選択する場合は、「追加プランの表示」の をクリックして「高パフォーマンス」を表示させます。

（画面は機種や状況により異なります）

3 × をクリックします。

なお、各電源プランにある「プラン設定の変更」をクリックすると、各電源プランの設定を変更することができます。

パソコンの節電

省電力モード

一部の機能の使用を制限することで、パソコン本体の動作を中断させずに、消費電力を抑えることができます。
詳しくは、「ステータスパネルスイッチ」（→ P.97）をご覧ください。

アプリ

このパソコンには、あらかじめたくさんのアプリがインストールされています。
一度削除したアプリをもう一度使いたいときや、アプリの動作がおかしくなったとき、アプリをインストールし直すことができます。
Windows 8.1 には、Windows 8.1 のスタート画面で動作する Windows ストア アプリと、デスクトップ画面で動作するデスクトップアプリの2種類があります。

Windows ストア アプリ

Windows 8.1 専用のアプリです。

■インストール

ストアからインストールします。ストアの利用にはMicrosoftアカウントでサインインする必要があります。

1. スタート画面で「ストア」をクリックします。
   ジャンルごとにアプリが表示されます。
2. インストールしたいアプリをクリックします。
   インストールしたいアプリが見つからない場合は、画面下のスクロールバーの を数回クリックし、隠れている画面を表示してください。

Point

- 画面右上にある入力フォームから検索することもできます。検索したいアプリの名前を入力して、 をクリックします。

この後は画面の指示に従って操作してください。

■更新プログラム

インターネットに接続していると、インストール済のストアアプリが最新のバージョンでなかった場合、自動的に更新されます。

□自動更新を無効にする

1. 「ストア」画面で、マウスポインターを右上隅に合わせて「チャーム」を表示し、（設定）をクリックします。
2. 「アプリの更新」をクリックします。
3. 「アプリの更新プログラム」の「アプリを自動的に更新する」の （はい）をクリックして （いいえ）にします。

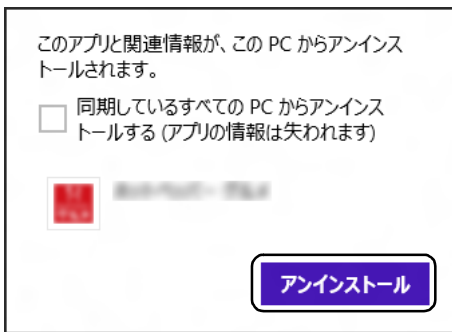
■アンインストール

スタート画面およびアプリ画面の操作でアンインストールできます。アンインストールした Windows ストア アプリはストアから再インストールすることができます。

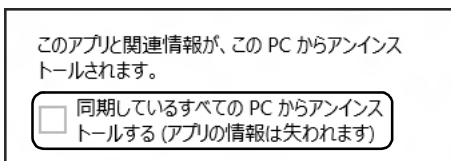
『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

1 スタート画面またはアプリ画面でアンインストールしたいアプリのタイルを右クリックします。

2「アンインストール」をクリックします。

3 次の画面が表示されたら「アンインストール」をクリックします。

Point

- 「同期しているすべてのPCからアンインストールする（アプリの情報は失われます）」が表示された場合、クリックして☑にすると、お使いの Microsoft アカウントで他のパソコンやタブレットにサインインしたときもアンインストールされた状態になります。

このアプリと関連情報が、この PC からアンインストールされます。
同期しているすべての PC からアンインストールする (アプリの情報は失われます)

デスクトップアプリ

Windows 7 で使用していたものがほとんどそのまま使用できます。

■デスクトップアプリをインストール／アンインストールするうえでの注意

●デスクトップアプリをインストールする前には、必ずアプリのマニュアルなどを読んで、インストールの方法を確認する

●インストールし直す場合は、元のアプリを削除する

●管理者アカウントでサインインする

ユーザーアカウントの種類が、「標準アカウント」、「Guest アカウント」の場合はアプリの削除ができません。管理者アカウントでサインインしてください。
ユーザーアカウントの種類は、次の手順で確認できます。

1. 画面左下隅の を右クリックし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をクリックします。
   スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせると が表示されます。
2. 「ユーザーアカウントとファミリーセーフティ」をクリックします。
3. 「ユーザーアカウント」をクリックします。
   「ユーザーアカウント」ウィンドウが表示されます。
4. 画面右のアカウント名の下に表示されている、アカウントの種類を確認します。
   「Administrator」は、管理者アカウントであることを意味します。

●起動しているデスクトップアプリをすべて終了する

他のアプリが起動していると、エラーが発生する場合があります。アプリの削除をする前に、次の作業を行ってください。

・起動しているアプリをすべて終了する
・タスクバーに常駐するタイプのアプリをすべて終了する
・スクリーンセーバーを「なし」に設定する
 1. デスクトップ画面のなにもないところを右クリックし、表示されたメニューから「個人設定」をクリックします。
 2. 画面右下の「スクリーンセイバー」をクリックします。
 3. 「スクリーンセーバー」を「(なし)」にして、「OK」をクリックします。

●共有ファイルは削除しない

アプリの削除中に、「共有ファイルを削除しますか？」というメッセージが表示されることがあります。
共有ファイルは削除しないことをお勧めします。共有ファイルを削除すると、インストールされている他のデスクトップアプリが影響を受け、正しく動作しなくなる場合があります。

■インストール

□搭載デスクトップアプリをインストールする

次の手順で、ハードディスクのリカバリ領域からアプリをインストールすることができます。

1 スタート画面左下の をクリックします。

が表示されていない場合は、マウスポインターを動かすと表示されます。

『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

2「ソフトウェアディスク検索（ハードディスク）」をクリックします。

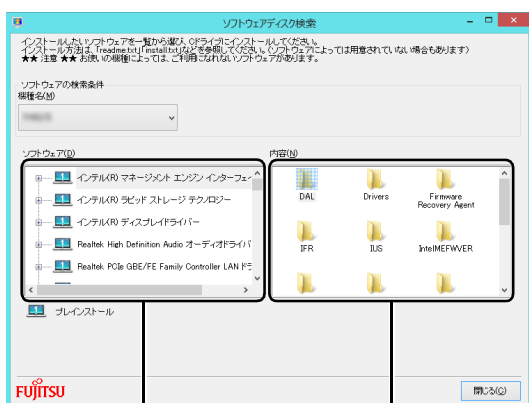
「ソフトウェアディスク検索（ハードディスク）」が見つからない場合は、画面下のスクロールバーの を数回クリックし、隠れている画面を表示してください。

3「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

4「ソフトウェアディスク検索（ハードディスク）」ウィンドウが表示されたら、「OK」をクリックします。

5「機種名」欄の右側の をクリックし、表示されたリストからお使いの機種名（品名）をクリックして選択します。

6「ソフトウェア一覧」からインストールするアプリの名称をクリックしてインストールします。

デスクトップアプリの名称をクリックすると、アプリに含まれるファイルが画面右側に表示されます。

（画面は機種や状況により異なります）

7 デスクトップアプリのインストール方法は、各デスクトップアプリによって異なります。それぞれの「readme.txt」、「install.txt」などでインストール方法を確認してください。

Point

- リカバリ領域を削除している場合や破損してしまった場合は、「ソフトウェアディスク」から、デスクトップアプリをインストールしてください。
- 「ソフトウェアディスク」は「リカバリディスクセットを作っておく」(→ P.164) をご覧になり作成してください。また、購入することもできます (→ P.121)。

□「Office」をインストールし直す

「Office」搭載機種のみ

「Office」搭載機種をお使いの方で、「Office」のみインストールし直したい場合は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。インストール方法については次のホームページをご覧ください。

http://www.office.com/jppipcsetup/

□ドライバーをインストールし直す

サウンドの再生や画面表示などが正常に行われないとき、ドライバーを更新すると問題が解決できる場合があります。

□お使いのパソコンに搭載されているドライバーについて

- 各ドライバーは、改善のため事前連絡なしに変更することがあり、ご購入時に添付されているものよりも新しいバージョンのドライバーが、サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）の「機種別サポート情報・ダウンロード」で公開されている場合があります。

  サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）の「機種別サポート情報・ダウンロード」に最新のドライバーがない場合は、ドライバーを削除し、再インストールしてください。
- ドライバーの削除や、再インストール手順については、各ドライバーのフォルダー内にある「readme.txt」「install.txt」などのファイルをご覧ください。

- ドライバーの格納されているフォルダーは、次の手順でご確認ください。
  1. スタート画面左下のをクリックします。
     が表示されていない場合は、マウスポインターを動かすと表示されます。
     『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』
  2. 「ソフトウェアディスク検索(ハードディスク)」をクリックします。
     「ソフトウェアディスク検索(ハードディスク)」が見つからない場合は、画面下のスクロールバーのを数回クリックし、隠れている画面を表示してください。
  3. 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
  4. 「ソフトウェアディスク検索(ハードディスク)」ウィンドウが表示されたら、「OK」をクリックします。
     「ソフトウェアディスク検索」ウィンドウが表示されます。
  5. 「機種名」欄の右側のをクリックし、表示されたリストからお使いの機種名(品名)をクリックして選択します。
  6. 「ソフトウェア」の一覧から更新したいドライバーをクリックして選択します。
     選択したドライバーが格納されているフォルダーの内容が表示されます。

Point

- プリンターなど、このパソコンに添付されていない周辺機器のドライバーについては、お使いの周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■アンインストール

□デスクトップアプリのアンインストール機能を使う

Windows に対応したデスクトップアプリには、アンインストール機能(デスクトップアプリを削除する機能)が用意されているものがあります。
デスクトップアプリによって操作方法が異なります。詳しくは、デスクトップアプリのマニュアルまたはヘルプをご覧ください。

□「プログラムのアンインストール」機能を使う

1 起動しているデスクトップアプリをすべて終了します。

2 画面左下隅のを右クリックし、表示されたメニューから「プログラムと機能」をクリックします。
スタート画面ではマウスポインターを左下隅に合わせるとが表示されます。

3 一覧から削除したい項目をクリックします。

4 「アンインストールと変更」(または「アンインストール」)をクリックし、画面の指示に従ってアプリを削除します。

5 デスクトップアプリの削除が終了したら、「プログラムと機能」ウィンドウで、×をクリックします。

Point

- 「プログラムのアンインストール」機能で削除できないデスクトップアプリについては、デスクトップアプリのマニュアルまたはヘルプをご覧ください。
- 「いくつかのファイルは削除されませんでした」と表示されても、削除が完了していれば通常問題ありません。

ハードディスクの領域について

電源を切って作業しますので、この内容を印刷しておくことをお勧めします。

C ドライブと D ドライブの割合を変更する

次の機種を除く

- ●約 128GB SSD 搭載機種
- ●ハードディスク2台搭載機種
- ●SSD +ハードディスク搭載機種 [注]

注：SSD が C ドライブ、ハードディスクが D ドライブになります。そのため、C ドライブと D ドライブの割合は変更できません。

C ドライブと D ドライブの割合を変更すると、すべてのデータが削除されます。本当に変更が必要か検討してから操作してください。

■注意事項

●データはすべて削除されます

この操作をすると、ハードディスク内のデータ（C ドライブ、D ドライブ共に）がすべて削除されます。あらかじめ必要なデータを DVD や外付けのハードディスクなどにバックアップしておいてください。

●外付けハードディスクやUSBメモリは必ず取り外してください

接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

●ドライブの容量制限

C ドライブ、D ドライブ共に 100GB より小さい容量には変更できません。

●領域設定を変更するときは、必ず「トラブル解決ナビ」をお使いください

市販のアプリなどで領域設定を変更してしまうと、「バックアップナビ」の「パソコンの状態」のバックアップや復元、および C ドライブをご購入時の状態に戻すリカバリなどができなくなります。

この場合は、「リカバリ領域を復元する」（→ P.152）をご覧になり、「ハードディスク全体をリカバリ」を実行してください。

●D ドライブを少なくしすぎないようにしてください

「バックアップナビ」を使ったバックアップができなくなってしまう場合があります。

■領域設定の変更手順

1「トラブル解決ナビ」を起動します。

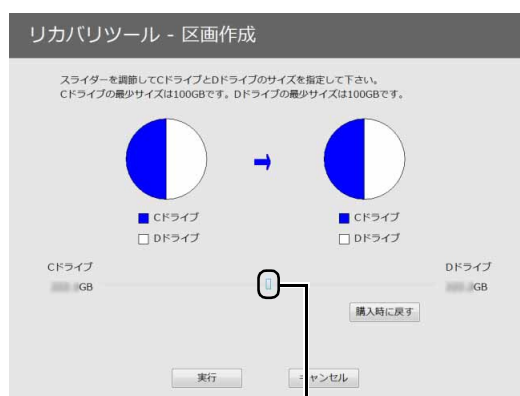
「「トラブル解決ナビ」を起動する」（→ P.112）をご覧ください。

2「ユーティリティ」をクリックします。

3「領域設定」をクリックします。

4「同意する」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。

ハードディスクの領域を設定する画面が表示されます。

5 スライダーを左右にドラッグして、C ドライブと D ドライブの容量を指定します。

（画面は機種や状況により異なります）

6 容量を決めたら、「実行」をクリックします。

7「「領域設定」を作成します。」というウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

ハードディスクの領域が設定されます。

8「完了」をクリックします。

トラブル解決ナビの最初の画面が表示されます。

9 C ドライブをご購入時の状態に戻します。

「ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する」（→ P.121）をご覧ください。

ご購入時に戻すリカバリを実行すると、領域の変更が完了します。

リカバリ領域を削除する

リカバリ領域を削除して、その分 D ドライブで使用できる容量を増やすことができます。

■注意事項

●リカバリ領域の削除後に、ご購入時の状態に戻すリカバリを行う場合は、「リカバリディスクセット」が必要です

リカバリ領域の削除前に「リカバリディスクセット」を必ず作成してください。リカバリディスクセットの作成方法は、「リカバリディスクセットを作っておく」(→ P.164)をご覧ください。

購入することもできます。購入方法は「ディスクが必要な場合」(→ P.121)をご覧ください。

●外付けハードディスクや USB メモリは必ず取り外してください

接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

●CD/DVD ドライブが搭載されていない機種の場合、ポータブル CD/DVD ドライブを用意してください

・ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM54)」をお勧めします。

・操作を開始する前のパソコンの電源が切れた状態のときに、あらかじめ接続してください。

■リカバリ領域の削除手順

1 「トラブル解決ナビディスク(リカバリ起動ディスク)」または「トラブル解決ナビ&ソフトウェア&リカバリデータディスク」を使って「トラブル解決ナビ」を起動します。

「「トラブル解決ナビ」を起動する」(→ P.112)をご覧ください。

2 「ユーティリティ」をクリックします。

3 「リカバリ領域の削除」をクリックします。

4 「リカバリ領域の削除」の説明が表示されたら、「次へ」をクリックします。

「ご使用上の注意」が表示されます。

5 内容をよくお読みになり、同意する場合は「同意する」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。

「ご使用上の注意」を下までスクロールすると、「同意する」が選択できるようになります。

6 画面のメッセージに従って操作します。

この後は、

1. リカバリディスクセットの確認
2. リカバリ領域の削除

の順に進んでいきます。画面のメッセージに従って操作を進めてください。

「リカバリ領域の削除が完了しました。」と表示されたら手順 7 に進んでください。

7 「完了」をクリックします。

8 トラブル解決ナビの最初の画面が表示されたら、ディスクを取り出します。

ポータブル CD/DVD ドライブを接続している場合は取り外します。

9 「終了」をクリックします。

10 「再起動」をクリックします。

Windows が起動します。

11 デスクトップ画面で (PC) をダブルクリックします。

ハードディスクの容量が増えていることを確認します。

以上でリカバリ領域の削除は完了です。

リカバリ領域を復元する

リカバリ領域を復元するためには「ハードディスク全体をリカバリ」を行います。リカバリ領域のみ復元することはできません。

「リカバリディスクセット」を用意してください。

重要

▶ 次の場合でも、「全ドライブをご購入時の状態に戻す」を行うとハードディスクの内容はすべて削除されます。D ドライブの内容もすべて削除されます。

・ハードディスク 2 台搭載機種

・SSD +ハードディスク搭載機種

■注意事項

●ハードディスクの内容はすべて削除されます

リカバリ領域を復元するときに、ハードディスクの領域が設定し直されます。このためハードディスクの内容はすべて削除されます。あらかじめ必要なデータをDVDや外付けのハードディスク、microSDカードなどにバックアップしておいてください。

- 「リカバリディスクセット」が必要です
  リカバリ領域の復元には、「リカバリディスクセット」が必要です。「リカバリディスクセット」を作成していない場合や、紛失・破損された場合は購入できます。購入方法は「ディスクが必要な場合」(→P.121)をご覧ください。
- 外付けハードディスクやUSBメモリは必ず取り外してください
  接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
- CD/DVDドライブが搭載されていない機種の場合、ポータブルCD/DVDドライブを用意してください
  ・ポータブルCD/DVDドライブは、「スーパーマルチドライブユニット（FMV-NSM54)」をお勧めします。
  ・操作を開始する前のパソコンの電源が切れた状態のときに、あらかじめ接続してください。

■リカバリ領域の復元手順

1 「トラブル解決ナビディスク（リカバリ起動ディスク)」または「トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク」を使って「トラブル解決ナビ」を起動します。

「「トラブル解決ナビ」を起動する」（→ P.112)をご覧ください。

2 「リカバリ」をクリックします。

3 「ハードディスク全体をリカバリ」をクリックします。

「ハードディスク全体をリカバリ」の説明が表示されます。

4 「次へ」をクリックします。

「ご使用上の注意」が表示されます。

5 「ご使用上の注意」をよく読み、同意する場合は「同意する」をクリックして◉にし、「次へ」をクリックします。

6 画面のメッセージに従って操作します。

この後は、

1. リカバリディスクセットの確認
2. ハードディスクの領域を設定する
3. リカバリデータをコピーする
4. リカバリを実行する
5. リカバリ領域を復元する
6. 最終処理を実行する

の順に進んでいきます。画面のメッセージに従って操作を進めてください。

7 「ディスクの復元が完了しました。」と表示されたら、ディスクを取り出します。

8 「完了」をクリックします。

パソコンの電源が自動的に切れます。

ポータブルCD/DVDドライブを接続している場合は取り外します。
以上で「リカバリ領域を復元する」は終了です。
続けて、「セットアップする」（→ P.21）をご覧になり、セットアップを行ってください。

Point

- ユーザー登録は再度行う必要はありません。
- すでにMicrosoftアカウントを取得されているため、「セットアップする」（→ P.21）の手順 14では、そのアカウントでサインインしてください。
- Office 搭載機種で、「リカバリディスク有償サービス」で購入したリカバリディスクセットを使い、ご購入時の状態に戻すリカバリを行った場合、Officeがインストールされた状態にリカバリされません。セットアップ後に、マイクロソフト社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。インストール方法については次のホームページをご覧ください。
  http://www.office.com/jppipcsetup/

BIOS の設定

電源を切って作業しますので、この内容を印刷しておくことをお勧めします。

BIOS セットアップの操作

■BIOS セットアップとは

BIOS セットアップとは、パソコンの環境を設定するためのプログラムです。パソコンご購入時は、すでに最適なハードウェア環境に設定されています。通常の使用状態では、BIOS セットアップで環境を設定（変更）する必要はありません。

BIOS セットアップの設定は、次の場合などに行います。

- 特定の人だけが利用できるように、パソコンにパスワード（暗証番号）を設定するとき
- 電源を入れたとき、または再起動したときに、BIOS セットアップに関するメッセージが表示されたとき

Point

- BIOSセットアップの設定項目については、BIOS セットアップ画面の「項目ヘルプ」をご覧ください。

■BIOS セットアップを起動する

BIOS セットアップは、電源が切れた状態（Windows をシャットダウンした状態）から操作を始めてください。

Point

- BIOS セットアップの画面ではなく Windows が起動してしまった場合は、起動が完了するのを待って、もう一度手順1からやり直してください。

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります（→ P.167）。

2 サポートボタンを押します。

3 起動メニューが表示されたら、↓ を押し、「BIOS セットアップ」を選択して、Enter を押します。

Point

- Windows が起動してしまった場合は、本パソコンの電源を切ってもう一度操作してください。

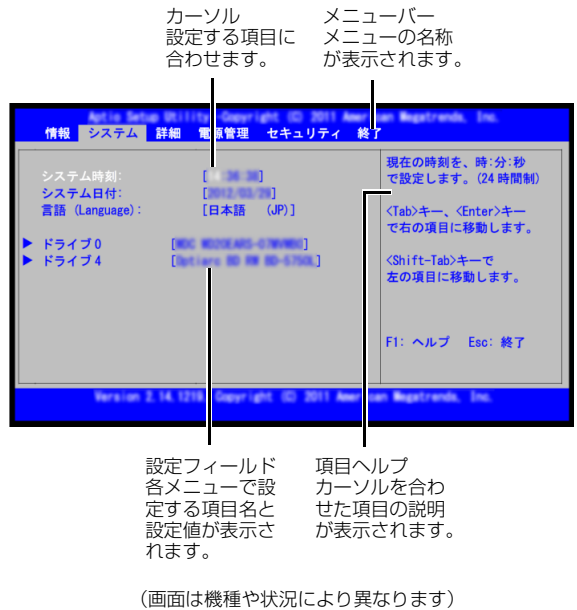
■BIOS セットアップ画面の各部の名称と役割

カーソル
設定する項目に合わせます。

メニューバー
メニューの名称が表示されます。

設定フィールド
各メニューで設定する項目名と設定値が表示されます。

項目ヘルプ
カーソルを合わせた項目の説明が表示されます。

（画面は機種や状況により異なります）

■設定を変更する

設定の変更はキーボードで行います。

重要

- BIOS セットアップの設定は正確に行ってください。
  設定を間違えると、パソコンが起動できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。
  このような場合には、変更した設定値を元に戻すか、ご購入時の設定に戻してパソコンを再起動してください。

1 ← または → を押して、設定を変更したいメニューにカーソルを合わせます。

2 ↑ または ↓ を押して、設定を変更したい項目にカーソルを合わせます。

「▶」が付いている項目にはサブメニューがあります。

「▶」が付いている項目にカーソルを合わせて Enter を押すと、サブメニューが表示されます。

元のメニュー画面に戻るときは Esc を押します。

3 【Space】キーまたは[−]を押して、設定を変更します。

項目の中には、数値を入力するものもあります。

画面の右に、各設定値の説明が表示されます。参考にしてください。

さらに他の項目の設定を変更したいときは、手順 1 から繰り返します。

4 設定を保存して終了します（→ P.155）。

□設定時に使う各キーの役割

設定時によく使用するキーは、次のとおりです。

● [↑]、[↓]

設定する項目にカーソルを移動します。

● [←]、[→]

メニューを切り替えます。

● [Enter]

「▶」印が付いた項目のサブメニュー画面を表示します。また、「終了」メニューなどでは、各項目の処理を行います。

設定する項目で押すと、設定値が一覧で表示されます。

●【Space】キー

キーボード手前中央にある、何も書かれていない横長のキーのことです。各項目の設定値を変更します。

[F1] を押すと、この他に使用できるキーの案内が画面に表示されます。

■BIOS セットアップを終了する

変更した設定を有効にするためには、設定内容を保存しておく必要があります。次の操作を行って、設定内容を保存してから BIOS セットアップを終了してください。

1 [Esc] を押します。

「終了」メニューが表示されます。サブメニューを表示しているときは、「終了」メニューが表示されるまで、[Esc] を 2 ～ 3 回押してください。

2 次のいずれかの操作を行います。

■設定を保存して BIOS セットアップを終了し、再起動する場合

1. [↑] または [↓] を押して、「変更を保存して終了する（再起動）」にカーソルを合わせ、[Enter] を押します。
2. [←] または [→] を押して、「はい」にカーソルを合わせ、[Enter] を押します。

BIOS セットアップが終了します。

■設定を保存して BIOS セットアップを終了し、電源を切る場合

1. [↑] または [↓] を押して、「変更を保存して終了する（電源 OFF）」にカーソルを合わせ、[Enter] を押します。
2. [←] または [→] を押して、「はい」にカーソルを合わせ、[Enter] を押します。

BIOS セットアップが終了します。

■設定を変更しないで終了する場合

1. [↑] または [↓] を押して、「変更を保存せずに終了する（起動）」にカーソルを合わせ、[Enter] を押します。
2. [←] または [→] を押して、「いいえ」にカーソルを合わせ、[Enter] を押します。

BIOS セットアップが終了します。

■BIOS をご購入時の設定に戻す

ここでは、設定を変更した BIOS を、ご購入時の状態に戻す手順について説明しています。

1 BIOS セットアップを起動します。

2 [Esc] を押します。

「終了」メニューが表示されます。

3 [↑] または [↓] を押して、「標準設定値を読み込む」にカーソルを合わせ、[Enter] を押します。

「標準設定値を読み込みますか？」というメッセージが表示されます。

4 [←] または [→] を押して、「はい」にカーソルを合わせ、[Enter] を押します。

BIOS セットアップの設定項目に、標準設定値が読み込まれます。

5 BIOS セットアップを終了します。

「BIOS セットアップを終了する」（→ P.155）の手順 2 に従って、設定内容を保存して終了してください。

BIOS のパスワード機能

このパソコンでは、不正使用を防止するために BIOS のパスワードを設定することができます。パスワードを設定すると、正しいパスワードを知っている人以外はこのパソコンを使用できなくなります。
BIOS のパスワードは、Windows が起動する前の設定なので、Windows のサインインパスワードよりもさらにセキュリティを高めたいときに有効です。

■BIOS のパスワードを設定するとできること

BIOS のパスワードを設定すると、次の場合にパスワードの入力を要求され、パスワードを知っている人のみこのパソコンを使用できるようになります。

- ●パソコンの電源を入れたとき
- ●パソコンを再起動したとき
- ●BIOS セットアップを始めるとき
- ●スリープから元の状態に戻るとき（スリープ中に電源が切れた場合のみ）
- ●休止状態から元の状態に戻るとき

また、BIOS のパスワードといっしょにハードディスクセキュリティを設定すると、ハードディスクの盗難による情報漏洩や不正使用を防止できます。

パスワードの入力を要求されるタイミングは、BIOS セットアップの「セキュリティ」メニューの「起動時のパスワード」で設定します。

- ●使用しない
  BIOS セットアップを始めるときにパスワードを要求されます。
- ●最初のみ
  パソコンの電源を入れたときにパスワードを要求されます。
- ●毎回
  パソコンの電源を入れたとき、およびパソコンを再起動したとき、パスワードを要求されます。

Point

- 「セキュリティ」メニューの「自動ウェイクアップ時」を「使用しない」に設定している場合「起動時のパスワード」を「最初のみ」または「毎回」に設定しても、テレビの録画予約によってパソコンを自動的に起動するとき（テレビチューナー搭載機種のみ）や、Wakeup on LAN 機能などを使ってパソコンを自動的に起動する場合にはパスワードを要求されません。

■BIOS のパスワード機能をお使いになるうえでの注意

このパソコンで BIOS のパスワード機能を使うときは、次の点に注意してください。

- ●パスワード設定時は、必ず次のことを行ってください。
  管理者用パスワードやハードディスク用パスワードを忘れると、パスワード機能が解除できなくなり、修理が必要となります。
  そのため、パスワードを設定したら、次のことを行ってください。
  - ・「パスワードを変更する」（→ P.157）および「パスワードを削除する」（→ P.158）を印刷しておく
  - ・設定したパスワードを忘れないよう、何かに書き留めておく

  また、これらは安全な場所に保管しておいてください。
  管理者用パスワードやハードディスク用パスワードを忘れてしまった場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。なお、保証期間にかかわらず修理は有償となります。
- ●パスワードを忘れるとすべてのデータが消えてしまいます。
  ハードディスク用パスワードは、盗難などによる不正な使用を防止することを目的としています。これは強固なセキュリティであるため、もしもパスワードを忘れてしまうと、たとえ修理をしてもパスワードの解除やハードディスク内のプログラムやデータの復元ができず、これらのデータは完全に失われてしまいます。
  パスワードの管理には充分注意してください。
- ●設定したパスワードと違うパスワードを入力すると、「パスワードが正しくありません。」というメッセージが表示されます。
  その場合は、【Enter】を押し、正しいパスワードを入力してください。
- ●誤ったパスワードを 3 回入力すると、次の状態になります。
  「システムは使用できません。」というメッセージが表示され、警告音が鳴り続けます。

■パスワードの種類

このパソコンで設定できるパスワードは次の3つです。

●管理者用パスワード

このパソコンをご購入になった方などが使用するパスワードです。パスワード機能を使用するときは必ず設定してください。

●ユーザー用パスワード

「管理者」以外でこのパソコンをお使いになる方（ご家族など）が使用するパスワードです。BIOS セットアップで変更可能な項目に制限があります。「管理者用パスワード」を設定した場合のみ設定できます。

●ハードディスク用パスワード

このパソコンのハードディスクを、他のパソコンでは使用できないようにしたいときに使用するパスワードです。ハードディスクを他のパソコンに取り付けて使用する場合に認証が必要となるため、ハードディスクが盗難にあったときなどに情報漏洩や不正使用を防止します。「管理者用パスワード」を設定した場合のみ設定できます。

■パスワードを設定する

パスワードを設定する方法を説明します。

1 BIOS セットアップを起動します。

2 【←】または【→】を押して「セキュリティ」または「Security」にカーソルを合わせます。

「セキュリティ」メニューが表示されます。

3 【↑】または【↓】を押して、設定したいパスワードの項目を選び、【Enter】を押します。

次のいずれかの項目を選択します。

・管理者用パスワード設定

・ユーザー用パスワード設定

・ハードディスクセキュリティ▶ドライブ n 用パスワード設定

※ n に入る数字は機種により異なります。

パスワード入力用のウィンドウが表示されます。

4 1 ～ 32 桁までのパスワードを入力します。

・入力できる文字種はアルファベットと数字です。

・入力した文字は表示されず、代わりに「＊」が表示されます。

5 パスワードを入力したら【Enter】を押します。

パスワード確認用のウィンドウが表示され、パスワードの再入力を求められます。

6 手順 4 で入力したパスワードを再度入力して【Enter】を押します。

・パスワードが一致した場合は、「変更が保存されました。」というメッセージが表示されます。

・パスワードが間違っていた場合は、「パスワードが一致しません。もう一度パスワードを入力して下さい。」というメッセージが表示されます。【Enter】を押して、手順 3 からやり直してください。

・パスワードの設定を中止するときは、【Esc】を押してください。

7 【Enter】を押して、設定を終了します。

8 BIOS セットアップを終了します（→ P.155）。

設定内容を保存して終了してください。

■パスワードを変更する／削除する

□パスワードを変更する

設定したパスワードを変更するときは、次の操作を行ってください。

1 BIOS セットアップの「セキュリティ」メニューから、変更したいパスワードの項目を選び、【Enter】を押します。

「パスワードを設定する」（→ P.157）の手順 1 ～ 3 を行ってください。

2 設定してあるパスワードを入力し、【Enter】を押します。

新しいパスワード入力用のウィンドウが表示されます。

3 1 ～ 32 桁までの新しく設定したいパスワードを入力し、【Enter】を押します。

パスワード確認用のウィンドウが表示され、パスワードの再入力を求められます。

4 手順 3 で入力したパスワードを再度入力して【Enter】を押します。

・パスワードが一致した場合は、「変更が保存されました。」というメッセージが表示されます。

・パスワードが間違っていた場合は、「パスワードが一致しません。もう一度パスワードを入力して下さい。」というメッセージが表示されます。【Enter】を押して、手順 1 からやり直してください。

・パスワードの設定を中止するときは、【Esc】を押してください。

5 【Enter】を押して、設定を終了します。

Point

- 誤ったパスワードを３回入力すると、次の状態になります。
  「システムは使用できません。」というメッセージが表示され、警告音が鳴り続けます。

□パスワードを削除する

設定したパスワードを削除するときは、「パスワードを変更する」の手順を最初から行い、手順３～４で何も入力せずに、【Enter】を押してください。

BIOS が表示するメッセージ一覧

パソコンを起動した直後に、画面上にメッセージが表示される場合があります。これらのメッセージは「BIOS セットアップ」という、パソコンの環境を設定するためのプログラムが表示しています。

■メッセージが表示されたときは

パソコン本体や周辺機器に問題があると、パソコンを起動したときにエラーメッセージが表示されます。
エラーメッセージが表示された場合は、次の手順に従って処置をしてください。

1. BIOS セットアップの設定値を標準設定値（ご購入時の設定）に戻して起動し直してください。
   それでもメッセージが表示される場合は、手順２に進んでください。
2. 周辺機器を取り外します。
   別売の周辺機器やメモリなどを取り付けている場合には、パソコンの電源を切ってからそれらを取り外し、パソコンの電源を入れ直して、動作を確認してください。
   それでも同じメッセージが表示される場合には、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。
3. 取り外した周辺機器を、１つずつ取り付けます。
   取り外した周辺機器を１つずつ取り付け、パソコンの電源を入れ直して、動作を確認してください。
   また、割り込み番号（IRQ）を使用する周辺機器を取り付けたときは、割り込み番号が正しく割り当てられるように、設定を確認してください。このとき、各周辺機器のマニュアルや、ユーティリティソフトがある場合にはそれらのマニュアルも、あわせてご覧ください。

これらの処置をしても、まだ同じメッセージが表示される場合や、次の「メッセージ一覧」に当てはまるメッセージがない場合は、パソコン本体が故障している可能性があります。「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。
「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」のご利用については、「サポート＆サービス紹介」（→P.115）をご覧ください。

■メッセージ一覧

このパソコンが表示するメッセージ一覧は、次のとおりです。メッセージ中の「n」には数字が表示されます。また、メッセージは機種により異なります。

- **BOOT:Couldn't find NTLDR**
  Please insert another disk
  FDD ユニット（USB）に、起動ディスク以外のフロッピーディスクをセットしたまま、電源を入れたときに表示されます。
  フロッピーディスクを取り出して、【Space】キーなどを押してください。
- **BOOT Failure**
  Press any key to continue
  OS が見つからなかったことを示しています。
  BIOS セットアップの「詳細」メニューの設定が正しいか、指定したドライブに OS が正しくインストールされているかを確認してください。
- **起動可能なデバイスが見つかりませんでした。**
  Bootable Device was not found
  起動可能なデバイスが見つからなかった場合に表示されます。【Enter】を押すとBIOSセットアップが起動しますので、「詳細」メニューで「起動デバイスの優先順位」を選択して、起動可能なデバイスが表示されているかどうかを確認してください。
- **CPU Fan Error**
  CPU ファンエラーまたは CPU ファンが接続されていません。
  「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。

- **Event Log area is full. No more events will be logged.**
  To clear event logs, please enter BIOS Setup.
  イベントログの記録領域が一杯になりました。
  BIOS セットアップを起動して、イベントログを削除してください。
  イベントログの記録領域がいっぱいになったことを示しています。
  F2 を押して BIOS セットアップを起動し、「詳細」メニューで「イベントログ設定」－「イベントログの消去」の順に選択して Enter を押してください。確認のメッセージが表示されるので、「はい」にカーソルを合わせ、Enter を押してください。
- **Press F1 to resume**
  Press F2 to Run Setup
  ＜ F1 ＞キーを押すと継続します。
  ＜F2＞キーを押すと BIOS セットアップを起動します。
  起動時の自己診断テストでエラーが発生したとき、OSを起動する前に本メッセージが表示されます。発生しているエラーを無視して OS を起動する場合は F1 を押してください。BIOS セットアップを起動して設定を変更する場合は F2 を押してください。
- **Invalid NVRAM Data**
  NVRAM データが正しくありません。
  NVRAM データのテストでエラーが発見されたことを示しています。
  本メッセージが表示されているときは、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。
- **Invalid system disk**
  Replace the disk, and then press any key
  FDD ユニット（USB）に、起動ディスク以外のフロッピーディスクをセットしたまま、電源を入れたときに表示されます。
  フロッピーディスクを取り出して、【Space】キーなどを押してください。
- **Keyboard/Interface Error.**
  キーボードエラーまたはキーボードが接続されていません。
  キーボードコントローラーのテストでエラーが発生したことを示しています。
  キーボードが正しく接続されていることを確認し、電源を入れ直してください。それでも本メッセージが表示されるときは、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。
- **Non-System disk or disk error**
  Replace and press any key to ready
  FDD ユニット（USB）に、起動ディスク以外のフロッピーディスクをセットしたまま、電源を入れたときに表示されます。
  フロッピーディスクを取り出して、【Space】キーなどを押してください。
- **NTLDR is missing**
  Press any to restart
  電源を入れ直しても本メッセージが表示されるときは、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。
- **Remove disks or other media**
  Press any key to restart
  FDD ユニット（USB）に、起動ディスク以外のフロッピーディスクをセットしたまま、電源を入れたときに表示されます。
  フロッピーディスクを取り出して、【Space】キーなどを押してください。
- **System CMOS checksum bad**
  システムCMOSのチェックサムが正しくありません。
  CMOS RAM のテストでエラーが発見されたため、標準設定値が設定されたことを示しています。
  F2 を押して、BIOS セットアップを起動し、BIOS をご購入時の設定に戻してください（→ P.155）。
  それでも本メッセージが表示されるときは、バックアップ用バッテリが消耗して、CMOS RAM に設定内容が保存されていないことが考えられます。「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。

●**System Disabled**
システムは使用できません。
不正確なパスワードが入力されました。電源ボタンを押して電源を切り、もう一度このパソコンの電源を入れてください。
パスワードを忘れてしまった場合は、修理が必要になります。「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。
なお、保証期間にかかわらず修理は有償となります。

●**日付と時刻の設定を確認してください。**
日付と時刻の設定値が正しくありません。
設定値を確認し、正しい値を設定し直してください。

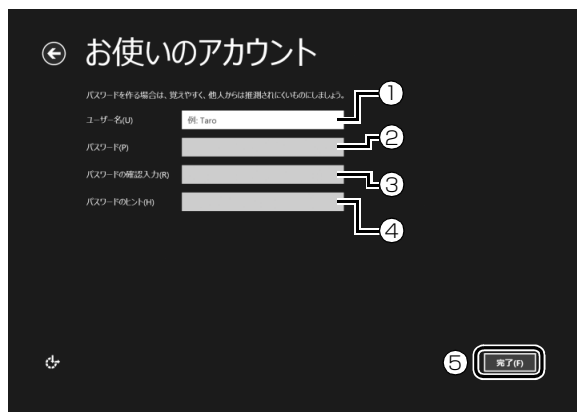
●**リアルタイムクロックのエラーです。**
リアルタイムクロックのテストでエラーが発生したことを示しています。
電源を入れ直しても本メッセージが表示されるときは、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。

インターネットに接続せずにセットアップしたときは

ここでは、セットアップ中にインターネットに接続しなかった場合、どのようにセットアップを完了したら良いか説明します。操作の流れは次のようになります。

1 Windows セットアップ時にローカルアカウントを取得する（→ P.161）
2 インターネットに接続する（→ P.161）
3 Microsoft アカウントに切り替える（→ P.163）
4 Windows を終了する
「Windows のセットアップをする」手順 21（→ P.40）
5 パソコンを快適にお使いいただくための準備をする（→ P.41）

Windowsセットアップ時にローカルアカウントを取得する

「Windows のセットアップをする」の手順 14 で次のような画面が表示された場合の操作方法です。

①「ユーザー名」を入力します。
・「Windows のセットアップをする」の手順 10 で入力した PC 名と同じ名前は入力できません。
・12 文字以内の半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）でお好きな名前を入力してください。
②「パスワード」を入力します。
12 文字以内の半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）でお好きなパスワードを入力してください。
③②で入力したものと同じものを入力します。
④自分だけがパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。かなも漢字も使用できます。
⑤「完了」をクリックします。

Windows のセットアップが完了しました。
デスクトップ画面が表示されるまでお待ちください。

インターネットに接続する

このパソコンをお使いになるときは、有線 LAN または無線 LAN でインターネットに接続してください。
インターネットの設定方法については、ご契約のプロバイダーの指示に従ってください。

Point

- データ通信カードやアダプター、モバイルWi-Fiルーターなどのデータ通信機器をお使いになりインターネットに接続する場合、設定および使用方法については、データ通信機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- データ通信機器に関しては、ご契約のデータ通信サービス会社にお問い合わせください。

■有線 LAN でインターネットに接続する

有線 LAN をお使いになる場合は、LAN ケーブルを LAN コネクタに接続します。

■無線 LAN でインターネットに接続する

ここでは、無線 LAN アクセスポイントと内蔵無線 LAN を使って、無線 LAN でインターネットに接続する方法を説明します。

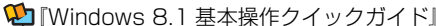
重要

- パソコンを屋外で使う場合、電波法の定めにより 5GHz 帯の電波を停止する必要があります。

Step1　無線 LAN アクセスポイントを設定する

別売の無線 LAN アクセスポイントを用意し、インターネットに接続する設定を行ってください。設定方法は、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

重要

- 無線LANアクセスポイントは、セキュリティの設定をしてお使いになることをお勧めします。
セキュリティの設定をしないと、通信内容を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりする危険があります。

無線 LAN アクセスポイントに設定した情報を、次の欄に記入してください。
記入後は第三者に漏れないよう注意してください。

Step2 パソコンの設定をする

Windows 8.1 の標準機能を使って無線 LAN の設定を行う方法を説明します。

1 **無線 LAN アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。**
無線 LAN アクセスポイントの電源の入れ方については、無線LANアクセスポイントに添付されているマニュアルをご覧ください。

2 **マウスポインターを画面の右上隅に合わせて「チャーム」を表示し、(設定) をクリックします。**
『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

3 **「設定チャーム」で「利用可能」アイコンをクリックします。**

（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

4 **次の画面の操作をします。**

①「Wi-Fi」がオフになっていたら、(オフ) をクリックして(オン) にします。
②Step1 で記入した無線 LAN アクセスポイントのネットワーク名（SSID）をクリックします。
③「自動的に接続する」のをクリックしてにします。
④「接続」をクリックします。

5 **次の画面の操作をします。**

①Step1 で記入した無線 LAN アクセスポイントのパスワードを入力します。
「ルーターのボタンを押しても接続できます。」と表示されていたら、無線 LAN アクセスポイント（ルーター）のボタンを押して接続できる場合があります。
詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
②「次へ」をクリックします。

6 **正しく設定できたか確認します。**
正しく設定できると、「接続済み」と表示されます。

Point

- 「接続済み」と表示されなかった場合は、もう一度、Step1 で記入した無線 LAN アクセスポイントの設定情報と、手順 5 で入力したパスワードを確認してください。
- 無線 LAN アクセスポイントで設定した内容と同じ情報をパソコンに設定しないと、ネットワークに接続できません。無線 LAN アクセスポイントの設定がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- プロバイダーから提供されるインターネット接続に必要な情報が正しく設定されているか確認してください。設定する情報がわからない場合は、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

これで無線 LAN を使ったインターネット接続は完了です。

Microsoft アカウントに切り替える

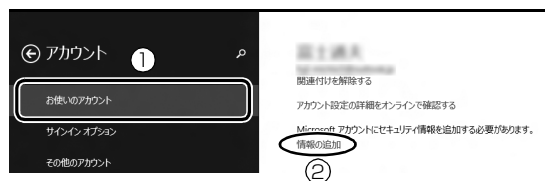
Windows 8.1 ではMicrosoftアカウントでサインインすることで、様々な機能やサービスを快適に利用できます。インターネットに接続したら、ローカルアカウントを Microsoft アカウントに切り替えてください。
Microsoft アカウントに切り替える方法については、サポートページから Q&A ナンバー「8209-9156」を検索してご覧ください。

この PC で本人確認を行う

Microsoft アカウントに切り替えた後など、このパソコンを快適にお使いになるために、本人確認を行う必要がある場合があります。

1 「チャーム」を表示し、(設定)をクリックします。
『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』

2 「設定チャーム」で「PC 設定の変更」をクリックし、「アカウント」をクリックします。

3 ①「お使いのアカウント」をクリックし、②「情報の追加」または「確認する」と表示されている場合は、本人確認を行う必要があります。
クリックし、その後は画面の指示に従って操作してください。

この後は、「Windows のセットアップをする」の手順 21、および「パソコンを快適にお使いいただくための準備をする」(→ P.41)を行ってください。

インターネットを安心してお使いいただくために

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットの発展によって、世界中の人とメールのやりとりをしたり、個人や企業が提供しているインターネット上のサイトを活用したりすることが容易になっており、それに伴い、青少年の教育にもインターネットの利用は欠かせなくなっています。しかしながら、インターネットには違法情報や有害な情報などを掲載した好ましくないサイトも存在しています。
特に、下記のようなインターネット上のサイトでは、情報入手の容易化や機会遭遇の増大などによって、青少年の健全な発育を阻害し、犯罪や財産権侵害、人権侵害などの社会問題の発生を助長していると見られています。
・アダルトサイト(ポルノ画像や風俗情報)
・他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
・出会い系サイト・犯罪を助長するようなサイト
・暴力残虐画像を集めたサイト
・毒物や麻薬情報を載せたサイト
サイトの内容が青少年にとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開を止めさせることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開を止めさせることはできません。
有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術が、「フィルタリング」といわれるものです。フィルタリングは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、情報受信側で有害サイトの閲覧を制御する技術です。100% 万全ではありませんが、多くの有害サイトへのアクセスを自動的に制限できる有効な手段です。特に青少年のお子様がいらっしゃるご家庭では、「フィルタリング」を活用されることをお勧めします。
「フィルタリング」を利用するためには、一般に下記の 2 つの方法があります。
「フィルタリング」はお客様個人の責任でご利用ください。
・パソコンにフィルタリングの機能をもつアプリをインストールする
・インターネット事業者のフィルタリングサービスを利用する
これらのアプリのインストール方法やご利用方法については、それぞれのアプリの説明書またはヘルプをご確認ください。
なお、アプリやサービスによっては、「フィルタリング」機能を「有害サイトブロック」、「有害サイト遮断」、「Web フィルタ」、「インターネット利用管理」などと表現している場合があります。あらかじめ機能をご確認のうえ、ご利用されることをお勧めします。

[参考情報]
・社団法人電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」
・デジタルアーツ株式会社(i-フィルター® 6.0 提供会社)「フィルタリングとは - 家庭向けケーススタディー」

■「i - フィルター® 6.0」について

このパソコンには、フィルタリング機能をもつ「i - フィルター® 6.0」が用意されています。使い方については、「「i - フィルター® 6.0」を使う」(→ P.163)をご覧ください。

■「i - フィルター® 6.0」を使う

このパソコンに用意されている「i - フィルター® 6.0」はご利用期間 90 日間のお試し版となっています。ぜひお試しください。初めてお使いになるときは、次の手順で初期設定を行ってください。
なお、お試し版を登録するにはメールアドレスが必要です。

1 インターネットに接続します。

2 デスクトップ画面上の (i- フィルター 6.0 のセットアップ)をダブルクリックします。

3 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をクリックします。

「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をクリックします。

「有害サイトフィルタリングソフト「i - フィルター 6.0」のご紹介」の画面が表示されます。

4 「「i - フィルター 6.0」をインストールする」をクリックします。

「i - フィルター® 6.0」の使用許諾の画面が表示されます。

この後は画面の指示に従ってインストールを進めてください。

Point

- 次のような画面が表示された場合は、「i - フィルター® 6.0」はインストール済みです。
  「OK」▶「完了」の順にクリックして、画面を閉じてください。

5 「i - フィルター 6.0」の画面が表示されたら、インターネットに接続していることを確認して、「90 日の無料お試し付き「i - フィルター 6.0」【お申込み】」をクリックします。

この後は画面の指示に従って登録を進めてください。

登録が完了すると「i - フィルター® 6.0」が利用できるようになります。

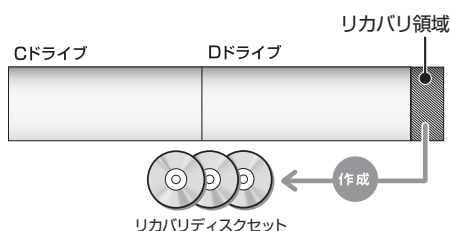
次回使うときは、デスクトップ画面右下の通知領域に表示されたアイコンから、設定を行うことができます。

利用開始から 90 日間を超えてご利用になる場合は、継続利用の登録（有償）を行ってください。別のフィルタリングアプリをご利用になる場合は、市販のアプリをご購入のうえ、ご利用ください。

リカバリディスクセットを作っておく

このパソコンには、トラブルに備えて、本体のディスクの「リカバリ領域」という場所に、ご購入時の C ドライブの中身が保存されています。パソコンにトラブルが起こったときは、このリカバリ領域から C ドライブをご購入時の状態に復元できます。

リカバリ領域のデータのバックアップディスク（リカバリディスクセット）を 1 回に限り作成することができます。

リカバリ領域のデータを利用できなくなる場合に備え、パソコンご購入後できるだけ早く作成してください。

（機種や状況によって領域設定が異なる場合があります。）

- リカバリディスクセットの作成には長時間かかります。時間に余裕をもって作業をしてください。
  またリカバリディスクセットは購入できます。購入方法については「ディスクが必要な場合」（→ P.121）をご覧ください。
- 「リカバリディスクセット」は、次の場合に使用します。
  - ・リカバリ領域を削除しているときに C ドライブをリカバリする
  - ・リカバリ領域を破損してしまったときに C ドライブをリカバリする
  - ・ハードディスク全体をリカバリする
    詳しくは、「リカバリ領域を復元する」（→ P.152）をご覧ください。

■リカバリディスクセットとは

「バックアップナビ」を使って作成する次のディスクです。

□BD-R、BD-R DL、BD-R XL で作成した場合

・トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク［注］

注：**1 回に限り作成可能**です。

- BD-R、BD-R DL、BD-R XL でリカバリディスクセットを作成したり、使用したりできるのは、Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみです。
- リカバリディスクセット添付機種では「トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク」は作成できません。

□DVD-R、DVD-R DL、DVD+R DL で作成した場合

・トラブル解決ナビディスク（リカバリ起動ディスク）

・リカバリデータディスク n ［注 1］［注 2］

・ソフトウェアディスク n ［注 2］

注 1：**1 回に限り作成可能**です。

注 2：複数枚（2 ～ 4 枚程度、機種によって異なる）のディスクが作成されます。n には数字が入ります。

リカバリディスクセットを作るうえでの注意

■LIFEBOOK および ARROWS をお使いの方は、必ず AC アダプタを接続してください（LIFEBOOK GH シリーズを除く）

■LIFEBOOK GH シリーズをお使いの方は、必ずワイヤレスディスプレイ部を本体部にセットし、本体部に AC アダプタを接続してください

■ディスクを用意してください

- お使いになれるディスク
  DVD-R、DVD-R DL、DVD+R DL、BD-R、BD-R DL、BD-R XL
- DVD-R、DVD-R DL、DVD+R DL のうちの、どのディスクを使用しても、作成枚数は同じになります。
- BD-R、BD-R DL、BD-R XL をお使いになれるのは Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみです。どのディスクを使用しても、必要枚数は 1 枚になります。

■「Roxio Creator」が必要です

「Roxio Creator」はこのパソコンに用意されています。
「Roxio Creator」を削除すると、リカバリ領域のデータをディスクに書き込むことができなくなります。

■CD/DVD ドライブが搭載されていない機種の場合、ポータブル CD/DVD ドライブを用意してください

ポータブル CD/DVD ドライブは、「スーパーマルチドライブユニット（FMV-NSM54）」をお勧めします。作成を始める前に接続してください。
ポータブル CD/DVD ドライブでお使いになれるのは DVD-R のみです。

■リカバリデータディスクおよびソフトウェアディスクではパソコンは起動できません

リカバリディスクセットの作成手順

1 スタート画面左下の ⓥ をクリックします。タッチパネルの場合は、スタート画面でまっすぐ上にスライドします。
ⓥ が表示されていない場合は、マウスポインターを動かすと表示されます。

2 「バックアップナビ」をクリックします。

3 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。
「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をクリックします。

4 「バックアップナビ」の概要を説明する画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

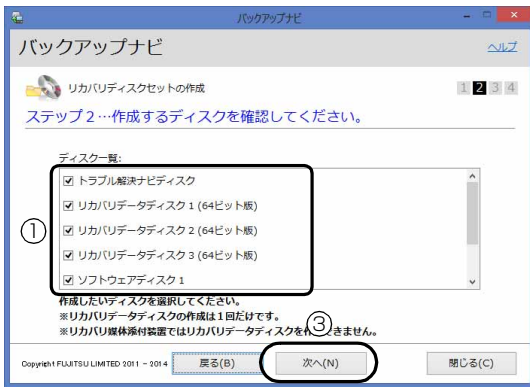
5 次の画面の操作をします。

（これ以降の画面は機種や状況により異なります。）

①「管理」タブをクリックします。
②「リカバリディスクセットの作成」をクリックします。

6 次の画面の操作をします。

①クリックして、お使いになるディスクの種類を選択してください。
②必要なディスクの枚数を確認します。
③「次へ」をクリックします。

7 次の画面の操作をします。

①作成するディスクを選択します。
手順 6 で BD-R、BD-R DL、または BD-R XL を選択した場合、一覧には「トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデー タディスク」1 枚のみ表示されます。

②用意した空きディスクのレーベル面に作成するディスクの名前を記入します。
レーベル面に記入するときは、ボールペンや鉛筆などの先の硬いものは使わないでください。ディスクに傷が付くおそれがあります。

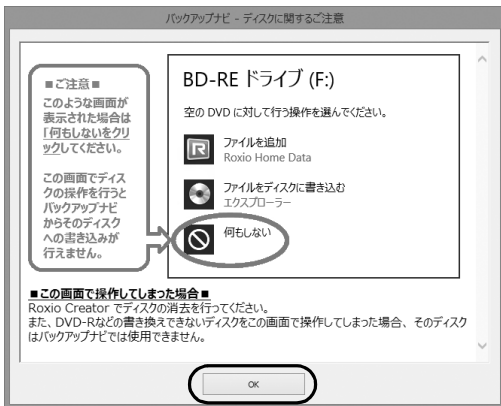
③「次へ」をクリックします。

重要

- リカバリデータディスク n を作成するときは、すべて選択し、作業を中断しないでください。

Point

- リカバリディスクセット添付機種では「リカバリデータディスク」または「トラブル解決ナビ＆ソフトウェア＆リカバリデータディスク」を作成できません。そのため、文字がグレーで表示され選択できません。

8 内容を確認して「OK」をクリックします。

9 ステップ 3 の画面が表示されたら、作成するディスクの名称を記入した空きディスクをセットします。

- ディスクをセットしたとき、「空の DVD に対して行う操作を選んでください。」というメッセージが表示されることがあります。「何もしない」をクリックすると、そのまま操作を続けることができます。
- ディスクの作成所用時間はめやすです。実際の時間とは異なる場合があるのでご了承ください。

10 ディスクが認識されるまで 30 秒ほど待ってから、「開始」をクリックします。
ディスクへの書き込みが始まります。しばらくお待ちください。

11 書き込みが完了し CD/DVD ドライブが開いたら（またはスロットからディスクが飛び出したら）、次のように操作します。

■次のディスクを作成する場合
ディスクを取り出して、次に作成するディスクをセットし、手順 9 の画面で「開始」をクリックします。同様の操作を、すべてのディスクを作成するまで繰り返してください。

■すべてのディスクの作成が終了した場合
「リカバリディスクセットの作成に成功しました。」というメッセージが表示されたら、ディスクを取り出して「完了」をクリックします。
手順 5 の画面に戻ります。これでリカバリディスクセットの作成は完了です。

重要

- リカバリディスクは 1 回しか作成できませんので、大切に保管してください。

パソコンの電源を完全に切る

日常的なパソコンの使用では、この方法で電源を切る必要はありません。

重要

- 次のような場合は、ここで説明している手順でパソコンの電源を切ってください。
  ・トラブル解決ナビを起動する
  ・BIOS セットアップを起動する
  上記以外にも、操作前にパソコンの電源を完全に切る必要のある場合があります。
  詳しくは、「Windows を終了する」（→ P.54）をご覧ください。

1 マウスポインターを画面の右上隅に合わせて「チャーム」を表示し、（設定）をクリックします。
『Windows 8.1 基本操作クイックガイド』
2 「PC 設定の変更」をクリックします。
3 画面左側のメニューで「保守と管理」をクリックします。
4 画面左側のメニューで「回復」をクリックします。
5 画面右側のメニューで「今すぐ再起動する」をクリックします。
6 「オプションの選択」画面が表示されたら、「PC の電源を切る」をクリックします。

富士通パソコンの廃棄・リサイクルに関するご案内

個人でご使用のお客様が本製品を廃棄する場合は、次のお申し込みホームページよりお申し込みください。
リサイクルの流れや注意事項などの最新の情報は、お申し込みホームページでご確認ください。

お申し込みホームページ	**http://azby.fmworld.net/recycle/** ※スマートフォンからもお申し込みできます。
お問い合わせ電話番号	03-5715-3140（通話料金お客様負担） 受付時間 9:00 ～ 17:00 （土・日・祝日および弊社指定休日を除く）

PC リサイクルマークについて

PC リサイクルマークは、メーカーとユーザーのみなさまが協力し合って、ご使用済み家庭用パソコンを資源に変えるためのマークです（法人（個人事業主を含む）、企業は除く）。
PC リサイクルマークが付いた使用済み当社製パソコンは、新たな料金負担なく回収・再資源化いたします。ご使用済み家庭用パソコンのリサイクル活動に、ぜひご協力をお願いいたします。

PC リサイクルマークの付いていない当社製パソコンについては、有償で回収・再資源化をうけたまわります。料金など詳しくは、お申し込みホームページをご確認ください。

PC リサイクルマーク

注 1:装置銘板は機種により異なります。
注2:パソコン本体にカバーなどがある機種は、PC リサイクルマークが隠れている場合があります。

重要

- 法人（個人事業主を含む）、企業のお客様へ
  お申し込みホームページは、個人のお客様を対象にしています。
  法人、企業のお客様向けパソコンリサイクルについては、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

パソコンの廃棄 ・ 譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

パソコンを廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが流出して、再利用される可能性があり、結果的にデータが流出してしまうことがあります。
原因として、パソコンのハードディスクに記録されたデータは、削除したり、ハードディスクを再フォーマットしたりしても、データが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアを利用することで、読み取ることができるからです。
また、ハードディスク上のソフトウェアを削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合もあります。
そのため、パソコンを廃棄あるいは譲渡する際は、ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないよう全データの消去の対策をお願いいたします。対策として、専用ソフトウェアやサービス（有償）のご利用をお勧めいたします。
詳しくは、サポートページの「パソコン廃棄、譲渡前の常識！データを消去しよう」（http://azby.fmworld.net/usage/special/erasedata/）をご覧ください。

■ハードディスクデータ消去

パソコンの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の 1 つとして、専用ソフトウェア「ハードディスクデータ消去」が添付されています。
「ハードディスクデータ消去」は、Windows などの OS によるファイル削除やフォーマットと違い、ハードディスクの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。
「ハードディスクデータ消去」の使用方法については、サポートページから Q&A ナンバー「6604-6237」を検索してご覧ください。

付属品の廃棄について

■使用済み乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには乾電池を使用しており、火中に投じると破裂のおそれがあります。使用済み乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

□個人のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

□法人、企業のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

■使用済みバッテリの取り扱いについて

バッテリパックを交換できる機種のみ

- リチウムイオン電池のバッテリパックは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- 使用済みバッテリは、ショート（短絡）防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- バッテリを火中に投じると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

□個人のお客様へ

使用済みバッテリは廃棄せずに充電式電池リサイクル協力店に設定してあるリサイクル BOX に入れてください。詳しくは、一般社団法人 JBRC［ジェイビーアールシー］のホームページ（http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html）をご覧ください。
弊社は、一般社団法人 JBRC に加盟し、リサイクルを実施しています。

- リサイクルにお申し込みいただく場合は、バッテリパックは外さずに、パソコンといっしょにリサイクルにお出しください。パソコンのリサイクルについては、「富士通パソコンの廃棄・リサイクルに関するご案内」（→ P.167）をご覧ください。

□法人・企業のお客様へ

法人、企業のお客様は、弊社ホームページ「ICT製品の処分・リサイクル方法」（http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html）をご覧ください。

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

液晶ディスプレイが添付または内蔵されている機種をお使いのお客様へ

LED バックライト付ではない液晶ディスプレイの蛍光管には水銀が含まれております。
廃棄を予定しているパソコンの仕様を確認してください。
環境配慮のため、お申し込みホームページからリサイクルをお申し込みください（→ P.167）。

富士通パーソナルコンピュータ修理規定

最新版はホームページに掲載しています。
http://azby.fmworld.net/support/repair/syurikitei/

第 1 条（本規定の適用）

1. 富士通株式会社（以下「富士通」といいます）は、お客様が富士通の「故障や修理に関する受付窓口」にて修理の依頼をされた場合、または富士通の専用ホームページ「http://azby.fmworld.net/support/repair/index.html」（以下「専用ホームページ」といいます）にて修理の依頼をされた場合、本規定に定める条件により修理を行います。なお、お客様が日本国外から修理の依頼をされる場合および販売店または販売会社経由で修理の依頼をされる場合は、本規定は適用されないものとします。
2. 前項に基づき富士通が本規定に定める条件により修理を行う場合は、本規定の内容が、次条に定める対象機器に同梱されている保証書（以下「保証書」といいます）裏面の無料修理規定（以下「無料修理規定」といいます）の内容に優先して適用されるものとします。なお、本規定に定めのない事項については、無料修理規定の内容が有効に適用されるものとします。

第 2 条（対象機器）

本規定に基づく修理の対象となる機器（以下「対象機器」といいます）は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ（詳細は本規定末尾記載、以下同じ）および当該日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ用の富士通製周辺機器（ただしプリンタは除きます）とします。

第 3 条（修理の形態）

1. 富士通は、お客様より対象機器の修理をご依頼いただいた場合、現象や使用状況等を伺いながら簡単な切り分け診断を行い、修理の必要があると富士通が判断した場合に、次のいずれかの形態により修理を行います。ただし、対象機器の機種または離島等の一部地域等、修理の形態が限定される場合があるものとします。

(1) 引取修理（パソコン修理便）
お客様のご自宅から故障した対象機器を引き取り、修理完了後ご自宅までお届けします。

(2) 訪問修理
訪問修理が可能な製品について、お客様が訪問修理を希望された場合は、富士通指定の修理サービス会社の担当者がお客様のご自宅を訪問し、修理作業を行います。なお、訪問料は、保証書で特に無料と定められている場合を除き、保証期間の内外を問わず、別途有料となります。また、離島の一部地域では、訪問料とは別に訪問に要する実費（フェリー代、宿泊代等）をお客様にご負担いただく場合があります。

2. 前項にかかわらず、当該切り分け診断の結果、故障の原因が外付けキーボード、マウス、AC アダプタにあると富士通が判断した場合は、富士通は、原因部品の良品をお客様のご自宅に送付いたします。なお、故障部品については、お客様から富士通に送付していただきます。

第 4 条（保証期間内の修理）

1. 保証期間内に、取扱説明書、対象機器添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で対象機器が故障した場合には、富士通は、無料修理規定に従い、無料で修理を行います。
2. 前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

(1) 保証書が対象機器に添付されていない場合
(2) 保証書に必要事項の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合、その他事実と異なる記載がされていた場合
(3) ご使用上の誤り（水などの液体こぼれ、水没、落下等）、または改造、誤接続や誤挿入による故障・損傷の場合
(4) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧や指定外の電源使用による故障・損傷の場合
(5) 富士通指定の有寿命部品、消耗品（バッテリ、乾電池等）または定期交換部品の自然消耗、磨耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合
(6) 接続している他の機器、非純正品、不適当な消耗品またはメディアのご使用に起因して対象機器に生じた故障・損傷の場合
(7) お買い上げ後の輸送や移動または落下等、お客様における不適当なお取り扱いにより生じた故障・損傷の場合
(8) 対象機器のハードウェア部分に起因しない不具合（例：対象機器にプレインストールまたは添付されたソフトウェア製品に起因する不具合、ウイルス感染による不具合等をいい、以下同じとします）の場合
(9) お客様が設定されたパスワードの忘却やお客様が施錠された鍵の紛失により、メインボード、本体カバーその他の部品の交換が必要になった場合
(10) お客様のご使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障・損傷の場合（例：埃、錆、カビ、虫・小動物の侵入および糞尿による故障等）

3. 第 1 項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても、別途それぞれの料金が発生するものとします。

(1) 第 3 条第 1 項第 (2) 号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
(2) 対象機器のハードウェア部分に起因しない不具合で、ソフトウェアの再インストールにより復旧する場合であって、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフトウェア再インストール料

第 5 条（保証期間外の修理）

1. お客様による修理のご依頼が保証期間外の場合、富士通は、有料で修理を行います。
2. 次の各号のいずれかに該当する場合は、修理料金の他にそれぞれの料金が発生するものとします。

(1) 第 3 条第 1 項第 (2) 号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
(2) ハードウェア部分に起因する故障ではなく、ソフトウェアの再インストールで復旧する場合で、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフト再インストール料

3. お客様による修理のご依頼が保証期間外の引取修理の場合であって、お客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと富士通が判断した場合は、その診断作業に対して診断料が発生するものとします。また、対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされた場合（第 6 条第 2 項および第 3 項に定める場合を含みます）であっても、診断料が発生するものとします。
4. お客様による修理のご依頼が保証期間外の訪問修理の場合であって、富士通指定の修理サービス会社の担当者が、訪問先でお客様に伺った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと判断した場合は、当該診断作業に対して訪問料と診断料が発生するものとします。また、担当者がお客様ご指定の場所に訪問し、修理作業に入る前に修理のご依頼をキャンセルされた場合は、訪問料が発生するものとします。

第 6 条（修理料金の見積もり）

1. 修理が有料修理の場合であって、お客様が修理のご依頼時に修理料金の見積もりを希望された場合、富士通は、引取修理の場合は対象機器のお預かり後に診断作業を行い、見積金額をお知らせするものとし、訪問修理の場合は訪問前にお客様から現象や使用環境等お伺いした内容に基づき診断を行い、概算の見積金額をお知らせするものとします。富士通もしくは富士通指定の修理サービス会社の担当者は、当該見積金額での修理について、お客様にご了承いただいたうえで、修理を行います。ただし、お客様から修理のご依頼時に修理料金の上限金額をご提示いただいた場合であって、修理料金が上限金額を超えない場合は、お客様にご了承いただいたものとして見積提示なしに修理を行います。
2. 前項のうち引取修理の場合であって、お客様に見積金額をお知らせした日から 1 か月を超えても、お客様から見積もりに対するご回答がなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を実施せずに、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。
3. 第 1 項のうち引取修理の場合であって、修理の過程において新たな故障の原因が判明した場合等、お客様に見積金額をお知らせした後に当該金額を変更する必要が生じた場合には、富士通は、再度見積金額をお知らせするものとし、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただいたうえで、修理を継続いたします。なお、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただけなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を中止し、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

第 7 条（修理料金等の支払い方法）

第 4 条または第 5 条に基づき発生した修理料金等については、お預かりした対象機器の返却時に現金にてお支払いいただきます。

第 8 条（修理期間）

引取修理の場合、富士通は、対象機器のお預かりから、修理完了後の対象機器のご自宅へのお届けまで、原則として 7 日間で対応いたします。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、7 日間を超える場合があるものとします。

(1) お客様から伺った故障の現象が確認できず、修理箇所の特定ができない場合
(2) 引取修理の場合であって、引き取り先が離島の場合
(3) 有料修理の場合であって、お客様が修理料金の見積もりを希望された場合
(4) お客様のご都合により、修理完了後の対象機器の返却日に日程変更等が生じた場合
(5) 天災地変、戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合
(6) 第 12 条第 1 項に定める補修用性能部品が在庫切れの場合

第 9 条（修理品の保管期間）

引取修理の場合であって、修理完了後にお客様に修理の完了および返却日をお知らせしているにもかかわらず修理後の対象機器をお受け取りいただけない場合、または対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされたにもかかわらず当該対象機器をお引き取りいただけない場合は、富士通は、対象機器をお預かりした日から6か月間の保管期間の経過をもって、お客様が当該対象機器の所有権を放棄されたものとみなし、当該対象機器を自由に処分できるものとします。この場合、富士通はお客様に対し、当該保管に要した費用および当該処分に要する費用を請求できるものとし、また、保証期間外の修理の場合は、別途修理料金または診断料を請求できるものとします。

第 10 条（故障部品の取り扱い）

修理を行うために対象機器から取り外した故障部品については、お客様はその所有権を放棄するものとし、富士通は、当該故障部品をお客様に返却しないものと

します。なお、当該故障部品は、環境への配慮から再調整後検査し、富士通の品質保証された補修用性能部品として再利用する場合があります。

第 11 条（修理ご依頼時の注意事項）

お客様は、修理をご依頼されるにあたり、あらかじめ以下の事項についてご了承いただくものとします。

(1) お客様が保証期間内に修理をご依頼される場合は、必ず対象機器に同梱されている保証書を対象機器に添付いただくものとします。

(2) お客様が修理をご依頼された対象機器の記憶装置（ハードディスク等）に記憶されたデータ、プログラムおよび設定内容（以下総称して「データ等」といいます）につきましては、富士通では一切保証いたしません。お客様は、修理をご依頼される前に、お客様の責任においてバックアップをとっていただくものとします。（日頃から随時バックアップをとられることをお勧めいたします。） なお、修理および修理前の診断作業の過程で、データ等が変化・消去される場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合（第 6 条に定める場合を含みます）でも、当該キャンセルの時点で既に富士通が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程でデータ等が変化・消去されている場合があります。

(3) 富士通は、修理および修理前の診断作業の過程で、インターネットへの接続確認等の目的で対象機器をインターネットに接続する場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合（第 6 条に定める場合を含みます）でも、当該キャンセルの時点で既に富士通が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程で対象機器がインターネットに接続されている場合があります。なお、当該接続によりデータ等が変化・消去される場合があります。また、富士通は、当該接続によりデータ等が変化、消去される等の問題が生じ、当該問題を解決するために必要と判断した場合、データ等を変更、消去等する場合があります。

(4) 修理完了後のオペレーティングシステム（OS）ならびにその他のプログラムの再インストールおよびセットアップ等につきましては、お客様ご自身で実施いただくものとします。

(5) お客様ご自身で貼り付けられたシール等につきましては、取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。また、お客様ご自身で行われた塗装や刻印等につきましては、元の状態への復旧はできないものとします。

(6) 富士通は、修理期間中の代替機の貸し出しは行わないものとします。なお、修理期間中の対象機器の使用不能による補償等は、本規定で定める責任を除き富士通では一切責任を負わないものとします。

(7) お客様が対象機器にパスワードを設定されている場合は、当該設定を解除したうえで修理をご依頼いただくものとします。

(8) 対象機器の修理とは関係のない記録媒体（CD、DVD、メモリーカード、フロッピィディスク、MO 等）、他の機器との接続ケーブル、および添付品等につきましては、事前にお客様の方で対象機器から取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。なお、万が一これらが対象機器に付加された状態で修理をご依頼いただいた場合、富士通ではこれらの管理につき一切責任を負わないものとします。

(9) 修理のご依頼時に、当該修理にリカバリディスクが必要である旨富士通からお客様にお知らせした場合は、お客様は必ず対象機器に同梱されているリカバリディスクを添付いただくものとします。

(10) 次の各号のいずれかに該当するものは、修理の対象から除かれるものとします。

a. お客様が対象機器出荷時の標準搭載の部品を加工・改造されたこと、または対象機器出荷時の標準搭載以外の部品を使用されたことに起因する故障の修理

b. ウィルスの除去

c. 液晶ディスプレイの一部に非点灯、常時点灯などの表示が存在する場合の修理・交換

d. データ等のバックアップおよび復旧作業

(11) 訪問修理の場合であって、富士通または富士通指定の修理サービス会社がお客様への訪問日程調整のご連絡に努めたにもかかわらず、ご連絡がつかない状態が 2 週間以上継続した場合は、修理をキャンセルされたものとみなすことがあります。

第 12 条（補修用性能部品）

1. 補修用性能部品は、製品の機能を維持するために必要な部品をいい、故障部品と機能、性能が同等な部品（再利用品および第 10 条に定める故障部品の再利用も含む）とします。

2. 富士通における補修用性能部品の最低保有期間につきましては、対象機器に同梱されている説明書記載のとおりとなります。補修用性能部品の保有期間の終了をもって、当該対象機器の修理対応は終了となります。

第 13 条（個人情報の取り扱い）

1. 富士通は、本規定に基づく修理に関してお客様から入手した情報のうち、当該お客様個人を識別できる情報（以下「お客様の個人情報」といいます）につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。

(1) 修理を実施すること。

(2) 修理の品質の向上を目的として、電子メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。

(3) お客様に有益と思われる富士通または富士通の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、電子メール、郵便、電話等によりお客様へ提供すること。

(4) お客様の個人情報の取り扱いにつき、個別にお客様の同意を得るために、当該お客様に対し電子メール、郵便、電話等により連絡すること、および当該同意を得た利用目的に利用すること。

2. 富士通は、前項に定める利用目的のために必要な範囲で、お客様の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。

3. 富士通は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、お客様の個人情報につき、第 1 項に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第 14 条（責任の限定）

1. 富士通が実施した修理に富士通の責に帰すべき瑕疵が発見され、当該修理完了日より 3 か月以内に、当該修理時の「診断・修理報告書」を添えてその旨お客様より富士通にご連絡いただいた場合、富士通は自己の責任と費用負担において必要な修理を再度実施いたします。なお、ここでいう瑕疵とは、当該修理を実施した箇所の不具合により再度修理が必要となる場合をいいます。

2. 合理的な範囲で富士通が前項の修理を繰り返し実施したにもかかわらず、前項の瑕疵が修理されなかった場合には、富士通は、当該瑕疵に起因してお客様に生じた損害につき、賠償責任を負うものとします。

3. 対象機器の修理に関連して富士通がお客様に対して損害賠償責任を負う場合、その賠償額は、修理料金相当額を上限とします。また、富士通は、富士通の責に帰すことのできない事由から生じた損害、富士通の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、逸失利益については、責任を負わないものとします。

4. 対象機器の修理に関連してお客様が被った損害が、富士通の故意または重過失に起因するものである場合には、前項の規定は適用されないものとします。

第 15 条（変更）

富士通は、本規定の内容を変更する必要が生じた場合は、お客様に対する通知をもって変更できるものとします。なお、当該通知は、専用ホームページでの表示により行われるものとします。

第 16 条（専属的合意管轄裁判所）

本規定に基づく対象機器の修理に関する訴訟については、東京地方裁判所をもって第一審における合意上の専属的管轄裁判所とします。

付則

本規定は、2014 年 11 月 1 日から実施します。

■対象機器

・ARROWS Tab QH シリーズ
・ARROWS Tab Wi-Fi QH シリーズ
・FMV シリーズ
・FMV STYLISTIC QH シリーズ
・ESPRIMO ／ LIFEBOOK（品名が以下のように表記される製品）

品名： W ＊ ＊ ／ ＊

ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ　数字または ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ　ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ

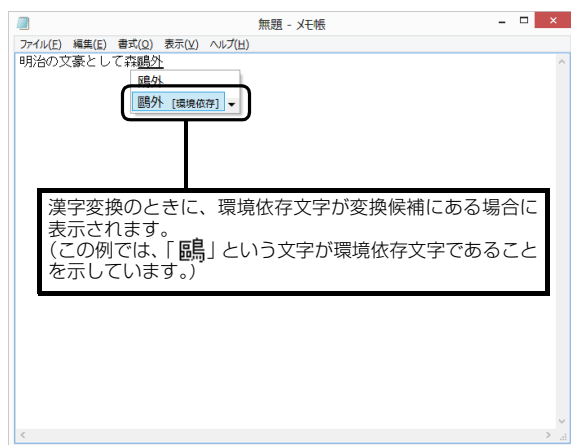
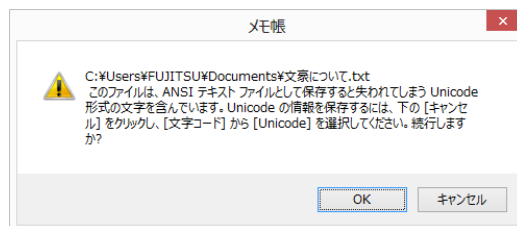
文字コードの取り扱いに関する注意

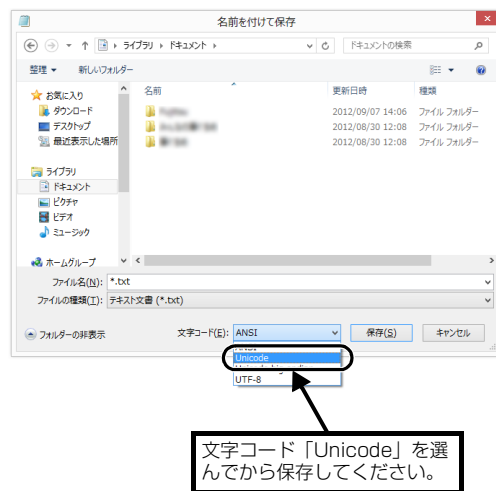
環境依存文字の取り扱いについて

環境依存文字とは、お使いのアプリや相手のパソコンの環境によって、正しく表示されない可能性のある文字のことです。文書データなどを作成するときに環境依存文字を使用すると、E メールやホームページ上で字形が異なったり崩れたりして表示される場合があります。
トラブルを避けるため、環境依存文字はできるだけ使用しないことをお勧めします。
環境依存文字を使用すると、次のようなトラブルが起きることがあります。

- E メールのやり取りで環境依存文字を使用すると、送信側と受信側で、字形が異なったり崩れたりして表示される場合があります。
- アプリが環境依存文字に対応していない場合、アプリが環境依存文字を正しく表示したり認識したりできない場合があります。
- お使いのプリンターによっては、環境依存文字を使用して印刷すると、字形が異なったり崩れたりして印刷される場合があります。
- インターネットのサイトなどで運用側のシステムが環境依存文字に対応していない場合、環境依存文字を入力すると、字形が異なったり崩れたりして表示される場合があります。
  例　ショッピングサイト、検索サイト、ブログ、ホームページ、インターネット掲示板など

Windows 8.1、Windows 7 では、環境依存文字を取り扱うときに、注意をうながすメッセージが表示されます。
次に表示されるメッセージの例を説明します。

例 1　文字入力中に環境依存文字を示すメッセージ

例 2　環境依存文字を含んだファイルを保存するときに表示されるメッセージ

- 環境依存文字を含んだファイルを保存するときに表示されます。
  「キャンセル」をクリックすると作成中の状態に戻るので、環境依存文字を変更して保存し直すことをお勧めします。

- 文字コードを他の形式にして保存する
  環境依存文字を含んだファイルは、次のように文字コードを Unicode 形式にすることで保存できます。ただし、Unicode に対応していない OS やアプリでこのファイルを開くと、文字化けを起こしたり正常に表示されなかったりする場合がありますのでご注意ください。

Windows 8.1、 Windows 7 と Windows XP 以前との文字の互換性

Windows 8.1、Windows 7、Windows Vista は、日本工業規格「JIS X 0213:2004」に対応しています。Windows XP 以前の OS は「JIS X 0213:2004」に対応していないため、「JIS X 0213:2004」で新たに追加された文字や字形変更された文字を使用して作った文書データは、字形が異なったり崩れたりして表示される場合があります。また、Windows XP 以前の OS で作られた文書データに、「JIS X 0213:2004」で字形変更された文字が含まれる場合は、異なった字形で表示されます。

□参考：JIS X 0213:2004 改正における字形変更の比較（一例）

改正後字形：Windows 8.1、Windows 7、Windows Vista　改正前字形：Windows XP 以前の OS

UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形
5026	倦	倦	**5C60**	屠	屠	**6753**	杓	杓	**701E**	瀞	瀞
50C5	僅	僅	**5DF7**	巷	巷	**6962**	楢	楢	**7026**	瀦	瀦
5132	儲	儲	**5E96**	庖	庖	**698A**	榊	榊	**7058**	灘	灘
51A4	冤	冤	**5EDF**	廟	廟	**6994**	榔	榔	**707C**	灼	灼
537F	卿	卿	**5FBD**	徽	徽	**69CC**	槌	槌	**7149**	煉	煉
53A9	厩	厩	**6062**	恢	恢	**6A0B**	樋	樋	**714E**	煎	煎
53DB	叛	叛	**6108**	愈	愈	**6A3D**	樽	樽	**717D**	煽	煽
54E8	哨	哨	**6241**	扁	扁	**6ADB**	櫛	櫛	**7259**	牙	牙
55A9	喩	喩	**6357**	捗	捗	**6B4E**	歎	歎	**7337**	猷	猷
5632	嘲	嘲	**6372**	捲	捲	**6C72**	汲	汲	**7511**	甑	甑
5642	噂	噂	**63C3**	揃	揃	**6DEB**	淫	淫	**75BC**	疼	疼
564C	噌	噌	**647A**	摺	摺	**6EA2**	溢	溢	**77A5**	瞥	瞥
56C0	囀	囀	**64B0**	撰	撰	**6EBA**	溺	溺	**7941**	祁	祁
5835	堵	堵	**64E2**	擢	擢	**6F23**	漣	漣	**7947**	祇	祇
5C51	屑	屑	**6666**	晦	晦	**7015**	瀕	瀕	**79B0**	禰	禰

UCS: Universal multiple-octet coded Character Set

改正後字形：Windows 8.1、Windows 7、Windows Vista　改正前字形：Windows XP 以前の OS

UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形	UCS	改正後字形	改正前字形
79E4	秤	秤	84EC	蓬	蓬	8CED	賭	賭	9306	錆	錆
7A7F	穿	穿	8511	蔑	蔑	8FBB	辻	辻	939A	鎚	鎚
7B08	笈	笈	853D	蔽	蔽	8FBF	辿	辿	9453	鑓	鑓
7B75	筵	筵	85A9	薩	薩	8FC2	迂	迂	9784	鞄	鞄
7BAD	箭	箭	85AF	薯	薯	8FC4	迄	迄	9798	鞘	鞘
7BB8	箸	箸	85F7	藷	藷	8FE6	迦	迦	98F4	飴	飴
7BC7	篇	篇	86F8	蛸	蛸	9017	逗	逗	9905	餅	餅
7BDD	篝	篝	8755	蝕	蝕	9019	這	這	990C	餌	餌
7C3E	簾	簾	8956	襖	襖	9022	逢	逢	9957	饗	饗
7C7E	籾	籾	8A1D	訝	訝	903C	逼	逼	9A19	騙	騙
7FEB	翫	翫	8A3B	註	註	9041	遁	遁	9BD6	鯖	鯖
7FF0	翰	翰	8A6E	詮	詮	905C	遜	遜	9C2F	鰯	鰯
817F	腿	腿	8AFA	諺	諺	9061	遡	遡	9C52	鱒	鱒
82A6	芦	芦	8B0E	謎	謎	912D	鄭	鄭	9D09	鴉	鴉
8328	茨	茨	8B2C	謬	謬	914B	酋	酋	9D60	鵠	鵠
845B	葛	葛	8C79	豹	豹						

10 仕様一覧

パソコン本体の主な仕様

ここでは、パソコン本体の主な仕様を紹介しています。

■仕様の調べ方

仕様について詳しくは「富士通アドバイザー」（→ P.41）の「サポート ＆ サービス情報」から「パソコンの仕様を調べる」を選択して表示されるホームページの内容をご覧ください。なお、仕様の詳細を調べるときに、お使いのパソコンの型名が必要になることがあります。型名は次の場所に記載されています。

- ●保証書
- ●パソコン本体の裏面に貼付されたラベル
- ●「@ メニュー」を起動し、「安心・サポート」▶「トラブル診断」▶「目的でさがす」▶「パソコンの情報を表示する」▶「実行する」の順にクリックすると表示される画面

- 型名の確認方法の詳細は、サポートページから Q&A ナンバー「3702-5873」を検索して参照できます。

■ESPRIMO FH52/T

注記については、「仕様一覧の注記について」（→ P.175）をご覧ください。

品名		ESPRIMO FH52/T
CPU 注1		インテル® Celeron® 1005M プロセッサー
メインメモリ注2		PC3-12800 DDR3 SDRAM、ECC なし
	標準容量	4GB（4GB x 1）デュアルチャネル対応可能
	最大容量	16GB
CD/DVD ドライブ注3		スーパーマルチドライブ （DVD ± R DL（2 層）書き込み対応）
無線 LAN注4	規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠 （5GHz 帯チャンネル：W52/W53/W56）（Wi-Fi® 準拠）注5
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式注6
電源供給方式	AC アダプタ	入力 AC100 ～ 240V 注7、出力 DC19V（4.74A）
消費電力		ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。 仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください（→ P.174）。
外形寸法（幅×奥行×高さ） （突起部含まず）		約 518 ×約 175 ×約 410mm（本体最小傾斜時） 約 518 ×約 306 ×約 357mm（本体最大傾斜時）
本体質量		7.1kg

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

仕様一覧の注記について

注１　ソフトウェアによっては CPU 名表記が異なることがあります。
注２　パリティチェック機能はありません。
注３　読み出し、書き込み速度については、ホームページに掲載された仕様一覧をご覧ください。仕様一覧の表示方法は「■仕様の調べ方」をご覧ください（→ P.174）。
注４　無線 LAN の仕様については、「無線 LAN」（→ P.135）をご覧ください。
注５　Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示します。
注６　IEEE 802.11n 準拠、IEEE 802.11ac 準拠を使用したときは、MIMO 方式にもなります。
注７　・標準添付されている電源ケーブルは AC100V（国内専用）です。また、矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続されると、故障する場合があります。
　　　・入力波形は正弦波のみサポート。

■商標および著作権について

インテル、Intel、インテル Core、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
Roxio、Roxio のロゴ、Roxio Creator は Corel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。
Corel、Corel のロゴ、WinDVD は Corel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。
Corel and the Corel Paint it! are trademark or registered trademarks of Corel Corporation and/or its subsidiaries in Canada, the U.S., and/or other countries.
McAfee、マカフィーは、米国法人 McAfee,Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
デジタルアーツ /DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター /i- フィルター はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
デジブックは株式会社トリワークスの登録商標です。
「メモリースティック」は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
SDXC ロゴは、SD-3C, LLC. の商標です。
ExpressCard™、ExpressCard™ ロゴは、Personal Computer Memory Card International Association（PCMCIA）の商標で、富士通へライセンスされています。
Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS UltraPC II Plus is a trademark, of DTS (BVI) Limited (in Hong Kong and China) and DTS, Inc. (outside of Hong Kong and China). © DTS, Inc. All Rights Reserved.
HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
Bluetooth® は、Bluetooth SIG の商標であり、富士通へライセンスされています。
Google、Google ロゴ、Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
@nifty は、ニフティ株式会社の商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Microsoft アカウント

メールアドレス（Microsoftアカウント）、パスワードを記入してください。

※第三者に漏れないよう充分に注意して管理してください。

ESPRIMO　FH シリーズ

取扱説明書＜詳細版＞

B5FK-5551-01-00

発 行 日　　2015 年 2 月
発行責任　　富士通株式会社

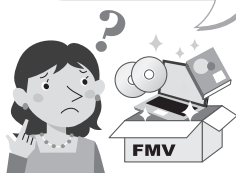
〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

㋐

■ 富士通の有料サービスのご案内

パソコン操作に困ったら、**お電話**ください。
プロがご自宅にお伺いし、解決します！

富士通パソコン出張サービス
PC家庭教師
（有料）

セットアップって
むずかしそう…
やってくれないかな。

パソコン基本設定

めんどうなパソコンのセットアップは、お任せください！

14,300円（税込）～

ウイルス感染!?
うちに来て、
みてほしい。

かけつけ診断

原因がわからないトラブルもプロが解決に導きます！

10,100円（税込）～※

デジカメの写真、
どうやって
プリントするの？

教えてパソコンレッスン

お客様の「したい」ことを丁寧にご説明します！

14,300円（税込）～

（注）メニュー名、料金は、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※診断の結果、必要なリカバリ等の作業が発生した場合、別途費用が発生します。

通話料無料

0120-37-2794（みんな つなぐよ）

■ 受付時間：10時～19時　■ 訪問時間：10時～20時　（有料サービス）

※携帯電話、PHSからも通話可能です。システムメンテナンスのため、休止させていただく場合がございます。

「PC家庭教師」は弊社指定のサービス会社がご自宅に伺い、その場でサポートする有料の出張サービスです。 電話での技術相談をご希望の場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

「PC家庭教師」のほかにも、富士通の有料サービス「バリューplus」では、多彩なメニューをご用意しております。詳しくはホームページをご覧ください。

例 ●Word、Excelも電話で相談できるPCコンシェルジュサービス
●3年間メーカー延長保証サービス　など

富士通　バリューplus　検索

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。